

取扱説明書

FieldPort SWA50

HART 計測機器用高性能 WirelessHART アダプタ



改訂履歴

製品バージョン	取扱説明書	変更	コメント
1.00.XX	BA02046S/04/EN/01.20	-	初期バージョン
1.00.XX	BA02046S/04/EN/02.21	電源 バースト	修正
1.00.XX	BA02046S/04/EN/03.21	位置合せ 範囲 ステータス信号に関する注意事項 注記および参照情報 「診断」セクション	修正および変更

目次

1	本説明書について	5	6	電気接続	29
1.1	資料の機能	5	6.1	電源電圧	29
1.2	シンボル	5	6.2	ケーブル仕様	29
1.2.1	安全シンボル	5	6.3	端子の割当て	30
1.2.2	特定情報に関するシンボル	5	6.4	シールドケーブル用ケーブルグランドを使用する場合のストリッピング	30
1.2.3	図中のシンボル	6	6.5	パッシブ電流出力付き 2 線式 HART フィールド機器	31
1.2.4	電気シンボル	6	6.6	パッシブ電流出力付き 4 線式 HART フィールド機器	31
1.2.5	SmartBlue アプリのアイコン	6	6.7	アクティブ電流出力付き 4 線式 HART フィールド機器	32
1.3	用語および略語	6	6.8	FieldPort SWA50 (HART フィールド機器なし)	33
1.4	有効バージョン	7	6.9	FieldPort SWA50 の接地	33
1.5	関連資料	7	6.9.1	「直接取付け」バージョン	33
1.5.1	安全上の注意事項 (XA)	7	6.9.2	「分離型取付け」バージョン	33
1.6	登録商標	7	6.10	配線状況の確認	34
2	安全上の基本注意事項	8	7	操作オプション	35
2.1	作業員の要件	8	7.1	操作オプションの概要	35
2.2	用途	8	7.2	SmartBlue アプリ	35
2.3	労働安全	8	7.3	Field Xpert SMTxx	36
2.4	操作上の安全性	8	8	設定	37
2.5	製品の安全性	8	8.1	必須条件	37
2.6	IT セキュリティ	9	8.1.1	FieldPort SWA50 の要件	37
2.7	機器固有の IT セキュリティ	9	8.1.2	設定に必要な情報	37
2.7.1	Bluetooth® ワイヤレス技術を利用したアクセス	9	8.1.3	設定前の確認事項	37
3	製品説明	10	8.1.4	初期パスワード	37
3.1	機能	10	8.2	FieldPort SWA50 の操作	37
3.2	FieldPort SWA50 WirelessHART バージョンのシステム構成	11	8.2.1	SmartBlue アプリを使用した設定	38
4	納品内容確認および製品識別表示	12	8.2.2	Field Xpert を使用した設定	41
4.1	納品内容確認	12	9	操作	44
4.2	製品識別表示	12	9.1	ハードウェアのロック	44
4.2.1	銘板	12	9.2	LED	44
4.2.2	製造者データ	12	10	SWA50 用の SmartBlue アプリの説明	45
4.3	保管および輸送	12	10.1	メニュー概要 (ナビゲーション)	45
5	取付け	13	10.2	「Device information」ページ	45
5.1	取付方法	13	10.3	「Application」メニュー	47
5.2	範囲	13	10.3.1	「Measured values」ページ	47
5.3	取付方法	14	10.3.2	HART フィールド機器の「HART info」ページ	47
5.3.1	「直接取付け」バージョン	14	10.4	「FieldPort SWA50」メニュー (「System」メニュー)	47
5.3.2	「分離型取付け」バージョン	15	10.4.1	「Device management」ページ (「FieldPort SWA50」メニュー)	47
5.4	「直接取付け」バージョンの取付け	15	10.4.2	「Connectivity (接続)」ページ (「FieldPort SWA50」メニュー)	48
5.5	「分離型取付け」バージョンの取付け	21			
5.6	取付金具を使用した FieldPort SWA50 の取付け	25			
5.6.1	取付けおよび位置合せのオプション	25			
5.6.2	寸法	26			
5.6.3	取付金具と FieldPort SWA50 の取付け	27			
5.7	設置状況の確認	28			

10.4.3 「Information」 ページ (「FieldPort SWA50」 メニュー)	50	19 付録	84
10.5 「Field device (フィールド機器)」メニュー (「System (システム)」メニュー)	51	19.1 メニュー概要 (ナビゲーション)	84
10.5.1 「Device management」 ページ (「Field device」 メニュー)	51		
10.5.2 「Information」 ページ (「Field device」 メニュー)	51		
11 設定およびオンラインパラメータ			
設定	52		
11.1 アクセスオプションおよび必須条件	52		
11.1.1 アクセスオプション	52		
11.1.2 FieldCare で必要な設定	52		
11.2 識別情報	52		
11.3 Wireless Communication (無線通信)	54		
11.4 Wired Communication (有線通信)	57		
11.5 Device Variable Mapping (機器変数マッピング)	58		
11.6 パーストモード	59		
11.7 イベント通知	64		
12 Diagnosis (診断)	70		
12.1 診断の実行	70		
12.2 Identification (識別)	70		
12.3 Wireless Communication (無線通信)	71		
12.4 Wired Communication (有線通信)	72		
12.5 Health Status (診断ステータス)	72		
12.5.1 NAMUR NE 107	73		
12.5.2 ASM	73		
12.5.3 HART	74		
13 その他の DTM 機能	75		
13.1 Lock/Unlock (ロック/ロック解除)	75		
14 診断およびトラブルシューティング	76		
14.1 診断	76		
14.2 トラブルシューティング	77		
15 メンテナンス	78		
15.1 一般的なメンテナンス	78		
15.2 ファームウェアアップデート	78		
16 修理	81		
16.1 一般的注意事項	81		
16.2 廃棄	81		
17 アクセサリ	82		
18 技術データ	83		

1 本説明書について

1.1 資料の機能

本取扱説明書には、機器ライフサイクルの各種段階において必要とされる、以下を含むあらゆる情報が記載されています。

- 製品識別表示
- 納品内容確認
- 保管
- 設置
- 接続
- 操作
- 設定
- トラブルシューティング
- メンテナンス
- 廃棄

1.2 シンボル

1.2.1 安全シンボル

⚠ 危険

危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、大けがをしたりするほか、爆発・火災を引き起こす恐れがあります。

⚠ 警告

危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、大けが、爆発、火災の恐れがあります。









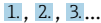
⚠ 注意




危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、けが、物的損害の恐れがあります。

📌 注記




人身傷害につながらない、手順やその他の事象に関する情報を示すシンボルです。

1.2.2 特定情報に関するシンボル






シンボル	意味
	許可 許可された手順、プロセス、動作
	推奨 推奨の手順、プロセス、動作
	禁止 禁止された手順、プロセス、動作
	ヒント 追加情報を示します。
	資料参照
	ページ参照
	図参照
	注意すべき注記または個々のステップ
	一連のステップ

シンボル	意味
	操作・設定の結果
	問題が発生した場合のヘルプ
	目視確認






1.2.3 図中のシンボル

シンボル	意味	シンボル	意味
1, 2, 3,...	項目番号		一連のステップ
A, B, C, ...	図	A-A, B-B, C-C, ...	断面図
	危険場所		安全区域（非危険場所）

1.2.4 電気シンボル

シンボル	意味
	直流
	交流
	直流および交流
	接地接続 オペレータを保護するために、接地システムを使用して接地された接地端子
	電位平衡接続（PE：保護接地） その他の接続を行う前に接地端子の接地接続が必要です。 接地端子は機器の内側と外側にあります。 <ul style="list-style-type: none">■ 内側の接地端子：電位平衡を電源ネットワークに接続します。■ 外側の接地端子：機器とプラントの接地システムを接続します。

1.2.5 SmartBlue アプリのアイコン

アイコン	意味
	SmartBlue
	アクセス可能なフィールド機器
	ホーム
	メニュー
	設定

1.3 用語および略語

用語	説明
DeviceCare	Endress+Hauser HART、PROFIBUS、FOUNDATION フィールドバス、Ethernet フィールド機器用の汎用設定ソフトウェア
DTM	デバイスタイプマネージャ

用語	説明
FieldCare	デバイスの設定からコンディションモニタリングまでカバーするプラントアセット マネジメントツール
ループ電源式アダプ タ	ループ電源式アダプタ

1.4 有効バージョン

コンポーネント	バージョン
ソフトウェア	V1.00.xx
ハードウェア	V1.00.xx


1.5 関連資料

FieldPort SWA50

技術仕様書 (TI01468S) を参照

1.5.1 安全上の注意事項 (XA)

認証に応じて、以下の安全上の注意事項 (XA) が機器に同梱されます。これは、取扱説明書の付随資料です。

 機器に対応する安全上の注意事項 (XA) の情報が銘板に明記されています。

1.6 登録商標

HART®

FieldComm Group, Austin, Texas, USA の登録商標です。

Bluetooth®

Bluetooth® の文字商標とロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、Endress+Hauser は許可を受けてこのマークを使用しています。その他の商標や商品名は、その所有者に帰属します。

Apple®

Apple、Apple ロゴ、iPhone、iPod touch は、米国その他各国で登録された Apple Inc. の商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。

Android®

Android、Google Play、Google Play ロゴは Google Inc. の登録商標です。

2 安全上の基本注意事項

2.1 作業員の要件

設置、設定、診断、およびメンテナンスを実施する要員は、以下の要件を満たさなければなりません。

- ▶ 訓練を受け、資格を有する専門作業員：特定の任務や作業を行うための適切な資格を有し、Endress+Hauser が提供する訓練を受ける必要があります。弊社サービス部門の専門スタッフ。
- ▶ 施設責任者の許可を得ている作業員であること。
- ▶ 各地域/各国の法規を熟知していること。
- ▶ 作業を開始する前に、取扱説明書、補足資料、ならびに証明書（用途に応じて異なります）の説明を読み、内容を理解しておくこと。
- ▶ 本書の説明に従い、基本的な方針に従うこと。

オペレータ要員は、以下の要件を満たす必要があります。

- ▶ 施設責任者からその作業に必要な訓練および許可を得ていること。
- ▶ 本書の説明に従うこと。

2.2 用途

FieldPort SWA50 はループ電源式のアダプタであり、接続された HART フィールド機器の HART 信号を信頼性の高い暗号化された WirelessHART 信号に変換します。

FieldPort SWA50 は、すべての 2 線式/4 線式 HART フィールド機器への追加設置が可能です。

制御機能を使用する安全アプリケーションの場合、有線通信の代替として Bluetooth 信号を使用しないでください。

不適切な用途

指定用途以外での使用は、安全性を危うくする可能性があります。不適切な、あるいは指定用途以外での使用に起因する損傷については、製造者は責任を負いません。

2.3 労働安全

機器で作業する場合：

- ▶ 各地域/各国の規定に従って必要な個人用保護具を着用してください。

2.4 操作上の安全性

けがに注意！

- ▶ 適切な技術的条件下でエラーや不具合がない場合にのみ、機器を操作してください。
- ▶ 施設業者には、機器を支障なく操作できるようにする責任があります。

機器の改造

機器を無断で変更することは、予測不可能な危険を招く恐れがあり、認められません。

- ▶ 変更が必要な場合は、Endress+Hauser 営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

2.5 製品の安全性

本機器は、最新の安全要件に適合するように GEP（Good Engineering Practice）に従って設計され、テストされて安全に操作できる状態で工場から出荷されます。

本機器、一般的な安全要件および法的要件を満たしています。また、機器固有の EU 適合宣言に明記された EU/EC 指令にも準拠します。Endress+Hauser は機器に CE マークを添付することにより、機器の適合性を保証します。

2.6 IT セキュリティ

弊社は、取扱説明書に記載されている条件に従って使用されている場合のみ保証いたします。本機器は、いかなる予期しない設定変更に対しても保護するセキュリティ機構を備えています。

弊社機器を使用する事業者の定義する IT セキュリティ規格に準拠し、尚且つ機器と機器のデータ伝送に関する追加的な保護のために策定される IT セキュリティ対策は、機器の使用者により実行されなければなりません。

2.7 機器固有の IT セキュリティ

2.7.1 Bluetooth® ワイヤレス技術を利用したアクセス

Bluetooth® ワイヤレス技術を介した信号伝送では、フラウンホーファー研究所 (AISEC) で試験された暗号化技術が使用されます。

- Bluetooth® 経由の接続を行うには、対応する Endress+Hauser 製機器または SmartBlue アプリが必要となります。
- **1 台**の FieldPort SWA50 機器と **1 台**のスマートフォン/タブレット端末間に、1つのポイントツーポイント接続のみが確立されます。
- ハードウェアロックを使用することにより、Bluetooth® ワイヤレス技術インターフェースの保護を強化できます。→ 図 44
- 操作ツールを使用して、ハードウェアロックを無効化/回避することはできません。

3 製品説明


3.1 機能

FieldPort SWA50 は、接続された HART フィールド機器の HART 信号を信頼性の高い Bluetooth® または WirelessHART 暗号化信号に変換します。FieldPort SWA50 は、すべての 2 線式/4 線式 HART フィールド機器への追加設置が可能です。

Endress+Hauser の SmartBlue アプリと Field Xpert を使用して、以下を実行できます。

- FieldPort SWA50 の設定
- 接続された HART フィールド機器の測定値の可視化
- FieldPort SWA50 と接続された HART フィールド機器の各ステータスに基づいた現在の総合ステータスの可視化

FieldPort SWA50 と FieldEdge 機器を使用して、HART フィールド機器を Netilion クラウドに接続できます。

 Netilion クラウドの詳細情報：<https://netilion.endress.com>

WirelessHART バージョンの FieldPort SWA50 は、Endress+Hauser WirelessHART Fieldgate SWG70 または互換性のある任意の WirelessHART ゲートウェイを使用して、WirelessHART ネットワークに統合できます。詳細については、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください (www.addresses.endress.com)。

また、WirelessHART バージョンを以下の用途に使用することもできます。

- FieldPort SWA50 用の DTM を使用した FieldCare SFE500 または DeviceCare による現場設定
- WirelessHART Fieldgate SWG70 および FieldPort SWA50/Fieldgate SWG70 用の DTM を使用した FieldCare SFE500 によるリモート設定

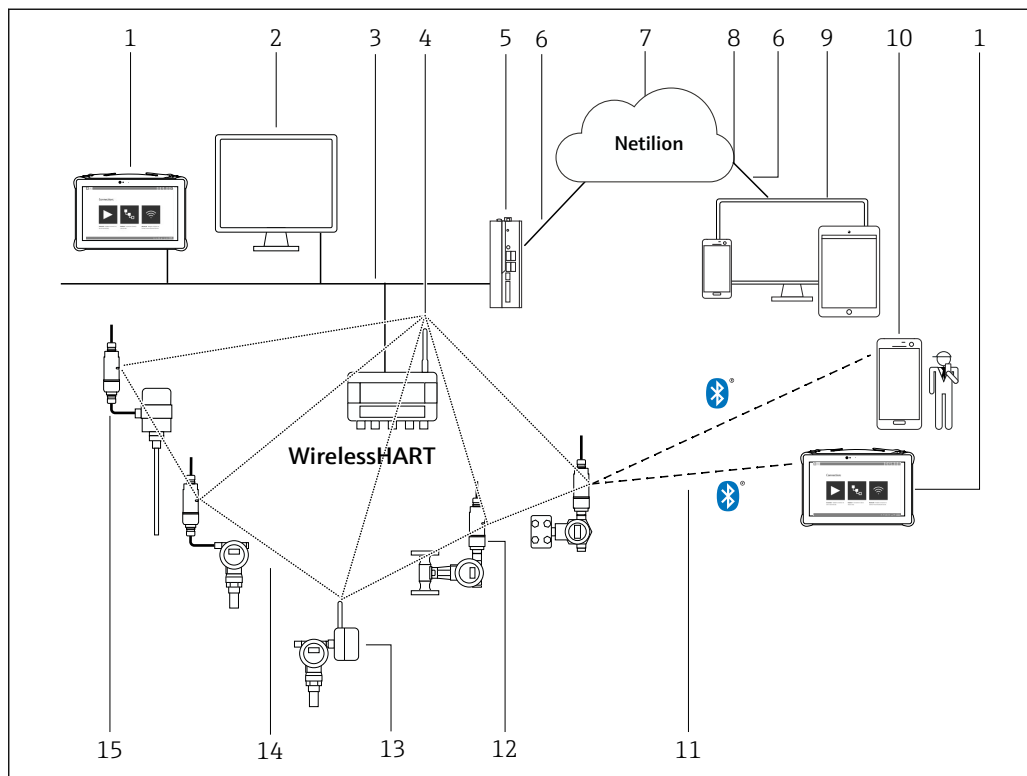
注記

制御機能を使用する安全アプリケーションにおける WirelessHART 信号の使用

安全アプリケーションの非推奨事項

- ▶ 制御機能を使用する安全アプリケーションでは、WirelessHART などの無線信号を使用しないでください。

3.2 FieldPort SWA50 WirelessHART バージョンのシステム構成




1 SWA50 WirelessHART バージョンのシステム構成

- 1 Endress+Hauser Field Xpert (SMTxx など)
- 2 ホストアプリケーション/FieldCare SFE500
- 3 イーサネット通信
- 4 WirelessHART Fieldgate (SWG70 など)
- 5 FieldEdge SGC500
- 6 https インターネット接続
- 7 Netilion クラウド
- 8 Application Programming Interface (API)
- 9 インターネットブラウザベースの Netilion サービスアプリまたはユーザーアプリケーション
- 10 Endress+Hauser SmartBlue アプリ
- 11 Bluetooth® 経由の暗号化された無線接続
- 12 HART フィールド機器および FieldPort SWA50、直接取付け
- 13 HART フィールド機器および WirelessHART アダプタ (SWA70 など)
- 14 WirelessHART 経由の暗号化された無線接続
- 15 HART フィールド機器および FieldPort SWA50、分離型取付け

4 納品内容確認および製品識別表示

4.1 納品内容確認

- 輸送時の梱包の損傷がないかどうかを点検する
- 梱包を丁寧に開封する
- 各納入品目に損傷がないかどうかを点検する
- すべての納入品目が揃っており、欠品がないことを確認する
- すべての付属資料を保管する

 納入品目の損傷が事前に確認された場合、機器を稼働しないでください。この場合、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください：

www.addresses.endress.com

可能な場合は納入時の梱包を使用して、機器を Endress+Hauser まで返却してください。

納入範囲

- FieldPort SWA50
- ご注文のバージョンに対応したケーブルグラント
- オプション：取付金具

納入範囲に含まれる関連資料

- 簡易取扱説明書
- ご注文のバージョンが該当する場合：安全上の注意事項

4.2 製品識別表示

4.2.1 銘板

機器の銘板はハウジングにレーザー刻印されています。

その他の機器情報については、以下から入手できます。

- 銘板に記載されたシリアル番号を デバイスビューワーに入力します
(www.endress.com → 製品ツール → 機器固有情報を入力 → デバイスビューワー (シリアル番号から機器情報や関連資料にアクセスできます) → オプションを選択 → シリアル番号を入力)：機器の関連情報がすべて表示されます。
- 銘板に記載されたシリアル番号を Endress+Hauser Operations アプリに入力します：機器の関連情報がすべて表示されます。

4.2.2 製造者データ

Endress+Hauser SE+Co. KG

Hauptstraße 1

79689 Maulburg

Germany

www.endress.com


4.3 保管および輸送


- 機器は、保管および輸送時に衝撃から完全に保護されるように梱包されています。
- 許容保管温度は -40～+85 °C (-40～185 °F) です。
- 納入時の梱包材を使用して、機器を乾燥した場所に保管してください。
- 可能な場合は、必ず納入時の梱包材を使用して機器を輸送してください。

5 取付け


5.1 取付方法

- 位置合せと範囲に注意してください。→ 図 13
- 壁面およびパイプから 6 cm 以上の間隔を確保してください。フレネルゾーンの範囲を考慮する必要があります。
- 高電圧機器の近くに取り付けしないでください。
- 良好な接続状態を確保するために、FieldPort SWA50 を WirelessHART FieldPort (SWA50、SWA70) または WirelessHART ゲートウェイ (Fieldgate SWG70 など) の視界内に取り付けてください。
- 取付位置での振動の影響に注意してください。

 範囲および耐振動性の詳細については、FieldPort SWA50 の技術仕様書を参照してください。→ 図 7

 FieldPort SWA50 を降雨や直射日光から保護することをお勧めします。信号品質が低下するため、金属製のカバーは使用しないでください。

5.2 範囲

 範囲は、FieldPort SWA50 の位置合せ、取付位置、環境条件に応じて異なります。通常、WirelessHART ゲートウェイまたは FieldEdge のアンテナは垂直に位置合せされるため、FieldPort SWA50 も垂直に取り付けることをお勧めします。機器と異なる方向にアンテナを位置合せすると、アンテナ範囲が大幅に縮小してしまう可能性があります。

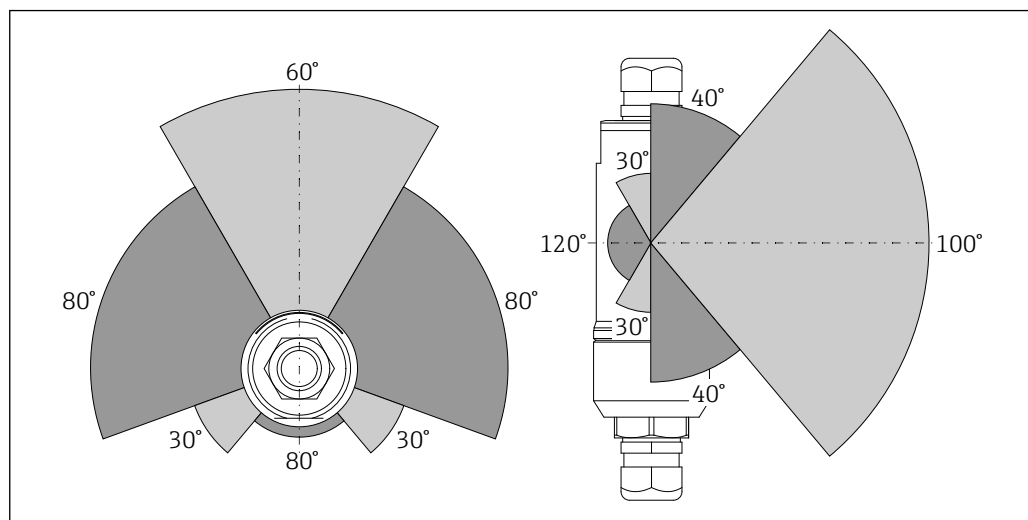


図 2 伝送窓の位置による範囲の違い

Bluetooth

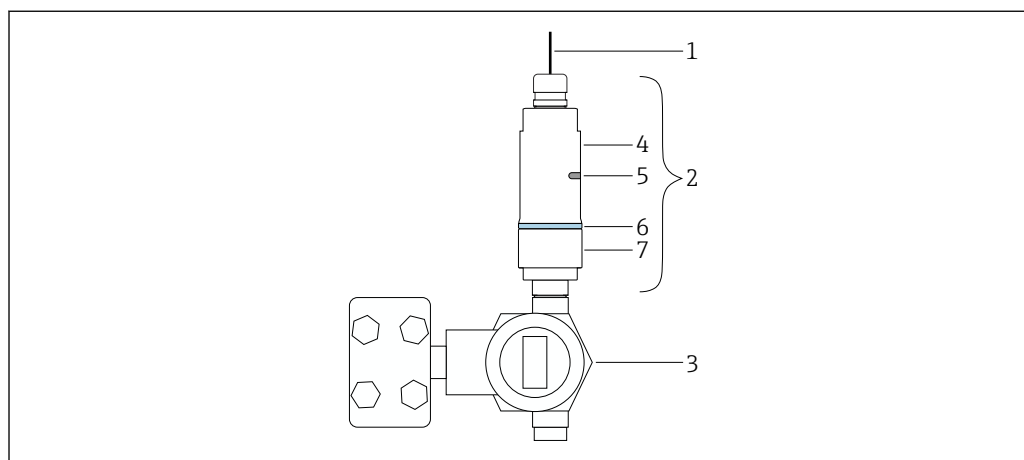
最大 40 m (FieldPort SWA50 の位置合せが最適化されており、障害物が存在しない場合)

WirelessHART

最大 200 m (FieldPort SWA50 の位置合せが最適化されており、障害物が存在しない場合)

5.3 取付方法

5.3.1 「直接取付け」バージョン



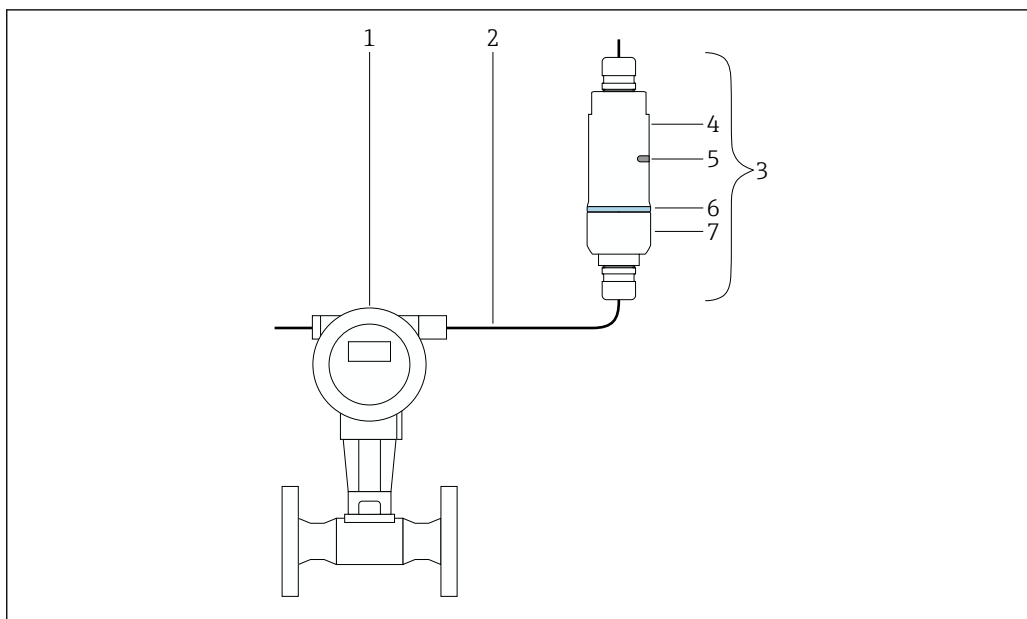
A0043241

図 3 直接取付けの例

- 1 ケーブル
- 2 FieldPort SWA50「直接取付け」バージョン
- 3 HART フィールド機器
- 4 ハウジング下部
- 5 伝送窓
- 6 構成リング
- 7 ハウジング上部

i 「直接取付け」バージョンの取付手順：→ 15

5.3.2 「分離型取付け」バージョン



A0043240

図 4 分離型取付けの例

- 1 HART フィールド機器
- 2 ケーブル
- 3 FieldPort SWA50 「分離型取付け」バージョン
- 4ハウジング下部
- 5 伝送窓
- 6 構成リング
- 7 ハウジング上部

i 分離型取付けの場合、取付金具（オプション）の使用をお勧めします。あるいは、パイプクリップを使用して分離型バージョンを固定することもできます。

i 「分離型取付け」バージョンの取付手順：→ 図 21

5.4 「直接取付け」バージョンの取付け

注記

破損したシール

IP 保護等級の保証が失われます。

- ▶ 破損したシールを使用しないでください。

注記

取付時の電源電圧の印加

機器が損傷する可能性があります。

- ▶ 取付作業を実施する前に、電源をオフにしてください。
- ▶ 機器が解磁状態になっていることを確認してください。
- ▶ 電源がオンに切り替わらないようにスイッチを保護してください。

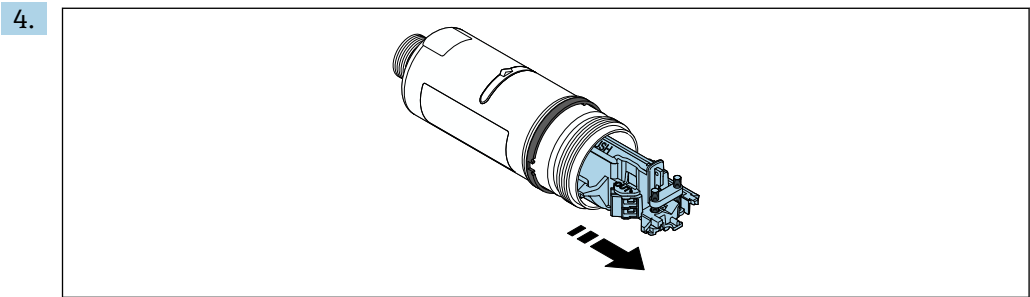
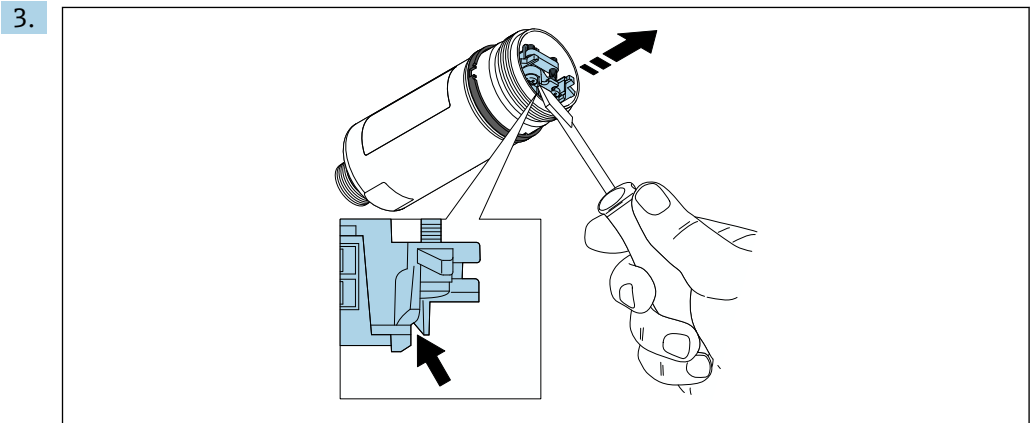
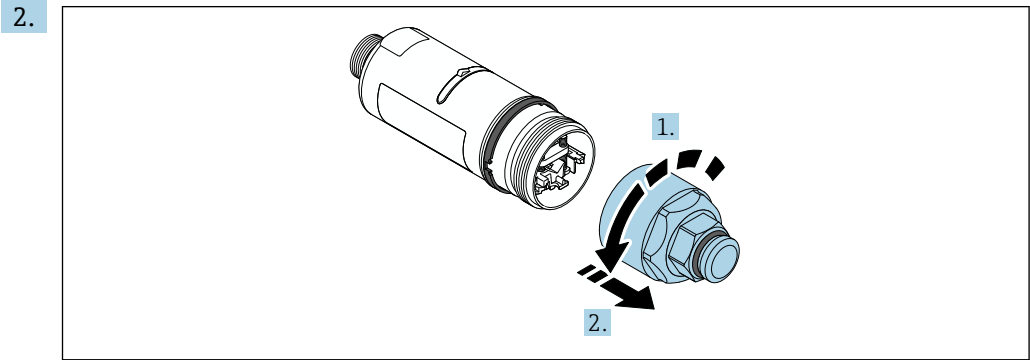
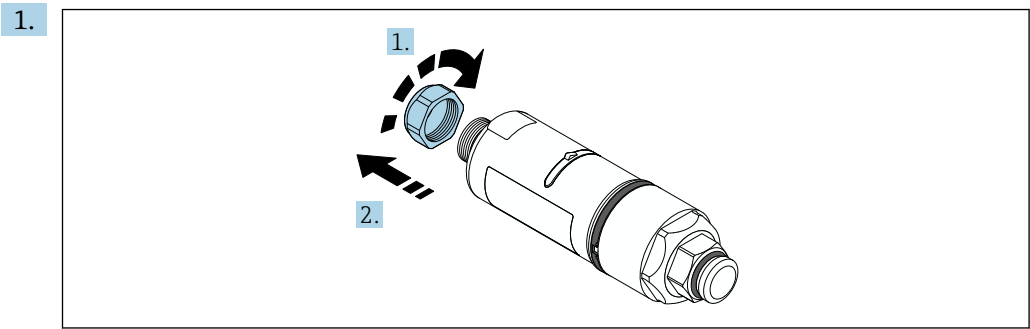
i 「直接取付け」の概要：→ 図 14

i 電気接続：→ 図 29

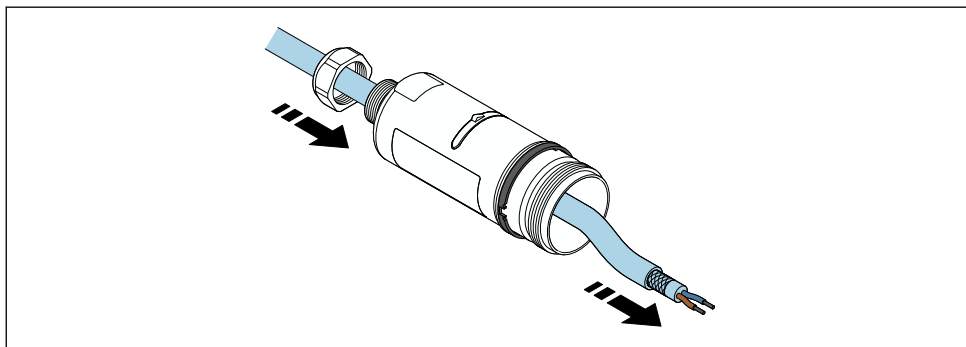
必要な工具

- スパナ：二面幅 24 mm
- スパナ：二面幅 36 mm

FieldPort SWA50 の取付け

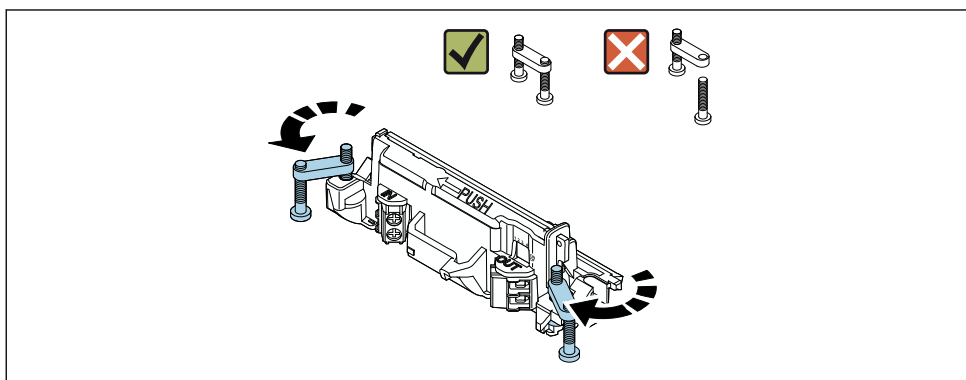


5.



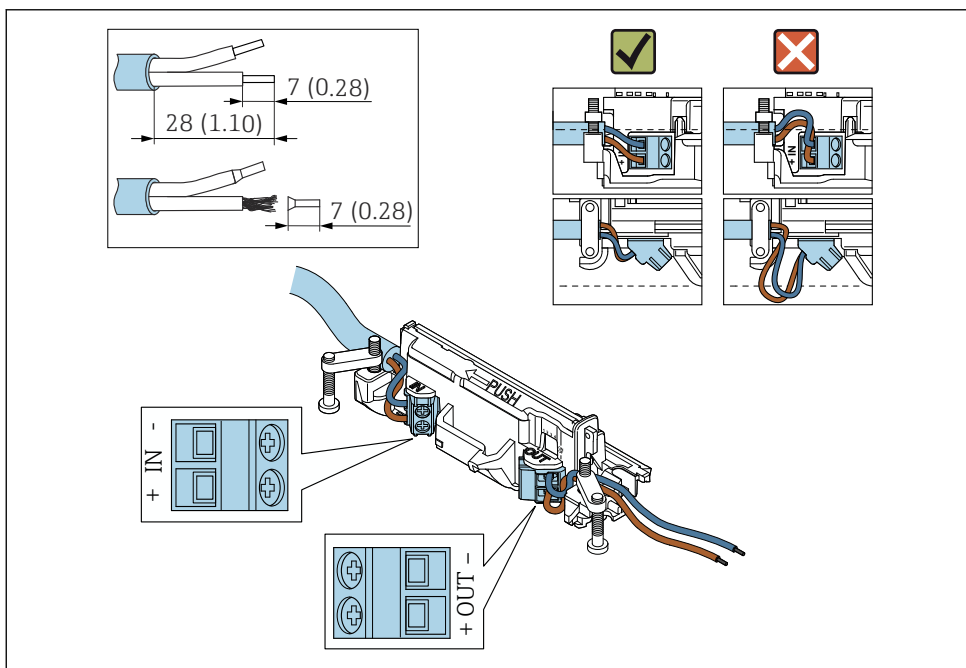
A0040502

6.



A0040501

7.



A0041551

フィールド機器を接続するための十分な長さの芯線を確認してください。フィールド機器を接続する前に、芯線を必要な長さに切断しないでください。

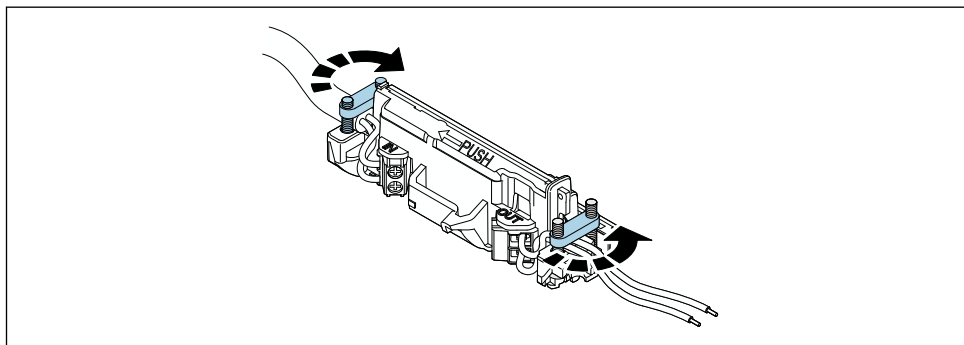


シールドケーブル用のケーブルグランドを使用する場合は、ケーブルのストリッピングに関する指示 (→ 図 30) に従ってください。



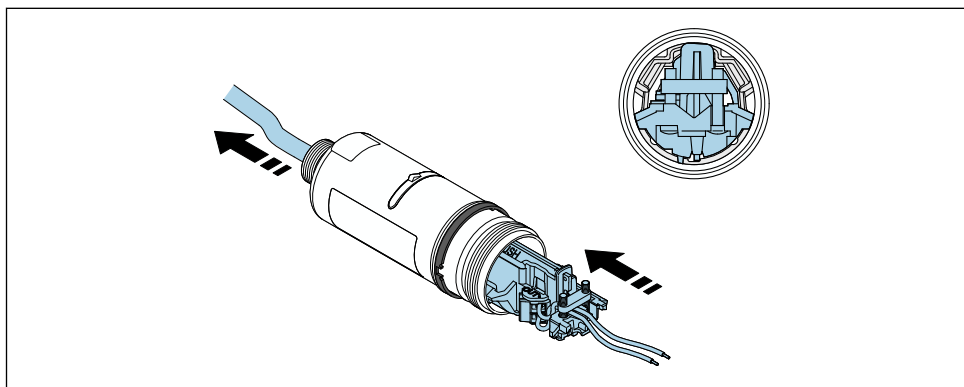
- パッシブ電流出力付き 2 線式 HART フィールド機器の電気接続：→ 図 31
- パッシブ電流出力付き 4 線式 HART フィールド機器の電気接続：→ 図 31
- アクティブ電流出力付き 4 線式 HART フィールド機器の電気接続：→ 図 32
- FieldPort SWA50 (HART フィールド機器なし) の電気接続：→ 図 33

8.



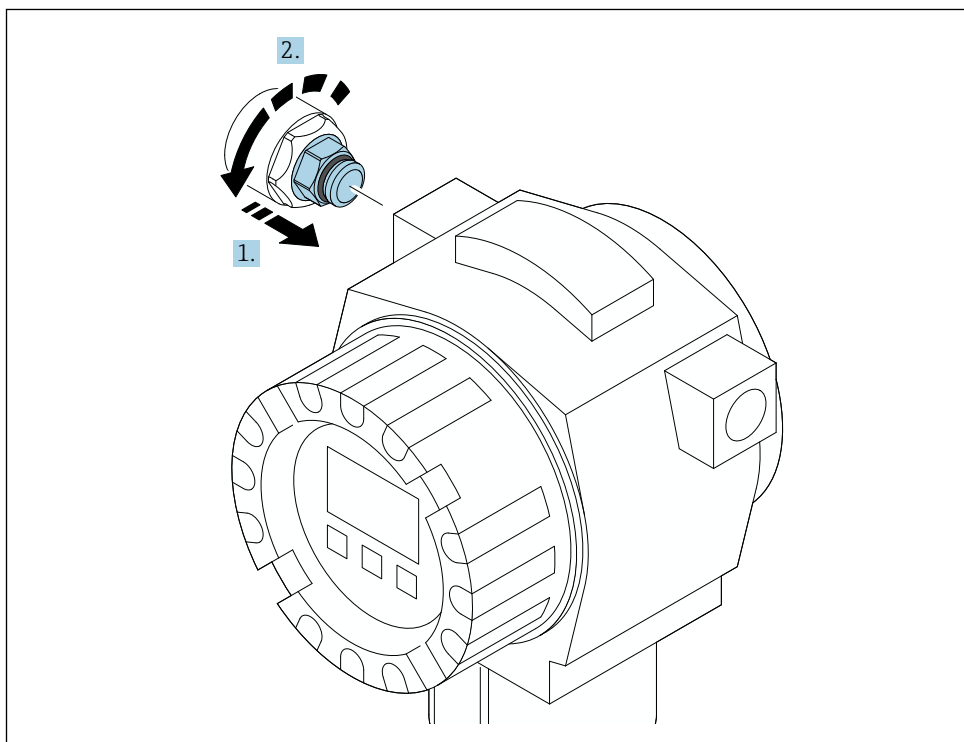
ストレインリリーフ用のネジを締め付けます。トルク : $0.4 \text{ Nm} \pm 0.04 \text{ Nm}$

9.



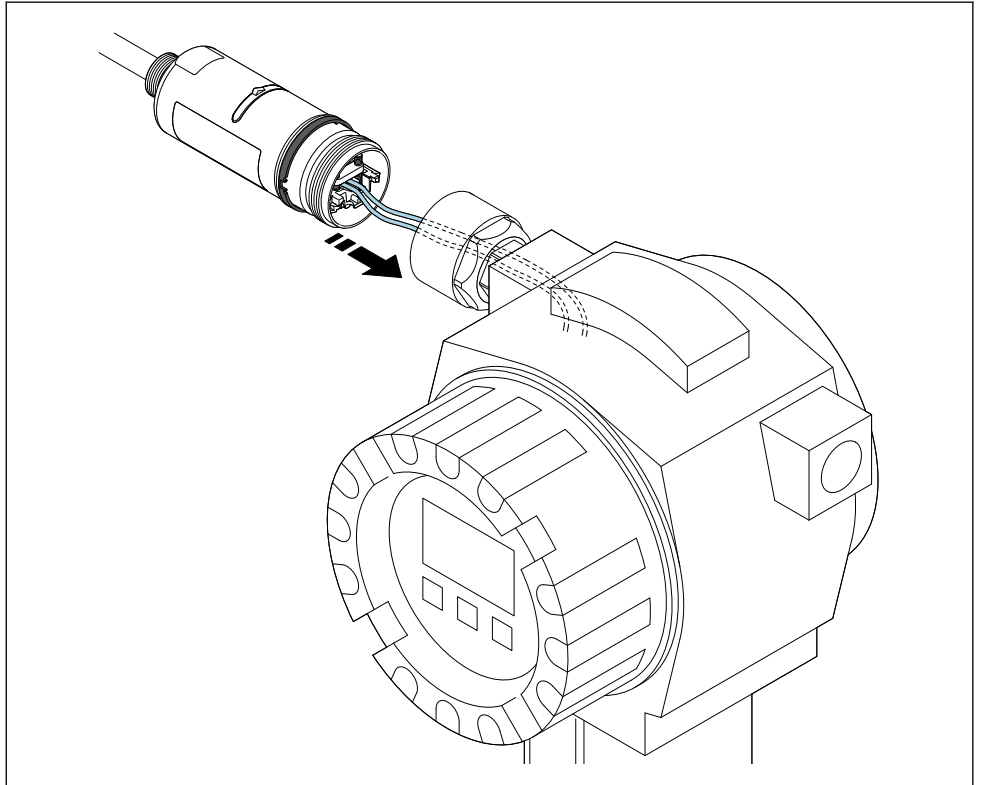
電子回路インサートをスライドさせて、ハウジング内部のガイドに挿入します。

10.



トルクについては、フィールド機器の関連資料を参照してください。

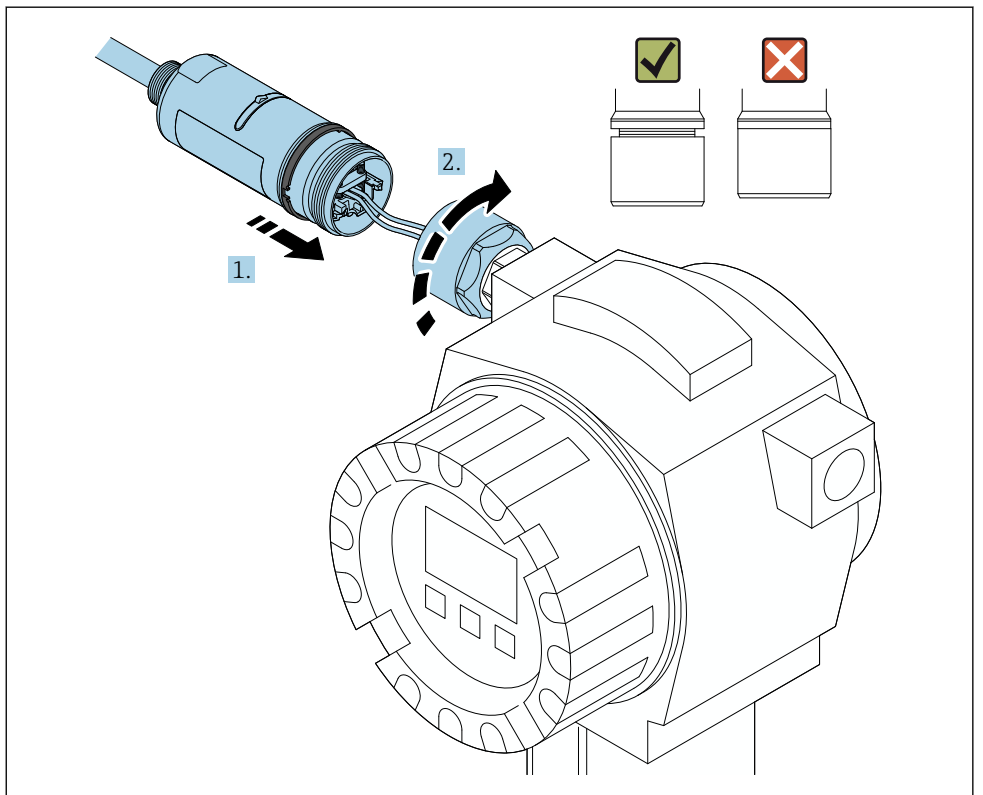
11.



A0041554

フィールド機器を接続するための十分な長さの芯線を確認してください。フィールド機器の芯線を必要な長さに切断します。

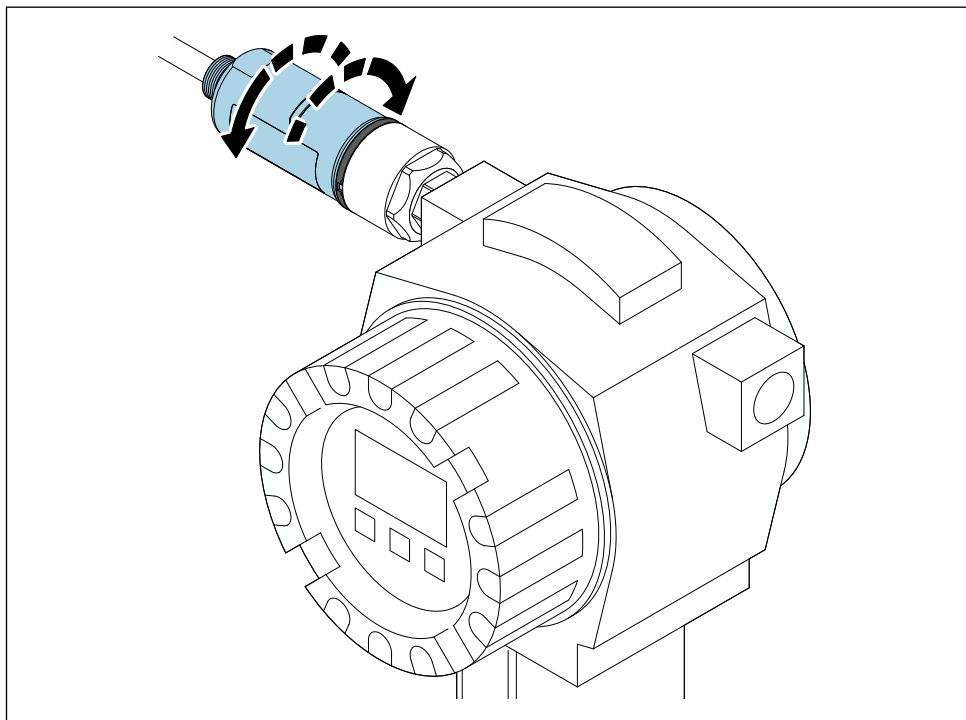
12.



A0040566

まだハウジング上部の締付けを行わずに、ハウジング下部の回転が可能な状態を保持します。

13.



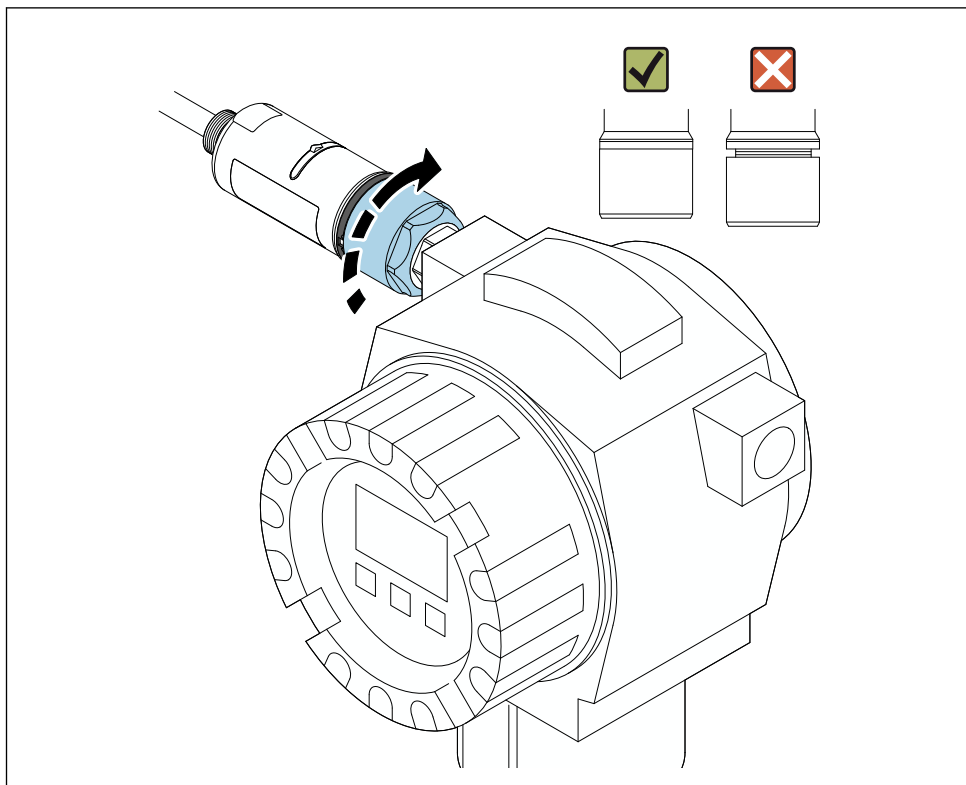
A0040568

ネットワークアーキテクチャに基づいて、ハウジング下部と伝送窓の位置合わせを行います → 図 13。



配線の切断を防止するため、ハウジング下部を $\pm 180^\circ$ 以上の角度で回転させないでください。

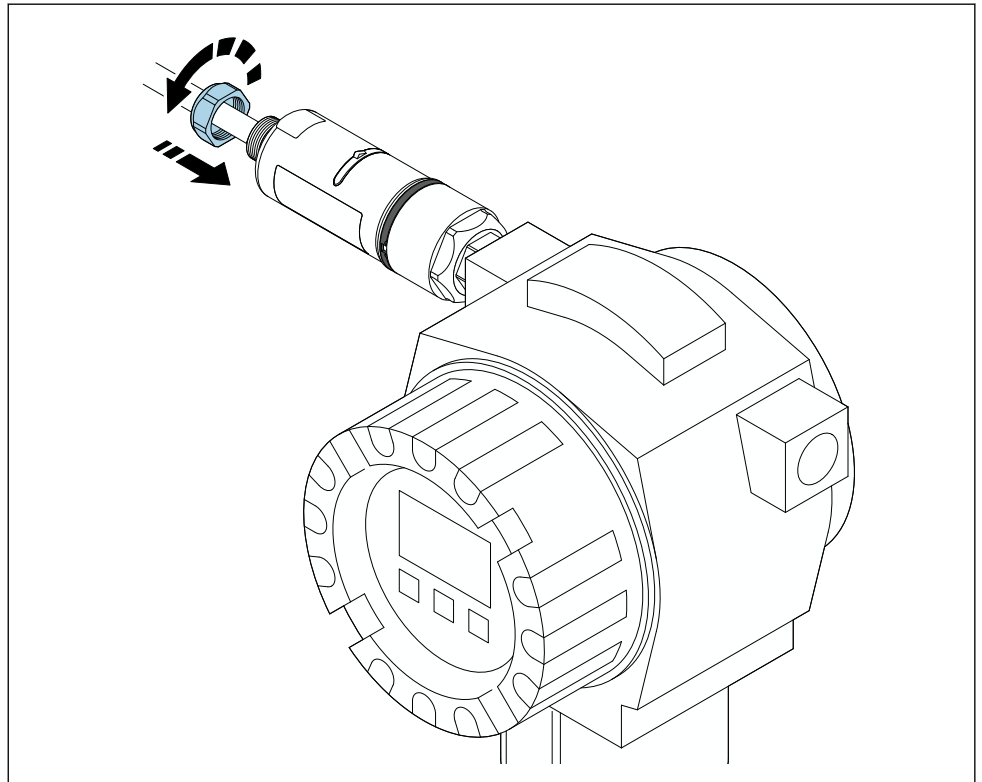
14.



A0040569

ハウジング上部を締め付けます。ただし、青色の構成リングの回転が可能な状態を保持します。トルク： $5 \text{ Nm} \pm 0.05 \text{ Nm}$

15.



A0040567

16. 設定を行います → 図 37。

5.5 「分離型取付け」バージョンの取付け

注記

破損したシール

IP 保護等級の保証が失われます。

- ▶ 破損したシールを使用しないでください。

注記

取付時の電源電圧の印加

機器が損傷する可能性があります。

- ▶ 取付作業を実施する前に、電源をオフにしてください。
- ▶ 機器が解磁状態になっていることを確認してください。
- ▶ 電源がオンに切り替わらないようにスイッチを保護してください。



「分離型取付け」の概要：→ 図 14



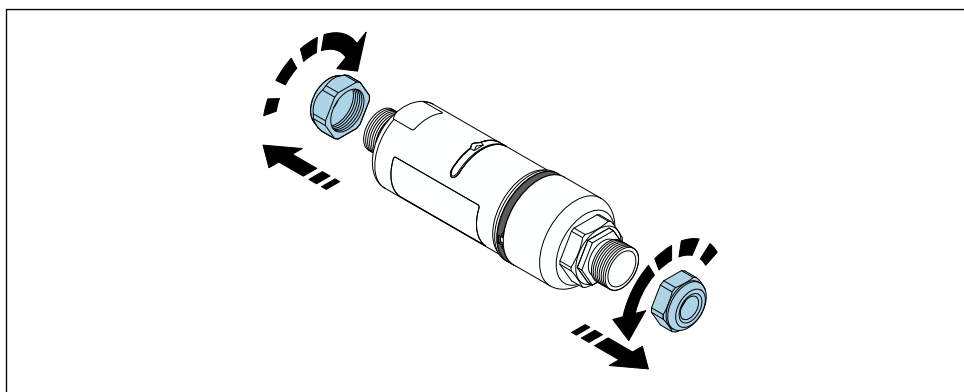
電気接続：→ 図 29

必要な工具

- スパナ：二面幅 27 mm
- スパナ：二面幅 36 mm

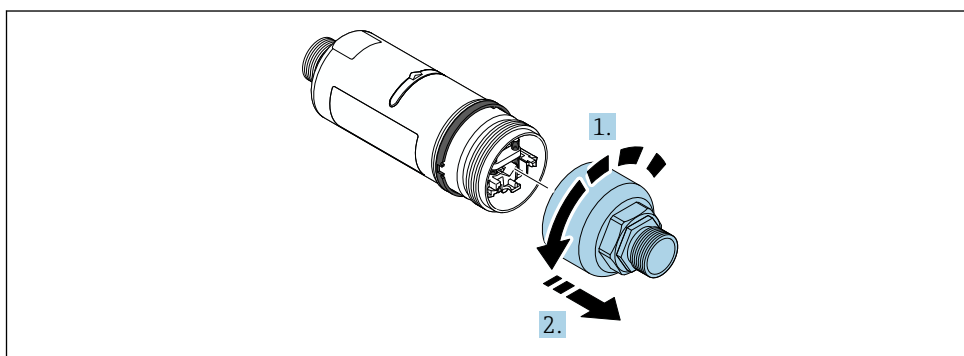
FieldPort SWA50 の取付け

1.



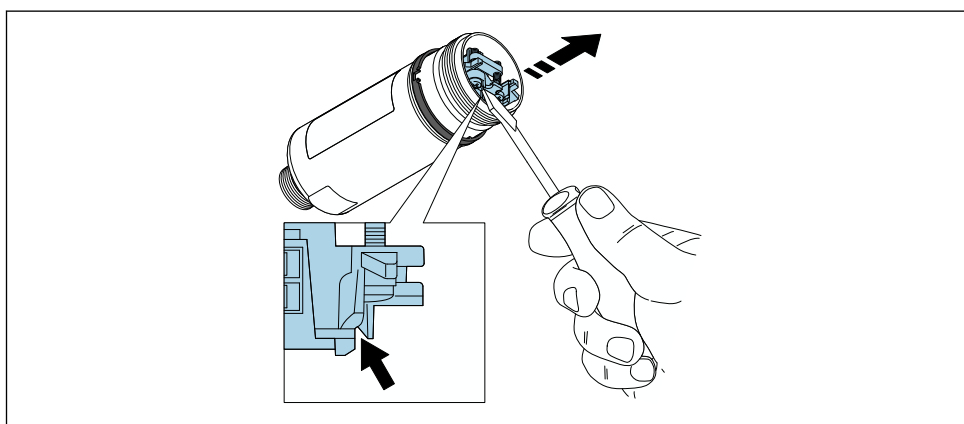
A0040498

2.



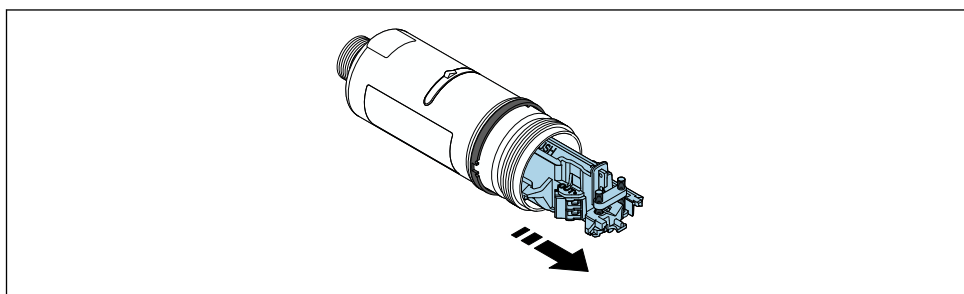
A0040499

3.



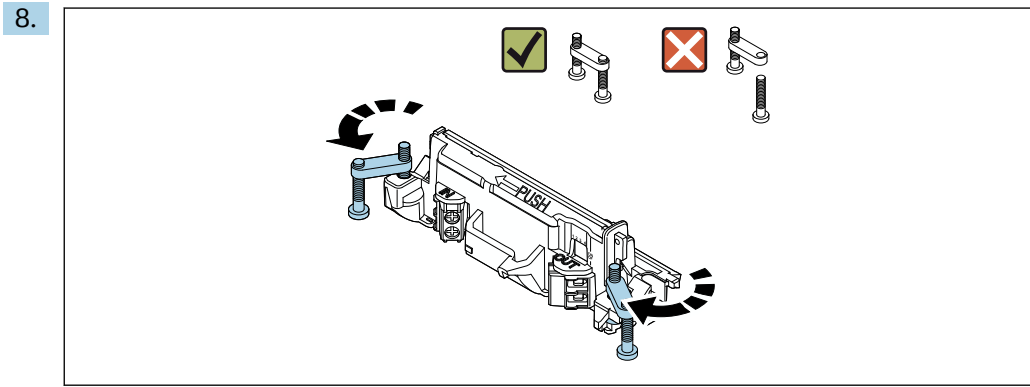
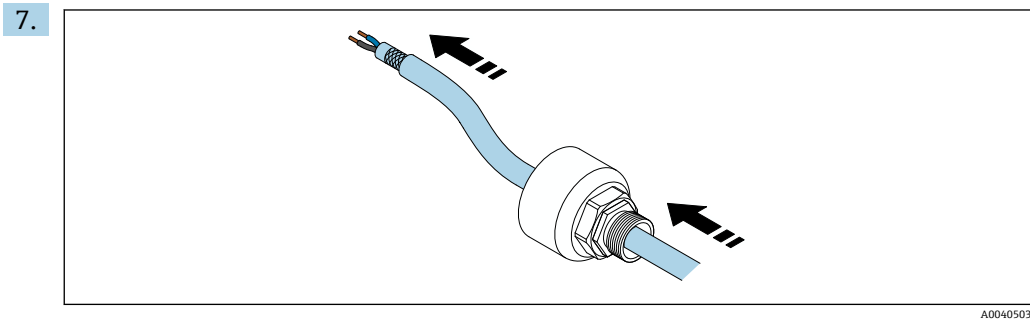
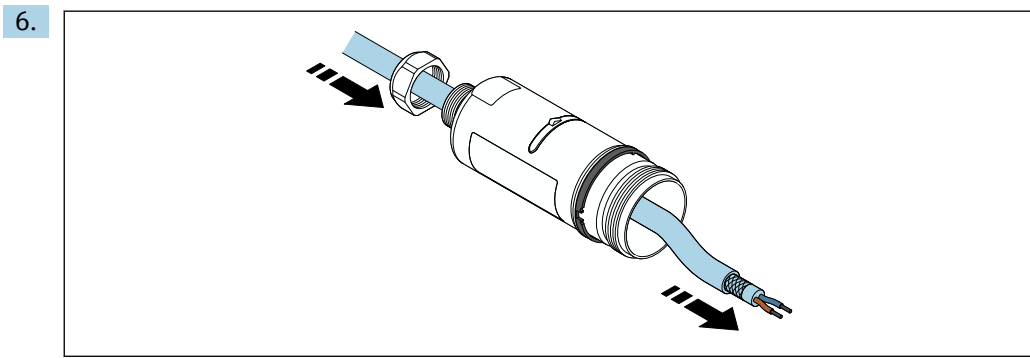
A0041512

4.

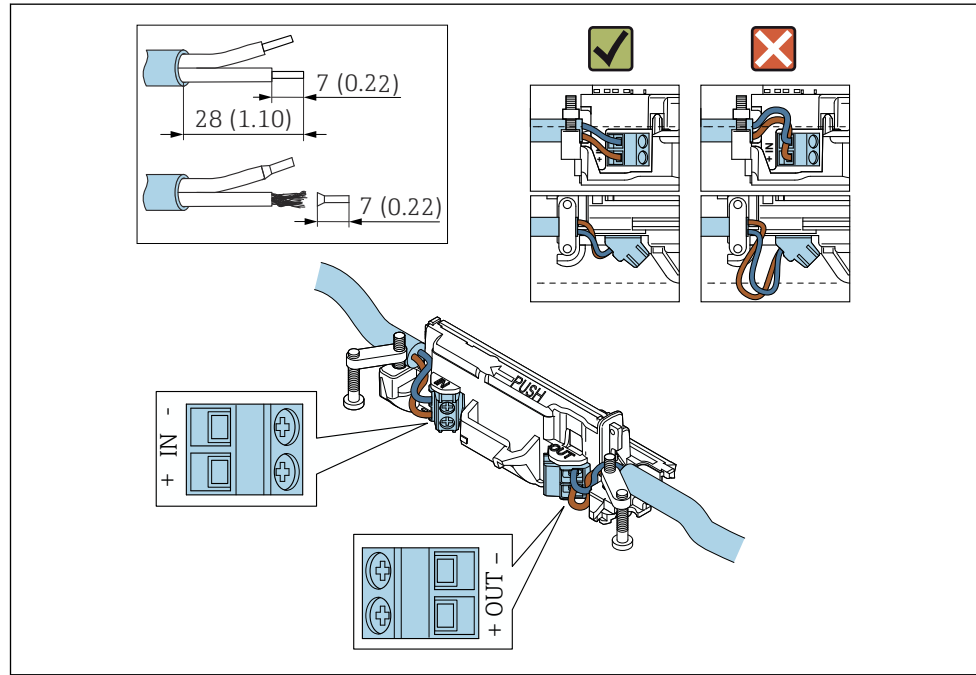


A0040500

5. 取付金具（オプション）を使用して FieldPort SWA50 を取り付ける場合、「取付金具と FieldPort SWA50 の取付け」セクション（→ 27）の説明に従ってください。



9.

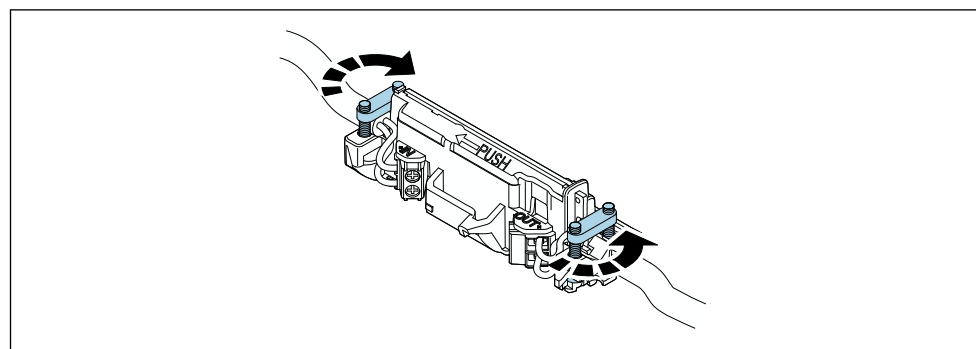


A0040504

i シールドケーブル用のケーブルグラウンドを使用する場合は、ケーブルのストリッピングに関する指示 (→ 図 30) に従ってください。

- i** ■ パッシブ電流出力付き 2 線式 HART フィールド機器の電気接続 : → 図 31
- パッシブ電流出力付き 4 線式 HART フィールド機器の電気接続 : → 図 31
- アクティブ電流出力付き 4 線式 HART フィールド機器の電気接続 : → 図 32
- FieldPort SWA50 (HART フィールド機器なし) の電気接続 : → 図 33

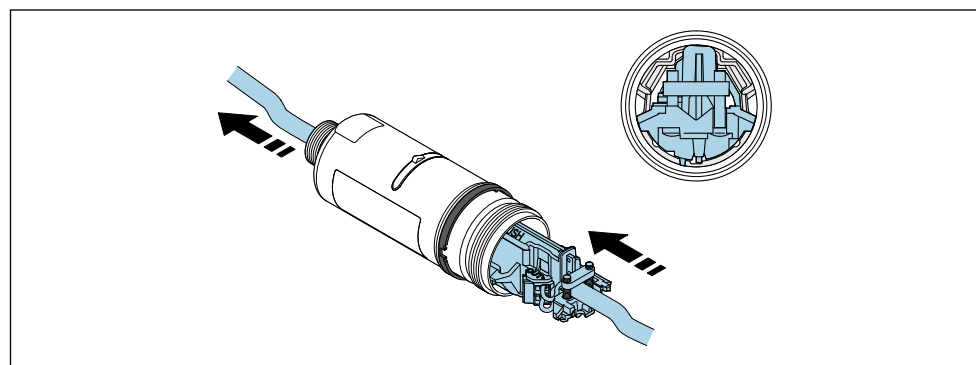
10.



A0040507

ストレインリリーフ用のネジを締め付けます。トルク : $0.4 \text{ Nm} \pm 0.04 \text{ Nm}$

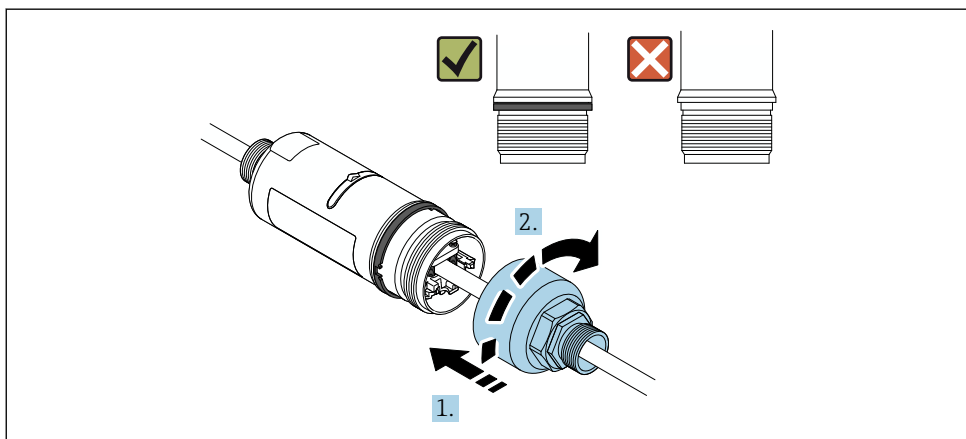
11.



A0040508

電子回路インサートをスライドさせて、ハウジング内部のガイドに挿入します。

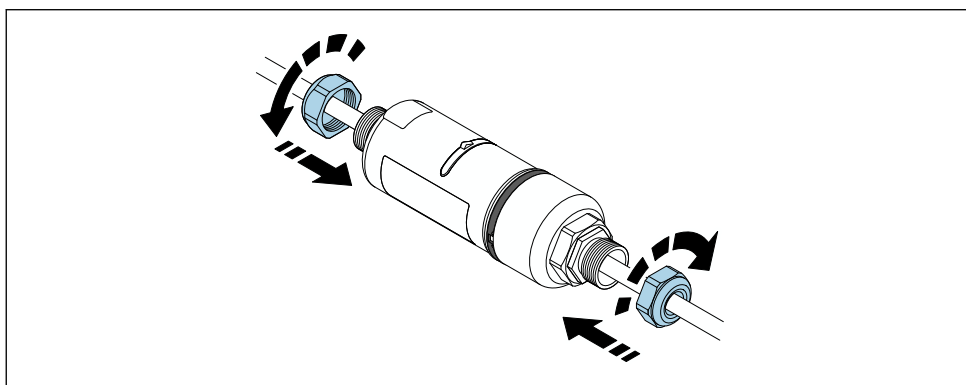
12.



A0040509

ハウジング上部を締め付けます。ただし、青色の構成リングの回転が可能な状態を保持します。トルク：5 Nm ± 0.05 Nm

13.



A0040510

14. 設定を行います → 図 37。

5.6 取付金具を使用した FieldPort SWA50 の取付け

5.6.1 取付けおよび位置合せのオプション

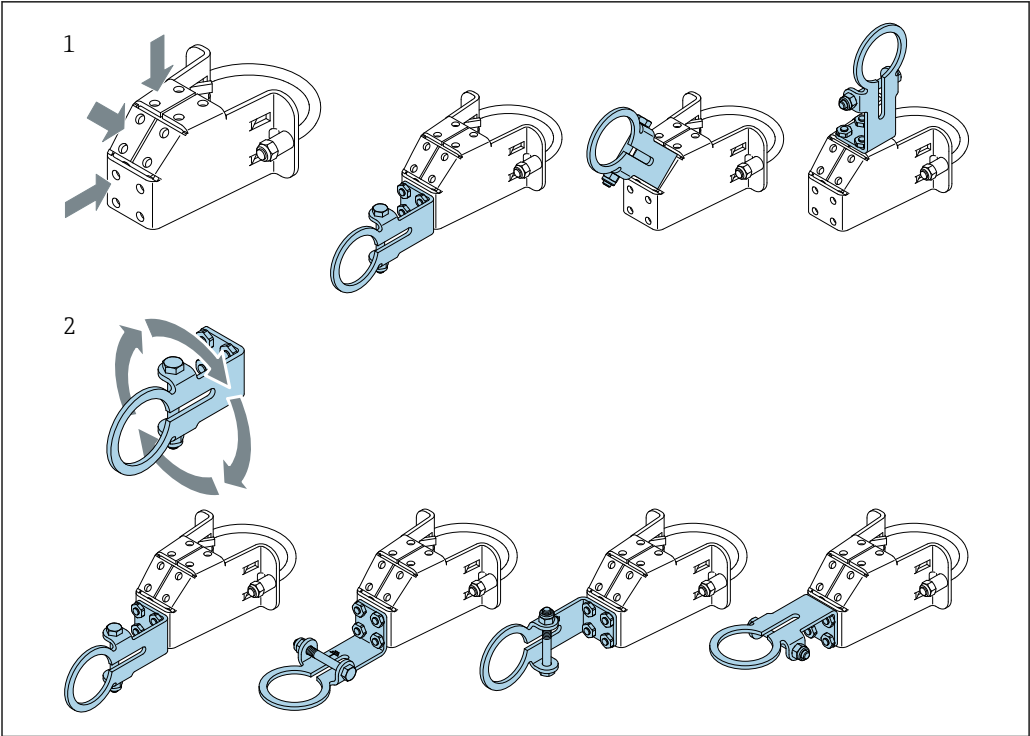
取付金具は、以下に取り付けることができます。

- 最大径 65 mm のパイプ
- 壁面

FieldPort は、支持ブラケットを使用して以下の方法で位置合せできます。

- 取付金具上の各取付位置の使用
- 支持ブラケットの回転

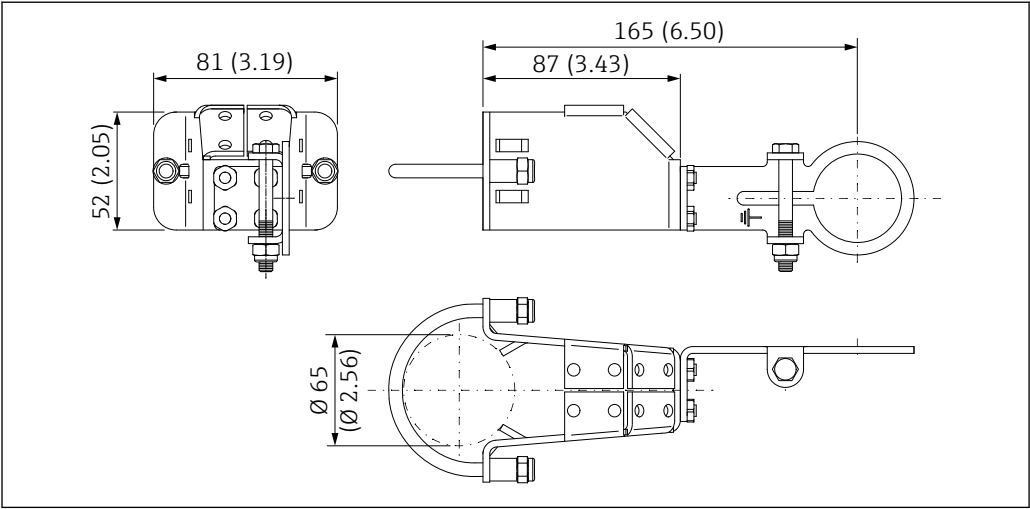
i 位置合せと範囲に注意してください → 図 13。



A0043411

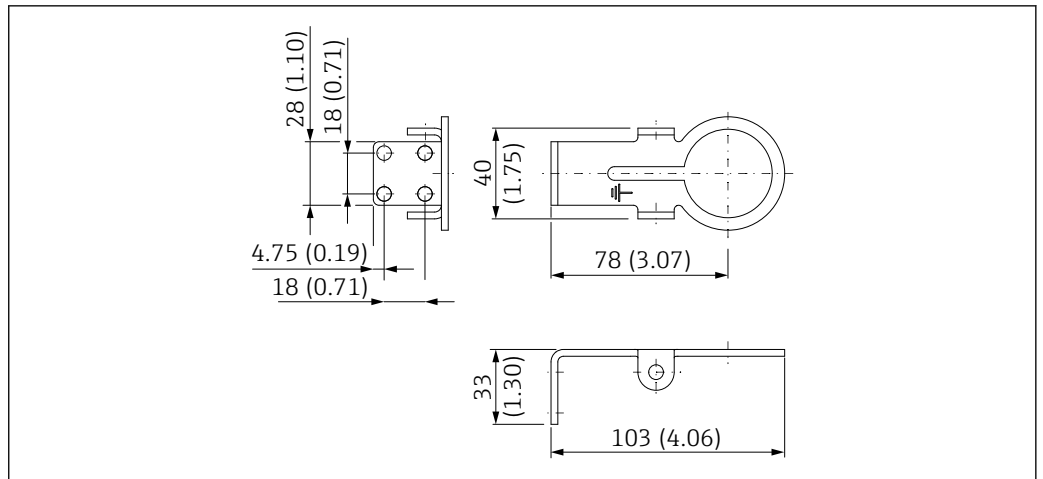
5 支持ブラケットによる位置合せオプション
1 支持ブラケット上の各取付位置
2 支持ブラケットの回転

5.6.2 寸法



A0043313

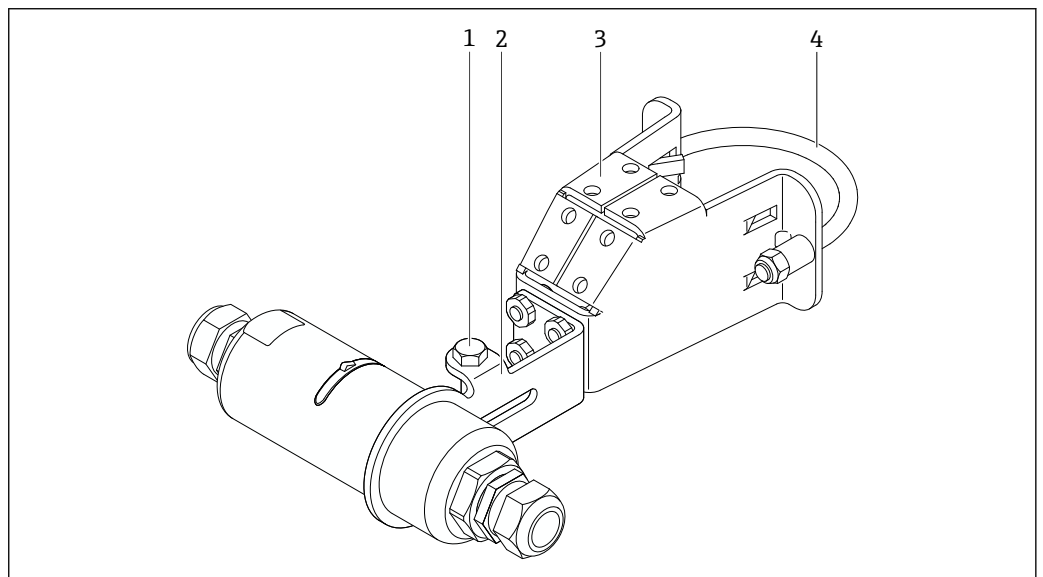
6 取付金具の寸法 - パイプ取付け



A0043410

図 7 固定ブラケットの寸法 - 壁面取付け

5.6.3 取付金具と FieldPort SWA50 の取付け



A0043312

図 8 取付金具（オプション）を使用した FieldPort SWA50 の取付け

- 1 固定および接地用六角頭ボルト
- 2 支持ブラケット
- 3 取付金具
- 4 円形ブラケット

i 取付金具を使用して FieldPort SWA50 を取り付ける場合、ハウジングの上部と下部の間にある構成リングを取り外す必要があります。

必要な工具

- スパナ：二面幅 10 mm
- 六角レンチ：サイズ 4

パイプへの取付金具の取付け


- ▶ 取付金具をパイプの目的の位置に固定します。トルク：最小 5 Nm

i 取付金具上の支持ブラケットの位置を変更する場合は、4 本の六角頭ボルトを 4～5 Nm のトルクで締め付けます。

壁面への取付金具の取付け

- ▶ 支持ブラケットを壁面の目的の位置に固定します。壁面に適したネジを使用する必要があります。

FieldPort SWA50 の取付け

 「「分離型取付けバージョン」の取付け」セクション (→ ㊦ 21) の説明に従ってください。

1. FieldPort SWA50 のケーブルグランドのネジを緩めて取り外します。
- 2.ハウジング上部のネジを緩めて取り外します。
- 3.ハウジングから電子回路インサートを取り出します。
- 4.ハウジング下部の構成リングを取り外します。
- 5.ハウジング下部をスライドさせて、支持ブラケットのアイレットに挿入します。
6. FieldPort SWA50 の電気接続を行います。
7. 電子回路インサートをスライドさせて、ハウジング下部に挿入します。
- 8.ハウジング上部のネジを緩く締め付けます。
9. ネットワークアーキテクチャに基づいて、ハウジング下部と FieldPort SWA50 の伝送窓の位置合せを行います。伝送窓は黒色のプラスチックシールの下にあります。
- 10.ハウジング上部のネジを締め付けます。トルク：5 Nm ± 0.05 Nm
11. 保護接地を六角頭ボルトに接続します。
12. 六角頭ボルトを締め付けて、FieldPort SWA50 を取付金具に固定します。

5.7 設置状況の確認

機器は損傷していないか？（外観検査）	<input type="checkbox"/>
機器が必要な仕様を満たしているか？ 例： ■ 周囲温度 ■ 湿度 ■ 防爆	<input type="checkbox"/>
電子回路インサートのストreinリリース用のネジが適正なトルクで締め付けられているか？	<input type="checkbox"/>
ハウジング上部が適正なトルクで締め付けられているか？	<input type="checkbox"/>
すべての固定ネジ（取付金具（オプション）の固定ネジなど）がしっかりと締め付けられているか？	<input type="checkbox"/>
測定点の識別番号とそれに対応する銘板は正しいか（外観検査）？	<input type="checkbox"/>
アンテナ範囲に関して、機器の位置合せが適切に行われているか？→ ㊦ 13	<input type="checkbox"/>

6 電気接続

注記

OUT+/OUT- 端子における短絡

機器が損傷する恐れがあります。

- ▶ アプリケーションに応じて、フィールド機器、PLC、変換器、または抵抗器を OUT+/OUT- 端子に接続してください。
- ▶ OUT+/OUT- 端子で短絡が発生しないようにしてください。

6.1 電源電圧

- ループ電源 4~20 mA
- DC 24 V (最小 DC 4 V、最大 DC 30 V) : スタートアップには 3.6 mA 以上のループ電流が必要です
- 電源電圧または電源ユニットをテストして、安全要件および SELV、PELV、またはクラス 2 の要件を満たしていることを確認する必要があります。

電圧降下

- 内部 HART 通信用抵抗器が無効化されている場合
 - 3.2 V (運転中)
 - < 3.8 V (スタートアップ時)
- 内部 HART 通信用抵抗器が有効化されている場合 (270 Ohm)
 - < 4.2 V (ループ電流 3.6 mA 時)
 - < 9.3 V (ループ電流 22.5 mA 時)

 電源電圧を選択する場合、FieldPort SWA50 による電圧降下に注意してください。HART フィールド機器の起動時と稼働を確実に実行できる十分な電圧が必要です。


6.2 ケーブル仕様

想定される最低/最高温度に適したケーブルを使用してください。

プラントの接地コンセプトに従ってください。

2 x 0.25~2 x 1.5 mm²

非シールドケーブル (端子台接続あり/なし) およびシールドケーブル (端子台接続あり/なし) を使用できます。

 「直接取付け」バージョンおよび「アクティブ電流出力付き 4 線式 HART フィールド機器および PLC または変換器」電気接続バージョンを選択した場合、使用可能な芯線断面は最大 0.75 mm² です。これよりも大きい芯線断面が必要な場合は、分離型取付けをお勧めします。

6.3 端子の割当て

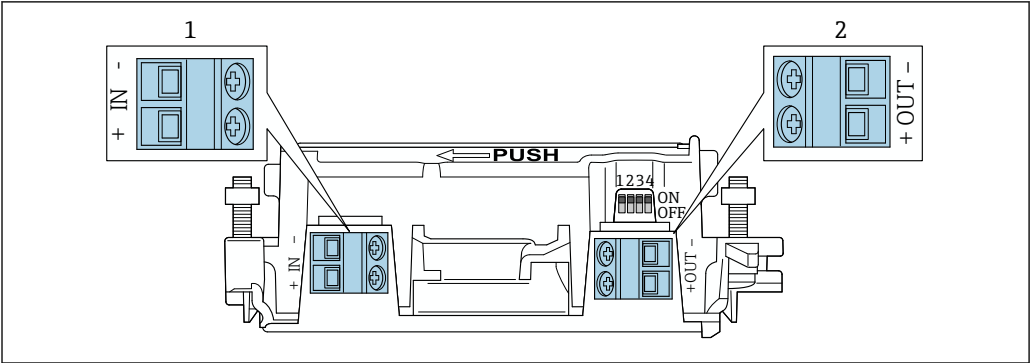


図 9 FieldPort SWA50 の端子の割当て

- 1 入力端子 IN
- 2 出力端子 OUT

アプリケーション	入力端子 IN	出力端子 OUT
2 線式 HART フィールド機器 → 図 11, 図 31	電源電圧、アクティブ電流出力付き PLC、 またはアクティブ電流出力付き変換器 からのケーブル	2 線式 HART フィールド機 器へのケーブル
パッシブ電流出力付き 4 線式 HART フィールド機器 → 図 12, 図 32	電源電圧、アクティブ電流出力付き PLC、 またはアクティブ電流出力付き変換器 からのケーブル	4 線式 HART フィールド機 器へのケーブル
アクティブ電流出力付き 4 線式 HART フィールド機器 → 図 32	4~20 mA HART アクティブ出力付き 4 線式フィールド機器からのケーブル	パッシブ電流出力付き PLC または変換器（オプショ ン）、あるいは OUT+ と OUT- 端子間の配線ブリッ ジ
FieldPort SWA50（フィールド機器 なし） → 図 15, 図 33	FieldPort SWA50 用電源電圧からのケー ブル	OUT+ と OUT- 端子間の抵 抗器

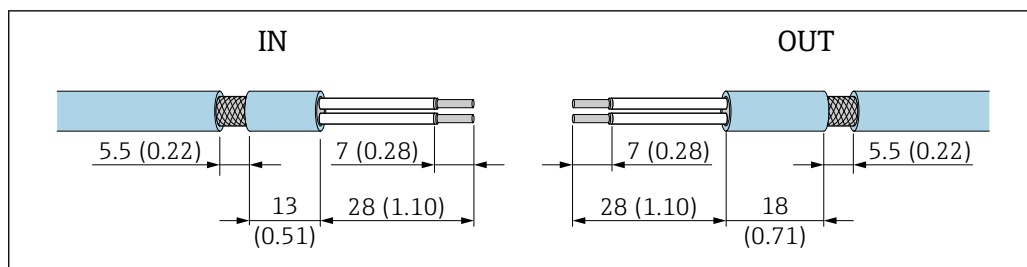
6.4 シールドケーブル用ケーブルグランドを使用する場合
のストリッピング

シールドケーブルを使用し、ケーブルシールドを FieldPort SWA50 に接続する場合、シールドケーブル用のケーブルグランドを使用する必要があります。

ケーブルグランドの「シールドケーブル用真鍮製 M20」オプションをご注文の場合、以下のケーブルグランドが納入されます。

- 「直接取付け」バージョン：1 x シールドケーブル用ケーブルグランド
- 「分離型取付け」バージョン：2 x シールドケーブル用ケーブルグランド

シールドケーブル用のケーブルグランドを取り付ける場合、以下の寸法でストリッピングを行うことをお勧めします。入力端子 IN と出力端子 OUT の寸法は異なります。



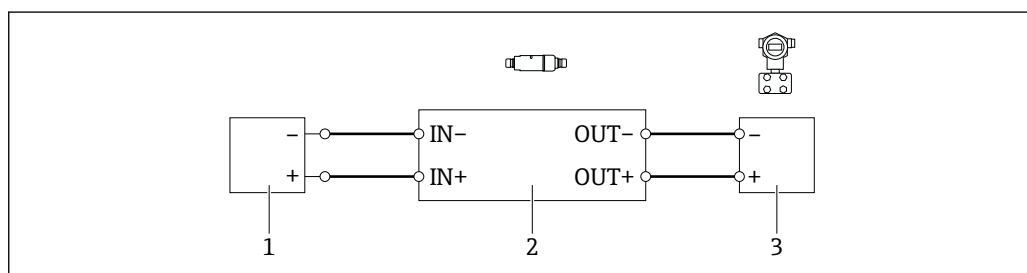
A0043665

図 10 入力端子 IN と出力端子 OUT のシールドケーブル用ケーブルグランドを使用する場合に推奨されるストリッピング寸法

- シールド領域（被覆）：φ 4～6.5 mm (0.16～0.25 in)
- シールド：φ 2.5～6 mm (0.1～0.23 in)

6.5 パッシブ電流出力付き 2 線式 HART フィールド機器

i 一部の接地ではシールドケーブルが必要となります。ケーブルシールドを FieldPort SWA50 に接続する場合、シールドケーブル用のケーブルグランドを使用する必要があります。注文情報を参照してください。



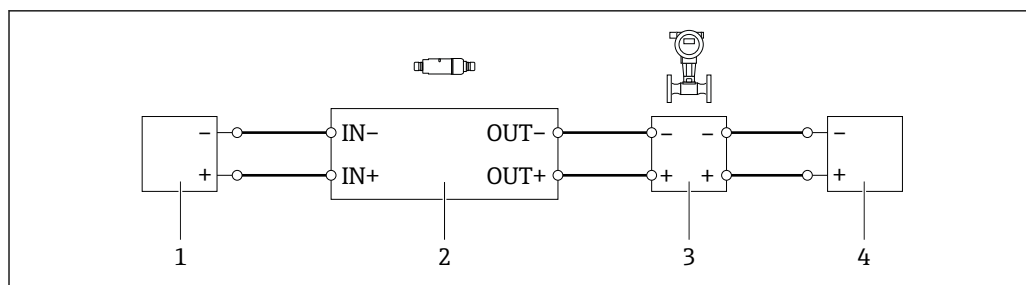
A0040494

図 11 パッシブ電流出力付き 2 線式 HART フィールド機器の電気接続（オプションの接地は図示されていません）

- 1 電源 (SELV、PELV、またはクラス 2)、アクティブ電流入力付き PLC、またはアクティブ電流入力付き変換器
- 2 電子回路インサート SWA50
- 3 2 線式フィールド機器、4～20 mA HART

6.6 パッシブ電流出力付き 4 線式 HART フィールド機器

i 一部の接地ではシールドケーブルが必要となります。ケーブルシールドを FieldPort SWA50 に接続する場合、シールドケーブル用のケーブルグランドを使用する必要があります。注文情報を参照してください。



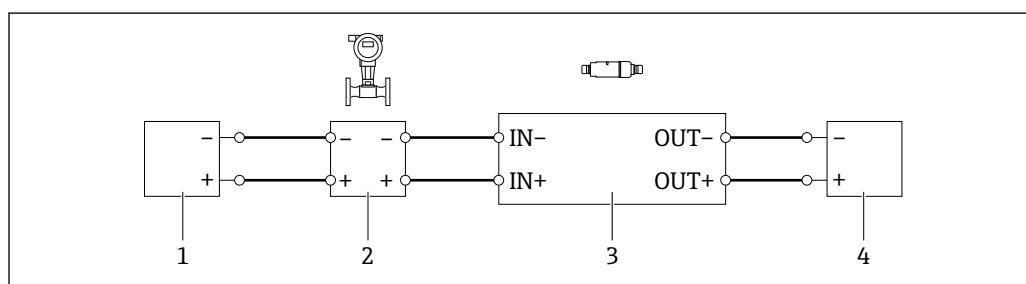
A0040491

図 12 パッシブ電流出力付き 4 線式 HART フィールド機器の電気接続（オプションの接地は図示されていません）

- 1 電源（SELV、PELV、またはクラス 2）、アクティブ電流入力付き PLC、またはアクティブ電流入力付き変換器
- 2 電子回路インサート SWA50
- 3 4~20 mA HART パッシブ出力付き 4 線式フィールド機器
- 4 4 線式フィールド機器用電源

6.7 アクティブ電流出力付き 4 線式 HART フィールド機器

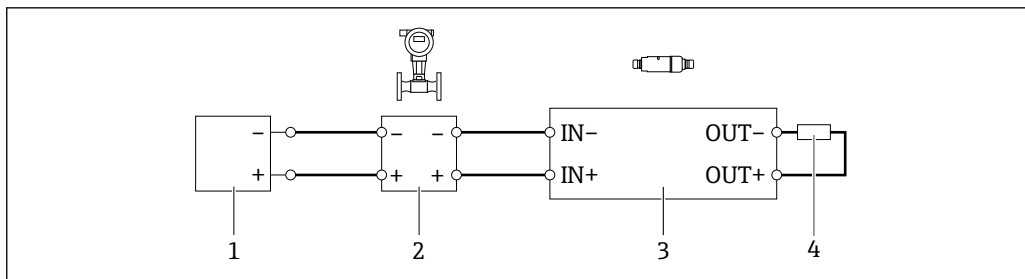
i 一部の接地ではシールドケーブルが必要となります。ケーブルシールドを FieldPort SWA50 に接続する場合、シールドケーブル用のケーブルグランドを使用する必要があります。注文情報を参照してください。



A0040492

図 13 アクティブ電流出力付き 4 線式 HART フィールド機器の電気接続（オプションの接地は図示されていません） - PLC または変換器：OUT 端子

- 1 4 線式 HART フィールド機器用電源電圧（SELV、PELV、またはクラス 2）
- 2 4~20 mA HART アクティブ出力付き 4 線式フィールド機器
- 3 電子回路インサート SWA50
- 4 パッシブ電流入力付き PLC または変換器



A0045101

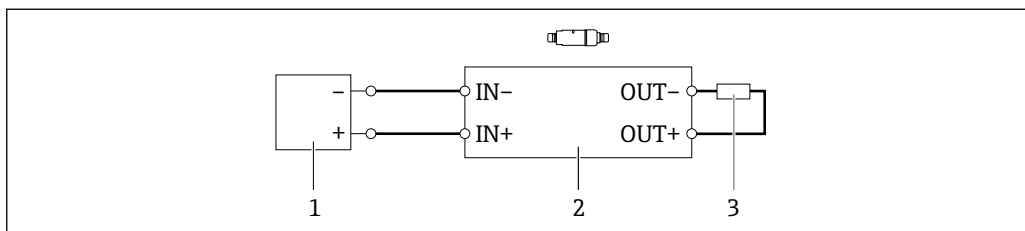
図 14 アクティブ電流出力付き 4 線式 HART フィールド機器の電気接続（オプションの接地は図示されていません） - 抵抗器：OUT 端子

- 1 4 線式 HART フィールド機器用電源電圧（SELV、PELV、またはクラス 2）
- 2 4～20 mA HART アクティブ出力付き 4 線式フィールド機器
- 3 電子回路インサート SWA50
- 4 抵抗器 250～500 Ohm 最小 250 W（OUT+ と OUT- 端子間）

i 「直接取付け」バージョンおよび「アクティブ電流出力付き 4 線式 HART フィールド機器および PLC または変換器」電気接続バージョンを選択した場合、使用可能な芯線断面は最大 0.75 mm^2 です。短い方のハウジング上部に挿入する配線を反対側の IN 端子に接続し、長い方のハウジング下部に挿入する配線を反対側の OUT 端子に接続する必要があります。これよりも大きい芯線断面が必要な場合は、分離型取付けをお勧めします。

6.8 FieldPort SWA50（HART フィールド機器なし）

i この接続バージョンでは、FieldPort SWA50 の事前設定が可能です。



A0040493

図 15 FieldPort SWA50（HART フィールド機器なし）（オプションの接地は図示されていません）

- 1 電源、FieldPort SWA50、DC 20～30 V（SELV、PELV、またはクラス 2）
- 2 電子回路インサート SWA50
- 3 抵抗器 1.5 kOhm および最小 0.5 W（OUT+ と OUT- 端子間）

6.9 FieldPort SWA50 の接地

6.9.1 「直接取付け」バージョン

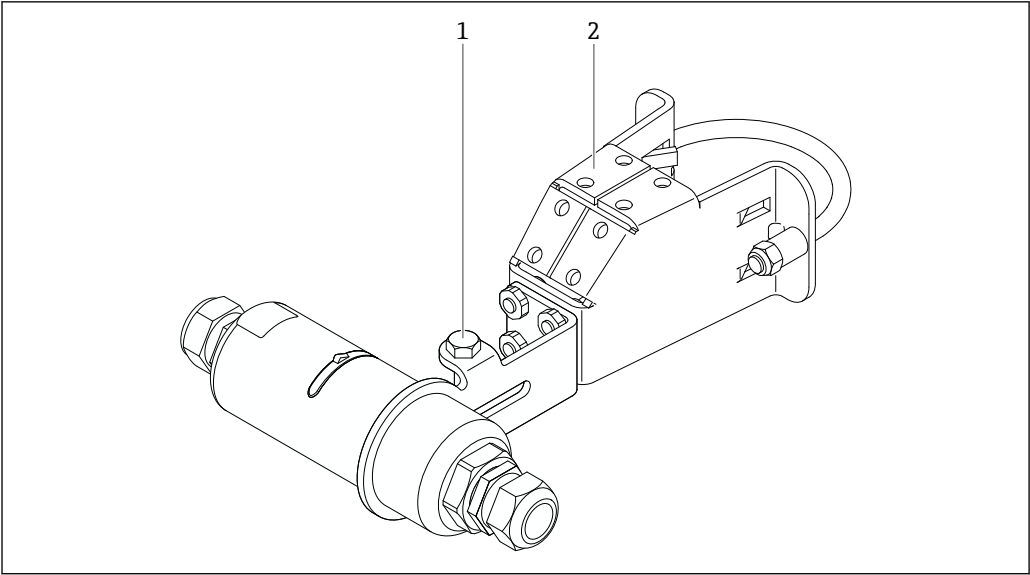
「直接取付け」バージョンでは、フィールド機器または金属製導管を使用して FieldPort SWA50 を接地します。

6.9.2 「分離型取付け」バージョン

「分離型取付け」バージョンでは、取付金具（オプション）または接地用クランプ（ユーザー側で用意）を使用して FieldPort SWA50 を接地します。

取付金具（オプション）

取付金具を使用する場合、接地用ネジを使用して FieldPort SWA50 を接地します。



A0043311

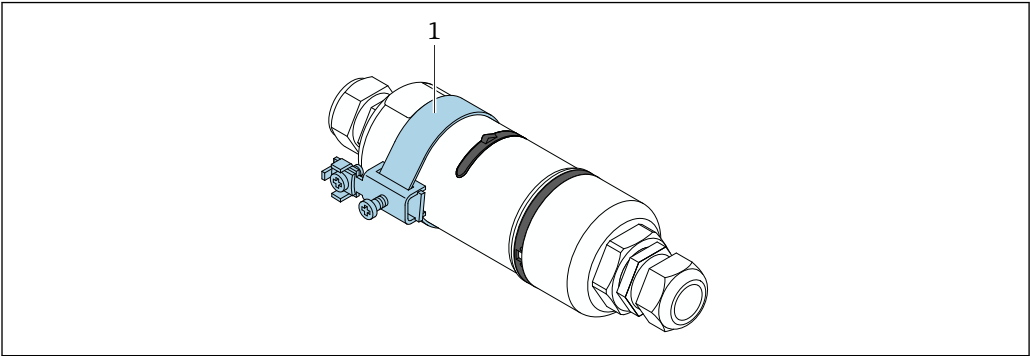
図 16 取付金具（オプション）

- 1 固定および接地用六角頭ボルト
- 2 取付金具（オプション）

接地用クランプ（ユーザー側で用意）

ユーザー側で用意する接地用クランプは、以下の要件を満たす必要があります。

- 直径：約 40 mm
- ステンレス
- FieldPort SWA50 を危険場所で使用する場合：DIN EN 62305、Sheet 3 および DIN EN 62561-1 による危険場所への適合



A0041808

図 17 接地用クランプによる接地

- 1 ユーザー側で用意する接地用クランプの例

6.10 配線状況の確認

機器およびケーブルは損傷していないか？（外観検査）	<input type="checkbox"/>
ケーブルの仕様は正しいか？	<input type="checkbox"/>
端子割当ては正しいか？	<input type="checkbox"/>
ケーブルの接続において配線、絶縁材、ケーブルシールドなどの詰込みが生じていないか？	<input type="checkbox"/>
電源電圧は正しいか？	<input type="checkbox"/>
FieldPort SWA50 は接地されているか（必要な場合）？	<input type="checkbox"/>

7 操作オプション

7.1 操作オプションの概要

FieldPort SWA50 は、Bluetooth を介して以下から操作できます。

- Endress+Hauser SmartBlue アプリをインストールしたスマートフォンまたはタブレット経由
- Endress+Hauser 製 Field Xpert SMTxx タブレット PC 経由

WirelessHART バージョンの FieldPort SWA50 は、Endress+Hauser 製 WirelessHART Fieldgate SWG70 または互換性のある任意の WirelessHART Fieldgate を使用して、WirelessHART ネットワークに統合できます。詳細については、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください (www.addresses.endress.com)。

また、WirelessHART バージョンを以下の用途に使用することもできます。

- FieldPort SWA50 用の DTM を使用した FieldCare SFE500 または DeviceCare による現場設定
- WirelessHART Fieldgate SWG70 および FieldPort SWA50/Fieldgate SWG70 用の DTM を使用した FieldCare SFE500 によるリモート設定

さらに、FieldEdge SGC500 を使用して、FieldPort SWA50 および接続された HART フィールド機器を Netilion クラウドに接続することもできます。

- Netilion クラウドの詳細情報: <https://netilion.endress.com>
- FieldEdge SGC500 の詳細については、技術仕様書 (TI01525S) を参照してください。

7.2 SmartBlue アプリ

SmartBlue アプリを使用しない場合、Bluetooth を介して FieldPort SWA50 および接続された HART フィールド機器のデータを表示することはできません。FieldPort SWA50 と 1 台のスマートフォン/タブレット端末間に 1 つのポイントツーポイント接続が確立されます。

SmartBlue アプリは、Google Play ストア (Android 機器の場合) および Apple App Store (iOS 機器の場合) からダウンロードできます。



QR コードをスキャンします。

- ➡ SmartBlue アプリをダウンロードできる Google Play ストアまたは App Store のサイトが表示されます。

システム要件

- SmartBlue アプリのシステム要件については、Google Play ストアまたは App Store のサイトを参照してください。

7.3 Field Xpert SMTxx



- Field Xpert SMT70 の操作方法については、取扱説明書 (BA01709S) を参照してください。
- Field Xpert SMT77 の操作方法については、取扱説明書 (BA01923S) を参照してください。

8 設定

8.1 必須条件


8.1.1 FieldPort SWA50 の要件

- FieldPort SWA50 の電気接続を行います。
- 設置状況の確認を行います → 図 28。
- 配線状況の確認を行います → 図 34。
- Bluetooth 通信用の DIP スイッチ 1 をオンに設定する必要があります → 図 44。
(DIP スイッチ 1 の初期設定：オン)

8.1.2 設定に必要な情報

設定には以下の情報が必要です。

- HART フィールド機器の HART 機器アドレス
- WirelessHART ネットワークの HART フィールド機器の機器タグ
 - HART-6 または HART-7 フィールド機器のロングタグ
 - HART-5 フィールド機器の HART メッセージ

 WirelessHART ネットワークの各機器タグは一意であることが必要です。

8.1.3 設定前の確認事項

HART マスター

FieldPort SWA50 の他に HART ループ内に配置できるのは、1 台の HART マスターのみです。この追加の HART マスターと FieldPort SWA50 に、同じマスタータイプを使用することはできません。「HART master type」パラメータ (→ 図 48) を使用して、マスタータイプを設定します。

HART 通信抵抗

HART 通信では、4~20 mA ループ内の FieldPort SWA50 の内部または外部に HART 通信抵抗が必要です。

「内部 HART 通信抵抗」バージョンの要件：

「Communication resistor」パラメータ (→ 図 48) を「Internal」に設定します。

「FieldPort SWA50 の外部 HART 通信抵抗」バージョンの要件：

- 4~20 mA ループ内の FieldPort SWA50 の外部に HART 通信抵抗 $\geq 250 \text{ Ohm}$ を配置します。
- HART 通信抵抗を FieldPort SWA50 の「IN+」端子と電源 (PLC、アクティブバリアなど) 間に直列に接続する必要があります。
- 「Communication resistor」パラメータ (→ 図 48) を「External」に設定します。

8.1.4 初期パスワード


初期パスワードは銘板に明記されています。

8.2 FieldPort SWA50 の操作

FieldPort SWA50 は、Bluetooth を介して以下から操作できます。

- Endress+Hauser SmartBlue アプリをインストールしたスマートフォンまたはタブレット経由 ()
- Endress+Hauser 製タブレット PC Field Xpert SMTxx 経由 ()

また、FieldCare SFE500 を使用して、WirelessHART バージョンの FieldPort SWA50 を操作することもできます。

 FieldPort SWA50 WirelessHART バージョンの取扱説明書 : BA02046S

8.2.1 SmartBlue アプリを使用した設定

バーストメッセージ

バーストメッセージは、WirelessHART 経由で変更するか、Commubox FXA195 経由で FieldCare SFE500 を使用して現場で変更するか、あるいは Field Xpert を使用して変更できます。SmartBlue アプリを使用してバーストメッセージを変更することはできません。

バーストメッセージ	初期設定
1	5 分ごとに、HART コマンド 3 に準拠したフィールド機器のプロセス値が FieldPort SWA50 から送信されます。
2	5 分ごとに、HART コマンド 48 に準拠したフィールド機器の診断データが FieldPort SWA50 から送信されます。
3	未設定
4	5 分ごとに、HART コマンド 3 に準拠した固有のプロセス値が FieldPort SWA50 から送信されます。
5	5 分ごとに、HART コマンド 48 に準拠した固有の診断データが FieldPort SWA50 から送信されます。

SmartBlue アプリの起動とログイン

1.
- FieldPort SWA50 の電源をオンにします。

2. スマートフォンまたはタブレットで SmartBlue アプリを起動します。
 ↳ アクセス可能な機器の概要が表示されます。

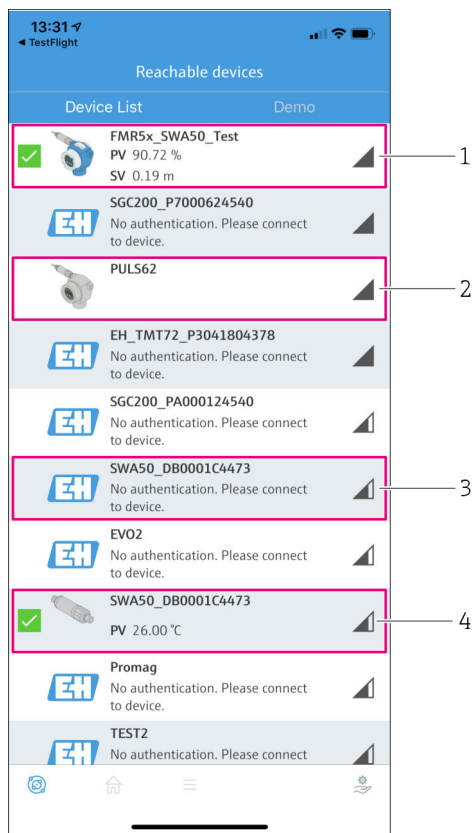


図 18 Reachable devices (ライブラリスト)

- 1 FieldPort SWA50 および Endress+Hauser 製 HART フィールド機器の例 (SmartBlue アプリに接続済み)
- 2 FieldPort SWA50 および他の製造者製の HART フィールド機器の例 (SmartBlue アプリに接続済み)
- 3 FieldPort SWA50 の例 (SmartBlue アプリには未接続)
- 4 FieldPort SWA50 (HART フィールド機器なし) の例 (SmartBlue アプリに接続済み)

3. リストから機器を選択します。
 ↳ 「Login to device」 ページが表示されます。

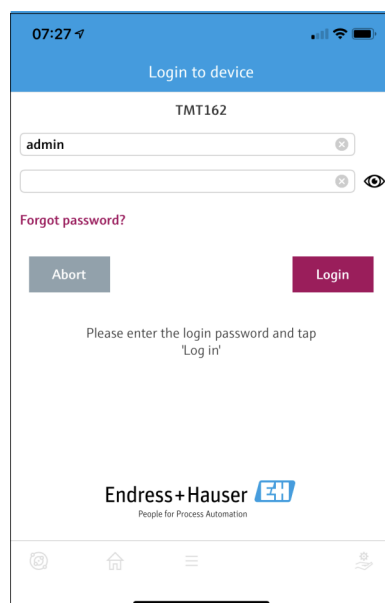


図 19 ログイン

i 1 台の FieldPort SWA50 と 1 台のスマートフォン/タブレット端末間に、1 つのポイントツーポイント接続のみを確立できます。

- ▶ ログインします。ユーザー名に **admin** と入力し、初期パスワードを入力します。このパスワードは銘板に明記されています。
 - ↳ 接続が正常に確立されると、選択した機器の「Device information」ページが表示されます。→ 図 45

i 初回のログイン後にパスワードを変更してください。→ 図 48

HART 設定の確認および調整



FieldPort SWA50 と接続された HART フィールド機器間の良好な通信状態を確保するために、以下の手順を実行してください。

- i**
 - このセクションに記載されるパラメータは、「HART Configuration」メニューに表示されます。
 - ナビゲーション：Root menu > System > FieldPort SWA50 > Connectivity > HART configuration
 - メニュー概要：→ 図 84

1. 「HART address field device」パラメータを使用して、HART フィールド機器の HART アドレスを確認し、必要に応じてアドレスを設定します。HART フィールド機器と FieldPort SWA50 では、同じ HART アドレスを使用する必要があります。→ 図 48
2. 「Communication resistor」パラメータを使用して、HART 通信抵抗の設定を確認します。4~20 mA ループ内の FieldPort SWA50 の外部に HART 通信抵抗が存在しない場合、内部の HART 通信抵抗を有効にする必要があります。→ 図 48
3. 「HART master type」パラメータを使用して、HART ループ内の追加の HART マスターの設定を確認します。FieldPort SWA50 の他に HART ループ内に配置できるのは、1 台の HART マスターのみです。この追加の HART マスターと FieldPort SWA50 に、同じマスタータイプを使用することはできません。→ 図 48

WirelessHART 設定

FieldPort SWA50 と WirelessHART ネットワーク間の良好な通信状態を確保するために、以下の手順を実行してください。

-  このセクションに記載されるパラメータは、「WirelessHART Configuration」メニュー (→  49) に表示されます。
 - ナビゲーション : Root menu > System > FieldPort SWA50 > Connectivity > WirelessHART configuration
 - 「Join mode」パラメータで「Do not attempt to join」を選択した場合にのみパラメータを編集できます。
1. 「Network ID」パラメータを使用して、ネットワークの識別番号を入力します。
 2. 「Join Key」パラメータを使用して、ネットワークパスワードを入力します。
 3. 「Join mode」パラメータを使用して、ネットワークに接続します。WirelessHART ネットワークへの接続には最大 30 分程度かかります。

8.2.2 Field Xpert を使用した設定

バーストメッセージ

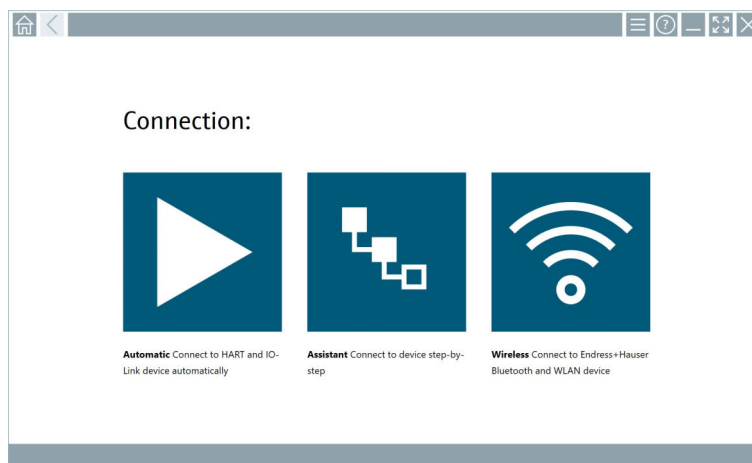
FieldPort SWA50 のバーストメッセージは初期設定されています。バーストメッセージは、WirelessHART 経由で変更するか、Commubox FXA195 経由で FieldCare SFE500 を使用して現場で変更するか、あるいは Field Xpert を使用して変更できます。

バーストメッセージ	初期設定
1	5 分ごとに、HART コマンド 3 に準拠したフィールド機器のプロセス値が FieldPort SWA50 から送信されます。
2	5 分ごとに、HART コマンド 48 に準拠したフィールド機器の診断データが FieldPort SWA50 から送信されます。
3	未設定
4	5 分ごとに、HART コマンド 3 に準拠した固有のプロセス値が FieldPort SWA50 から送信されます。
5	5 分ごとに、HART コマンド 48 に準拠した固有の診断データが FieldPort SWA50 から送信されます。

Field Xpert の起動とログイン

1. FieldPort SWA50 の電源をオンにします。

2. Field Xpert タブレット PC を起動します。これを行うには、スタート画面で Field Xpert をダブルクリックします。
 ↳ 以下の画面が表示されます。



3. アイコンをタップします。
 ↳ 利用可能なすべての WIFI および Bluetooth 機器のリストが表示されます。
4. シンボルをクリックして Bluetooth 機器だけをフィルタ表示します。
 ↳ 利用可能なすべての Bluetooth 機器のリストが表示されます。

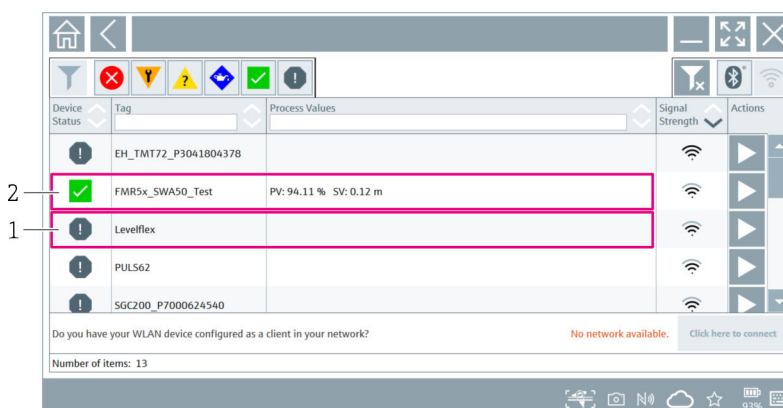
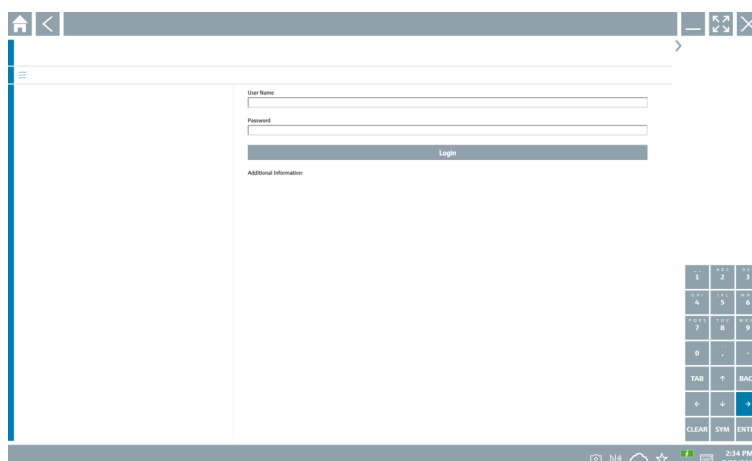



図 20 アクセス可能な機器（ライブリスト）

- 1 FieldPort SWA50（HART フィールド機器あり）の例（Field Xpert には未接続）
 - 2 FieldPort SWA50（HART フィールド機器あり/なし）の例（Field Xpert に接続済み）
5. 設定する機器の横にある シンボルをタップします。
 ↳ ログインダイアログボックスが表示されます。



6. ログインします。ユーザー名に **admin** と入力し、初期パスワードを入力します。初期パスワードは銘板に明記されています。
↳ 初期調整用のダイアログボックスが表示されます。

 初回のログイン後にパスワードを変更してください。→ 図 48


HART 設定の確認および調整

FieldPort SWA50 と接続された HART フィールド機器間の良好な通信状態を確保するために、以下の手順を実行してください。

-  このセクションに記載されるパラメータは、「HART Configuration (HART 設定)」メニューに表示されます。
 - ナビゲーション：Root menu > System > FieldPort SWA50 > Connectivity > HART configuration
 - メニュー概要：→ 図 84
- 1. 「HART address field device」パラメータを使用して、HART フィールド機器の HART アドレスを確認し、必要に応じてアドレスを設定します。HART フィールド機器と FieldPort SWA50 では、同じ HART アドレスを使用する必要があります。
→ 図 48
- 2. 「Communication resistor」パラメータを使用して、HART 通信抵抗の設定を確認します。4～20 mA ループ内の FieldPort SWA50 の外部に HART 通信抵抗が存在しない場合、内部の HART 通信抵抗を有効にする必要があります。→ 図 48
- 3. 「HART master type」パラメータを使用して、HART ループ内の追加の HART マスターの設定を確認します。FieldPort SWA50 の他に HART ループ内に配置できるのは、1 台の HART マスターのみです。この追加の HART マスターと FieldPort SWA50 に、同じマスタータイプを使用することはできません。→ 図 48

WirelessHART 設定

FieldPort SWA50 と WirelessHART ネットワーク間の良好な通信状態を確保するために、以下の手順を実行してください。

-  このセクションに記載されるパラメータは、「WirelessHART Configuration」メニュー (→ 図 49) に表示されます。
 - ナビゲーション：Root menu > System > FieldPort SWA50 > Connectivity > WirelessHART configuration
 - 「Join mode」パラメータで「Do not attempt to join」を選択した場合にのみパラメータを編集できます。
- 1. 「Network ID」パラメータを使用して、ネットワークの識別番号を入力します。
- 2. 「Join Key」パラメータを使用して、ネットワークパスワードを入力します。
- 3. 「Join mode」パラメータを使用して、ネットワークに接続します。WirelessHART ネットワークへの接続には最大 30 分程度かかります。

9 操作

9.1 ハードウェアのロック

ハードウェアロック用の DIP スイッチは電子回路インサートに配置されています。

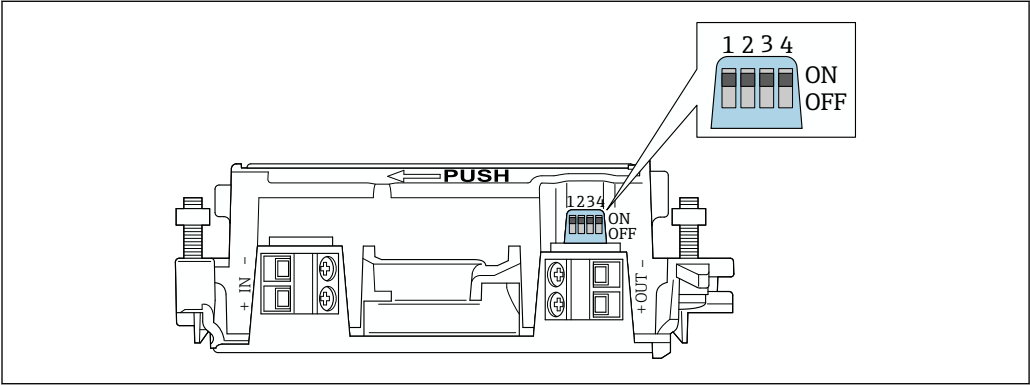


図 21 ハードウェアロック機能の DIP スイッチ

DIP スイッチ	機能	説明	初期設定
1	Bluetooth 通信	<ul style="list-style-type: none">ON : Bluetooth 経由の通信が可能です (SmartBlue アプリ、Field Xpert などを使用)。OFF : Bluetooth 経由で通信することはできません。	ON
2	ファームウェアアップデート	<ul style="list-style-type: none">ON : ファームウェアアップデートを実行できます。OFF : ファームウェアアップデートを実行できません。	ON
3	Bluetooth 経由の設定	<ul style="list-style-type: none">ON : Bluetooth 経由の設定が可能です (SmartBlue アプリ、Field Xpert などを使用)。OFF : Bluetooth 経由で設定を行うことはできません。	ON
4	未使用	–	–

9.2 LED

1 x LED

緑色：スタートアップ時に 4 回点滅して、機器が動作可能であることを示します

LED は電子回路インサートに配置されており、外側から確認することはできません。

10 SWA50 用の SmartBlue アプリの説明

10.1 メニュー概要（ナビゲーション）

メニュー概要（ナビゲーション）：→ 84

10.2 「Device information」ページ

「Device information」ページでは、以下の表示オプションを使用できます。

- FieldPort SWA50 および Endress+Hauser 製 HART フィールド機器
- FieldPort SWA50 および他の製造者製の HART フィールド機器
- FieldPort SWA50（接続済みまたはアクセス可能な HART フィールド機器なし）

表示されるシリアル番号に関する情報

Endress+Hauser 製フィールド機器（HART 6 および HART 7）の場合、実際のシリアル番号が表示されます。他の製造者製フィールド機器および Endress+Hauser 製フィールド機器（HART 5）の場合、固有のシリアル番号が算出されます。算出されたシリアル番号は、フィールド機器の実際のシリアル番号とは一致しません。

表示されるステータス信号に関する情報

Endress+Hauser 製のフィールド機器を接続した場合、接続した HART フィールド機器と FieldPort SWA50 の各ステータス信号に基づいた総合的なステータス信号が表示されます。

HART フィールド機器が NAMUR NE 107 に準拠した拡張機器ステータスに対応していない場合、ステータス情報の表示が制限されることがあります。

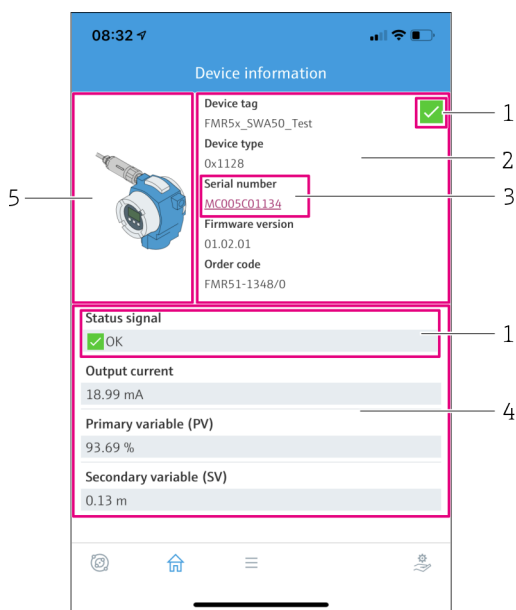


図 22 「Device information」ビュー - SWA50 および Endress+Hauser 製 HART フィールド機器の表示例

- 1 SWA50 と接続された HART フィールド機器の各ステータスに基づいた総合的なステータス信号
- 2 SWA50 に接続されている HART フィールド機器に関する情報。ファームウェアバージョン、オーダーコード、および機器タイプは、Endress+Hauser 製フィールド機器（HART 6 および HART 7）の場合にのみ表示されます。
- 3 シリアル番号
- 4 HART フィールド機器のプロセス値
- 5 Endress+Hauser 製 HART フィールド機器と SWA50 の製品画像

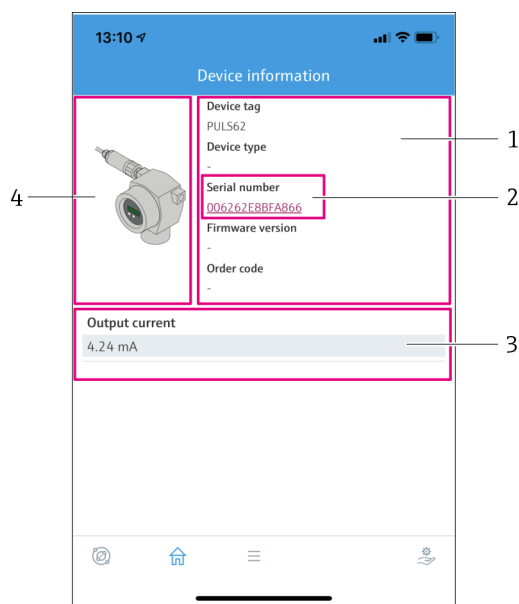


図 23 「Device information」ビュー – SWA50 および他の製造者製の HART フィールド機器の表示例

- 1 SWA50 に接続されている HART フィールド機器に関する情報。ファームウェアバージョン、オーダーコード、機器タイプ、およびステータスは、Endress+Hauser 製フィールド機器（HART 6 および HART 7）の場合にのみ表示されます。
- 2 シリアル番号
- 3 HART フィールド機器の出力電流
- 4 他の製造者製の HART フィールド機器と SWA50 の製品画像

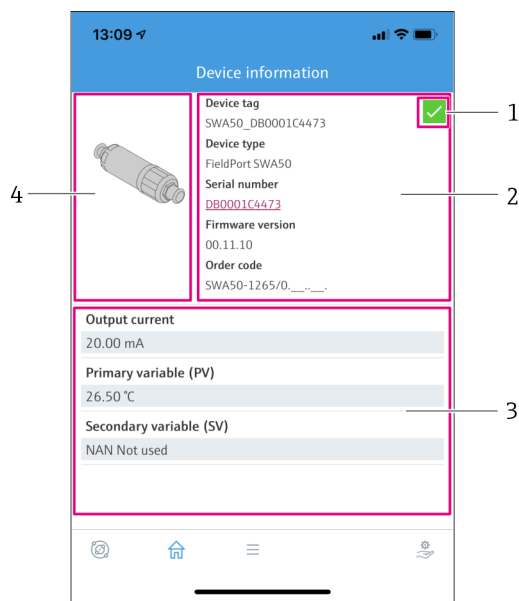


図 24 「Device information」ビュー – FieldPort SWA50（接続済みまたはアクセス可能な HART フィールド機器なし）の表示例

- 1 SWA50 のステータス信号
- 2 SWA50 に関する情報
- 3 SWA50 の測定値（この場合、出力電流として常に 20 mA が表示されます）
- 4 SWA50 の製品画像（HART フィールド機器が接続されていない、または HART フィールド機器にアクセスできないため）

10.3 「Application」メニュー

10.3.1 「Measured values」ページ

ナビゲーション：Root menu > Application > Measured values

「Measured values」ページには、FieldPort SWA50 に接続されている HART フィールド機器の測定値が表示されます。HART フィールド機器が接続されていない場合または HART フィールド機器にアクセスできない場合、このページには FieldPort SWA50 の測定値が表示されます。

測定値 PV、SV、TV、QV は、Endress+Hauser 製機器の場合にのみ表示されます。

パラメータ	説明
Output current	HART フィールド機器の出力電流が表示されます。
Primary variable (PV)	Endress+Hauser 製 HART フィールド機器の一次変数が表示されます。
Secondary variable (SV)	Endress+Hauser 製 HART フィールド機器の二次変数が表示されます。
Tertiary variable (TV)	Endress+Hauser 製 HART フィールド機器の三次変数が表示されます。
Quaternary variable (QV)	Endress+Hauser 製 HART フィールド機器の四次変数が表示されます。

10.3.2 HART フィールド機器の「HART info」ページ

ナビゲーション：Root menu > Application > HART info

このページには、FieldPort SWA50 に接続されている HART フィールド機器の HART 情報が表示されます。HART 情報は、Endress+Hauser 製機器の場合にのみ表示されます。

パラメータ	説明
Device type	HART フィールド機器の機器タイプが 16 進形式（例：0x1128）で表示されます。
Manufacturer ID	HART フィールド機器の製造者 ID が 16 進形式（例：0x11 = Endress+Hauser）で表示されます。
HART revision	HART フィールド機器の HART バージョン（例：7）が表示されます。
HART descriptor	HART フィールド機器に対して入力された説明が表示されます。
HART message	HART フィールド機器に対して入力されたメッセージが表示されます。このメッセージは、マスターの要求により HART プロトコル経由で送信されます。
Device ID	HART フィールド機器の機器 ID（例：0x7A2F51）が表示されます。
No. of preambles	入力されたプリアンプル数が表示されます。
HART data code	HART フィールド機器に対して入力された日付（例：2020-03-31）が表示されます。この日付は、特定のイベント（例：前回の設定変更）に関する情報を提供します。
Device revision	HART フィールド機器のハードウェアリビジョンが表示されます。

10.4 「FieldPort SWA50」メニュー（「System」メニュー）

10.4.1 「Device management」ページ（「FieldPort SWA50」メニュー）

ナビゲーション：Root menu > System > FieldPort SWA50 > Device management

パラメータ	説明
Device tag	SWA50 の機器タグを入力します。

10.4.2 「Connectivity (接続)」ページ (「FieldPort SWA50」メニュー)

ナビゲーション: ルートメニュー > System (システム) > FieldPort SWA50 > Connectivity (接続)

「Bluetooth configuration」ページ

ナビゲーション: Root menu > System > FieldPort SWA50 > Connectivity > Bluetooth configuration

このページを使用して、Bluetooth 接続を設定し、FieldPort SWA50 のファームウェアアップデートを実行できます。

ページ	説明
Reduce radio transmit power	SWA50 の送信強度の低減を有効/無効にします。 選択項目 <ul style="list-style-type: none"> ■ Yes: SWA50 の送信強度が低減されます。 ■ No: SWA50 の送信強度は低減されません。 初期設定 No
Change Bluetooth password	パスワードを変更します。変更するには、ユーザー名、現在のパスワード、および新しいパスワードを入力する必要があります。 初期設定 <ul style="list-style-type: none"> ■ ユーザー名: admin ■ このパスワードは銘板に明記されています。
Firmware update	→ 78

「HART configuration」ページ

ナビゲーション: Root menu > System > FieldPort SWA50 > Connectivity > HART configuration

このページを使用して、FieldPort SWA50 の HART パラメータを設定します。また、接続された HART フィールド機器の HART アドレスを設定することもできます。

パラメータ	説明
HART address field device	HART フィールド機器の HART アドレスを設定します。 ユーザー入力 0~63 初期設定 0
HART master type	HART マスタータイプを選択します。 選択項目 <ul style="list-style-type: none"> ■ Primary master ■ Secondary master 初期設定 Secondary master

パラメータ	説明
Communication resistor	<p>HART 通信抵抗器の取付場所を選択します。</p> <p>選択項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ External : IN+ 端子と電源間に、外部通信抵抗（ユーザー側で用意）を使用します。 ■ Internal : SWA50 の内部通信抵抗を使用します。 <p>初期設定 External</p>
HART address SWA50	<p>SWA50 へのスレーブアクセス用の SWA50 の HART アドレスを設定します。</p> <p>ユーザー入力 0～63</p> <p>初期設定 15</p>

「HART Info」ページ

ナビゲーション : Root menu > System > FieldPort SWA50 > Connectivity > HART info

このページには、FieldPort SWA50 の HART 情報が表示されます。

パラメータ	説明
Device type	SWA50 の機器タイプが 16 進形式（0x11F3）で表示されます。
Manufacturer ID	SWA50 の製造者 ID（0x11 = Endress+Hauser）が表示されます。
HART revision	SWA50 の HART バージョン（例：7）が表示されます。
HART descriptor	SWA50 に対して入力された説明が表示されます。
HART message	SWA50 に対して入力されたメッセージが表示されます。このメッセージは、マスターの要求により HART プロトコル経由で送信されます。
Device ID	SWA50 の 機器 ID（例：0x7A2F51）が表示されます。
No. of preambles	入力されたプリアンブル数が表示されます。
HART data code	SWA50 に対して入力された日付（例：2020-03-31）が表示されます。この日付は、特定のイベント（例：前回の設定変更）に関する情報を提供します。
Device revision	SWA50 のハードウェアリビジョンが表示されます。

「WirelessHART configuration（WirelessHART 設定）」ページ

ナビゲーション : Root menu > System > FieldPort SWA50 > Connectivity > WirelessHART configuration

このページを使用して、WirelessHART 接続を設定します。

パラメータ	説明
Network ID	必須条件 Join mode: Do not attempt to join 説明 FieldPort から接続するネットワークの識別番号を入力します。 ユーザー入力 0～65535 初期設定 1447
Join Key	必須条件 Join mode: Do not attempt to join 説明 ネットワークパスワードを入力します。 ユーザー入力 32 文字の 16 進数 初期設定 456E6472657373202B20486175736572
Radio transmit power	必須条件 Join mode: Do not attempt to join 説明 無線信号の強度を入力します。 ユーザー入力 0 または 10 dBm 初期設定 10 dBm 追加情報 当該国の法規制に応じて 0 dBm に設定可能
Join mode	FieldPort のネットワーク接続に使用するモードを選択します。 選択項目 <ul style="list-style-type: none"> Do not attempt to join : 接続を試行しません。 Join now : 直ちに接続を試行します。 Attempt to join on powerup or restart : 電源投入時または再起動時に接続を試行します。
Join status	接続試行中の現在のステータスが表示されます。 表示される通知 <ul style="list-style-type: none"> Network packets heard : ネットワークパケット受信 ASN Acquired : ASN 受信 Synchronized to slot time : ネットワークとの時間同期 Advertisement heard : 送信用の要求パケット受信 Join requested : 接続要求送信 Retrying join : 接続の再試行 Join failed : 接続失敗 Authenticated : 認証 Network joined : ネットワーク接続の確立 Negotiating network properties: ネットワークパラメータのネゴシエート Normal operation commencing : 通常動作開始。接続完了

10.4.3 「Information」ページ（「FieldPort SWA50」メニュー）

ナビゲーション : Root menu > System > FieldPort SWA50 > Information


このページには、FieldPort SWA50 に関する情報が表示されます。

パラメータ	説明
Wireless communication	接続タイプが表示されます（「Bluetooth」、「WirelessHART」など）
Device name	SWA50 の機器名が表示されます

パラメータ	説明
Manufacturer	製造者が表示されます（この場合は「Endress+Hauser」）
Serial number	SWA50 のシリアル番号が表示されます。
Order code	オーダーコードが表示されます
Extended order code 1	拡張オーダーコード 1 が表示されます
Extended order code 2	拡張オーダーコード 2 が表示されます
Extended order code 3	拡張オーダーコード 3 が表示されます
Firmware version	有効なファームウェアバージョンが表示されます
Hardware version	有効なハードウェアバージョンが表示されます

10.5 「Field device（フィールド機器）」メニュー（「System（システム）」メニュー）

ナビゲーション：Root menu > System > Field device

 「Field device」メニューは、Endress+Hauser 製機器の場合にのみ使用できます。

10.5.1 「Device management」ページ（「Field device」メニュー）

ナビゲーション：Root menu > System > Field device > Device management

パラメータ	説明
Device tag	HART フィールド機器の機器タグが表示されます

10.5.2 「Information」ページ（「Field device」メニュー）

ナビゲーション：Root menu > System > Field device > Information

このページには、FieldPort SWA50 に接続されている HART フィールド機器に関する情報が表示されます。この情報は、Endress+Hauser 製フィールド機器（HART 6 以上）の場合に表示されます。

パラメータ	説明
Device name	HART フィールド機器の機器名が表示されます
Manufacturer	HART フィールド機器の製造者が表示されます
Serial number	HART フィールド機器のシリアル番号が表示されます
Order code	HART フィールド機器のオーダーコードが表示されます
Extended order code 1	HART フィールド機器の拡張オーダーコードの第 1 部が表示されます
Extended order code 2	HART フィールド機器の拡張オーダーコードの第 2 部が表示されます
Extended order code 3	HART フィールド機器の拡張オーダーコードの第 3 部が表示されます
Firmware version	HART フィールド機器の有効なファームウェアバージョンが表示されます

11 設定およびオンラインパラメータ設定

11.1 アクセスオプションおよび必須条件

11.1.1 アクセスオプション

設定およびパラメータ設定の手順説明には、Endress+Hauser 製のアセットマネジメントツールである FieldCare SFE500 が例として使用されています。

FieldCare SFE500 を使用して FieldPort にアクセスし、以下を行うことができます。

- PC および Endress+Hauser 製 Commubox FXA195 USB/HART モデムを使用したローカル設定
- PC および Endress+Hauser 製 WirelessHART Fieldgate SWG70 を使用したリモート設定

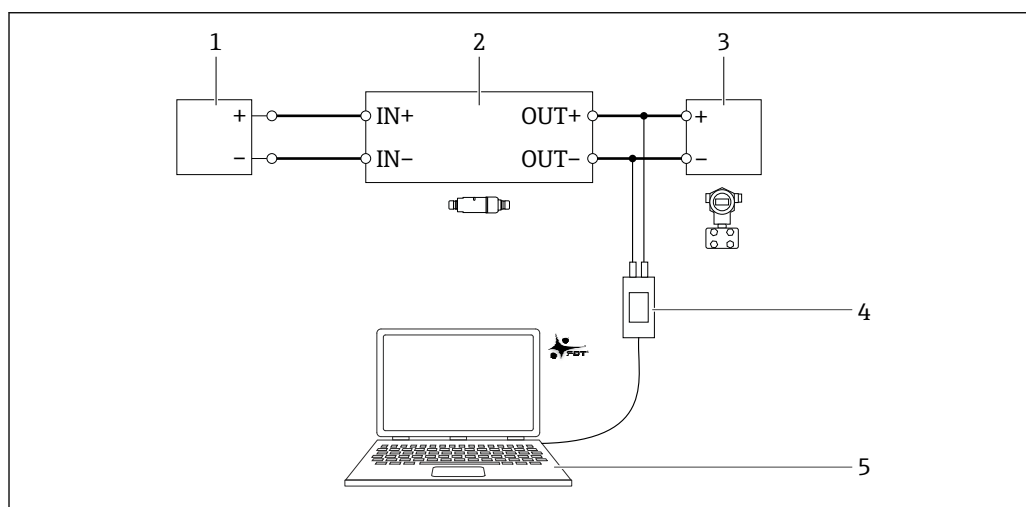


図 25 例：FieldCare SFE500 をインストールした PC を、Endress+Hauser 製 Commubox FXA195 USB/HART モデム経由で接続：電気接続バージョン「パッシブ電流出力付き 2 線式 HART フィールド機器の電気接続」

- 1 電源電圧、アクティブ電流入力付き PLC、またはアクティブ電流入力付き変換器
- 2 電子回路インサート SWA50（内部通信抵抗器が有効）
- 3 2 線式フィールド機器、4~20 mA HART
- 4 Endress+Hauser 製 Commubox FXA195 USB/HART モデム
- 5 FieldCare SFE500 をインストールした PC

11.1.2 FieldCare で必要な設定

FieldCare で「Prefer FDT 1.2.1 scanning (FDT 1.2.1 スキャンの使用)」オプションを有効にします。

パス：FieldCare > Extras (その他) > Options (オプション) > 「Scanning (スキャン)」タブ > 「Scan Result (スキャン結果)」セクション


11.2 識別情報

このページを使用して、FieldPort の識別に必要なパラメータを設定できます。個々のフィールドには初期設定が表示されます。

ナビゲーション

Online parameterization (オンラインパラメータ設定) > Identification (識別)

「Identification（識別）」ページのパラメータの説明

パラメータ	説明
Long Tag（ロングタグ）	<p>必須条件 HART バージョン 6.0 以降の機器</p> <p>説明 FieldPort の名前を入力します。 このパラメータは、ネットワークおよびプラント内の FieldPort の一意の識別に使用されます。このパラメータは、バーストモードおよびイベント通知の設定に使用されます。</p> <p>ユーザー入力 最大 32 文字（ISO-Latin-1 文字セット）</p> <p>初期設定 SWA50_「シリアル番号」</p> <p> WirelessHART ネットワークに固有の名前を設定する必要があります。</p>
Device Tag（デバイスのタグ）	<p>説明 FieldPort の名前を入力します。</p> <p>ユーザー入力 最大 8 文字（Packed-ASCII 文字セット）</p> <p>初期設定 -</p>
Descriptor（ディスクリプター）	<p>説明 FieldPort の説明（機能や設置場所など）を入力します。</p> <p>ユーザー入力 最大 16 文字（Packed-ASCII 文字セット）</p> <p>初期設定 SWA50</p>
Date Code（日付コード）	<p>説明 特定のイベントの日付（前回の設定変更日など）を入力します。</p> <p>ユーザー入力 dd.mm.yyyy</p>
Message（メッセージ）	<p>説明 必要に応じて使用できるメッセージを入力します。</p> <p>ユーザー入力 最大 32 文字（Packed-ASCII 文字セット）</p> <p>初期設定 SWA50</p>

パラメータ	説明
Polling Address (ポーリングアドレス)	説明 有線インターフェイスの FieldPort の HART アドレスを入力します。 ユーザー入力 0～63 初期設定 15 追加情報 無線ネットワーク内の FieldPort の識別には「Long Tag (ロングタグ)」と「MAC Address (MAC アドレス)」が使用されるため、異なる FieldPort に同じ機器アドレスを割り当てることができます。
Serial Number (シリアル番号)	説明 FieldPort のシリアル番号が表示されます。
Extended Order Code (拡張オーダーコード)	説明 FieldPort の拡張オーダーコードが表示されます。
Order Code (オーダーコード)	説明 FieldPort のオーダーコードが表示されます。
Country Code (国コード)	説明 FieldPort を使用する国を選択します。 初期設定 Germany 追加情報 選択した国の規制に基づいて信号強度および「Radio Power (無線出力)」パラメータの設定内容が制御されます。

i Packed-ASCII 文字セットの入力が必要なパラメータに使用可能な文字: @ A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z [\] ^ _ S P ! " # \$ % & ' () * + , - . / 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ; : < = > ?

11.3 Wireless Communication (無線通信)

このページを使用して、FieldPort を無線ネットワークに統合するために必要なパラメータを設定します。

ナビゲーション

Online parameterization (オンラインパラメータ設定) > Wireless communication (無線通信)

The screenshot displays the 'Join' configuration screen for the FieldPort SWA50. At the top, device information is shown: Device Name: WirelessHART FieldPort / SWA50 / V1.xx, Device Revision: 0, Long Tag: SWA50_EABC89, Descriptor: SWA50, NE107 Status: Good, and Timestamp of Status: 12:32:54. The Endress+Hauser logo is in the top right corner.

The main interface is divided into two panels. The left panel, titled 'Online parameterization', contains a tree view with the following items: Identification, Wireless Communication (highlighted), Wired Communication, Device Variable Mapping, and Application Settings. The right panel, titled 'Join', contains the following fields and controls:

- Network Identification: 1229
- Wireless Operation Mode: Idle (dropdown menu)
- Radio Power: 0 dBm (dropdown menu)
- Join Key Part 1 of 4 (hex): [Redacted]
- Join Key Part 2 of 4 (hex): [Redacted]
- Join Key Part 3 of 4 (hex): [Redacted]
- Join Key Part 4 of 4 (hex): [Redacted]
- Join Mode: Do not attempt to join (dropdown menu)
- Execute Join: [Button with '>>' symbol]


Below the 'Join' panel is an 'Information' section with a 'Join Status' area containing several checkboxes:

- ☒ Network Packets Heard
- ☐ ASN Acquired
- ☐ Synchronized to Slot Time
- ☐ Advertisement Heard
- ☐ Join Requested
- ☐ Join Retrying
- ☐ Join Failed
- ☐ Authenticated

At the bottom of the window, there is a status bar with icons for 'Connected', 'Device', and a small signal strength indicator.

無線通信の設定とネットワークへの接続

1. **Join** (接続) セクションでパラメータを設定します。
2. **>>** ボタン (Execute Join (接続の実行)) をクリックします。
 ↳ 設定が FieldPort にダウンロードされて保存されます。

 接続ステータスは、「Join Status (接続ステータス)」パラメータで確認できます。

「Wireless Communication (無線通信)」ページのパラメータの説明

パラメータ	説明
Network Identification (ネットワーク識別)	説明 FieldPort が接続するネットワークの識別番号を入力します。 ユーザー入力 0~65535 初期設定 1447
Wireless Operation Mode (無線動作モード)	説明 接続プロセスのステータス、つまりネットワークに対する現在の FieldPort の接続ステータスが表示されます。 表示されるステータス <ul style="list-style-type: none"> ▪ Idle (待機状態) : 待機中 ▪ Active search (検索中) : 隣接機器を検索中 ▪ Negotiation (ネゴシエーション) : 接続パラメータのネゴシエーションをネットワークマネージャと実行中 ▪ Quarantined (一時除外) : ネットワークマネージャが接続を拒否、ネットワークから一時的に除外 ▪ Operational (稼働中) : 接続済み ▪ Suspended (永続除外) : ネットワークから永続的に除外 ▪ Deep Sleep/Ultra-Low Power/Passive Search (ディープスリープ/超低電力/検索無効) : 非アクティブ
Radio Power (無線出力)	説明 無線信号の強度を選択します。 選択 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 0 dBm ▪ 10 dBm 初期設定 10 dBm
Join Key Part 1 of 4 (ジョインキー 1/4)	説明 ジョインキー (1/4) を入力します。 ユーザー入力 8 文字の 16 進数 初期設定 456E6472
Join Key Part 2 of 4 (ジョインキー 2/4)	説明 ジョインキー (2/4) を入力します。 ユーザー入力 8 文字の 16 進数 初期設定 65737320
Join Key Part 3 of 4 (ジョインキー 3/4)	説明 ジョインキー (3/4) を入力します。 ユーザー入力 8 文字の 16 進数 初期設定 2B204861

パラメータ	説明
Join Key Part 4 of 4 (ジョインキー 4/4)	<p>説明 ジョインキー (4/4) を入力します。</p> <p>ユーザー入力 8 文字の 16 進数</p> <p>初期設定 75736572</p>
Join Mode (接続モード)	<p>説明 FieldPort をネットワークに接続するイベントを選択します。</p> <p>選択</p> <ul style="list-style-type: none"> Do not attempt to join (接続試行なし) : ネットワーク接続を試行しません。 Join now (今すぐ接続) : 「>> (Execute Join (接続の実行))」ボタンをクリックすると、機器はネットワークに接続します。 Attempt to join immediately on power-up or reset (電源投入後またはリセット後に接続試行) : 機器の再起動後に接続します。 <p>初期設定 Do not attempt to join (接続試行なし)</p>
Execute Join (接続の実行)	<p>説明 このボタンをクリックすると、設定したパラメータが FieldPort に書き込まれて適用されます。</p> <p>追加情報 「Join Mode (接続モード)」パラメータが「Join now (今すぐ接続)」に設定されている場合、FieldPort はネットワーク接続を試行します。</p>
Join Status (接続ステータス)	<p>説明 機器によるネットワーク接続の試行時に現在のステータスが表示されます。</p> <p>表示されるステータス</p> <ul style="list-style-type: none"> Network Packets Heard (ネットワークパケット受信) ASN Acquired (ASN 受信) : 「Absolute Slot Number (ASN : 絶対スロット番号)」受信 Synchronized to Slot Time (スロット時間と同期) : ネットワークと同期 Advertisement Heard (通知受信) : データ送信用の通知パケット受信 Join Requested (接続要求送信) Join Retrying (接続再試行) Join Failed (接続失敗) Authenticated (認証) Network Joined (ネットワークに接続) Negotiating Network Properties (ネットワークプロパティのネゴシエート) Normal Operation Commencing (通常動作開始) : FieldPort の接続完了
Total Number of Neighbors (隣接機器の合計数)	<p>説明 FieldPort に隣接する接続済みの WirelessHART 機器の数が表示されます。</p>
Number of Advertising Packets Received (受信した通知パケットの数)	<p>説明 機器がネットワークに接続するときに、隣接機器または WirelessHART ゲートウェイから送信され、FieldPort が受信した通知パケットの数が表示されます。</p>
Number of Join Attempts (接続試行回数)	<p>説明 FieldPort がネットワークに接続するまでに実行した接続試行回数が表示されます。</p>
Active Advertising Shed Time (有効通知時間) [hh:mm:ss]	<p>説明 ネットワーク接続の有効な通知時間を入力します。この時間内は、FieldPort が他の FieldPort のネットワーク接続を迅速に確立できるよう試行します。「Request Active Advertising (有効通知の要求)」ボタンを押す必要があります。</p> <p>ユーザー入力 hh:mm:ss</p> <p>初期設定 00:40:00</p>
Request Active Advertising (有効通知の要求)	<p>説明 このボタンをクリックすると、FieldPort の「Active Advertising Shed Time (有効通知時間)」パラメータが有効になります。</p>
Number of Neighbors Advertising (通知する隣接機器の数)	<p>説明 データ送信用の通知パケットを伝送する隣接機器の数が表示されます。</p>

11.4 Wired Communication（有線通信）

このページを使用して、FieldPort と接続された HART フィールド機器間の HART 通信に必要なパラメータを設定します。

ナビゲーション

Online parameterization（オンラインパラメータ設定）> Wired communication（有線通信）

Manufacturer ID	Expanded Device Type Code	Device ID	Universal Long Tag or Message	Polling Address
17	0x1122	0x000001	6 Levelflex	0

「Wired Communication（有線通信）」ページのパラメータの説明

パラメータ	説明
Polling Address（ポーリングアドレス）	<p>説明 FieldPort の HART アドレスが表示されます。</p> <p>初期設定 15</p>
Master Type（マスタータイプ）	<p>説明 FieldPort の HART マスタータイプを選択します。</p> <p>選択</p> <ul style="list-style-type: none"> Primary Master（プライマリマスター） Secondary Master（セカンダリマスター） <p>初期設定 Secondary Master（セカンダリマスター）</p> <p>追加情報</p> <p> FieldPort の他に HART ループ内に配置できるのは、1 台の HART マスターのみです。この HART マスターと FieldPort に、同じマスタータイプを使用することはできません。</p>
Preambles（プリアンブル）	<p>説明 プリアンブル数を入力します。</p> <p>ユーザー入力 5～50</p> <p>初期設定 5</p>
Retries（再試行）	<p>説明 FieldPort と HART フィールド機器間の通信確立の試行回数を入力します。</p> <p>ユーザー入力 2～5</p> <p>初期設定 3</p>

パラメータ	説明
Communication resistor (通信用抵抗器)	<p>説明 HART 通信用抵抗器の取付場所を選択します。</p> <p>選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ External (外部) : ユーザー側で用意した外部通信用抵抗器を使用します。通信抵抗 $\geq 250 \text{ Ohm}$ が必要であり、FieldPort の IN+ 端子と電源電圧 (PLC、アクティブバリアなど) 間に直列に接続する必要があります。 ■ Internal (内部) : FieldPort の内部通信用抵抗器を使用します。 <p>初期設定 External (外部)</p>
HART Address Field Device (フィールド機器の HART アドレス)	<p>説明 HART フィールド機器の HART アドレスを入力します。</p> <p>ユーザー入力 0~63</p> <p>初期設定 0</p>
Field Device Database (フィールド機器データベース)	<p>説明 FieldPort に接続されている HART フィールド機器の HART 情報が表示されます。</p>

11.5 Device Variable Mapping (機器変数マッピング)

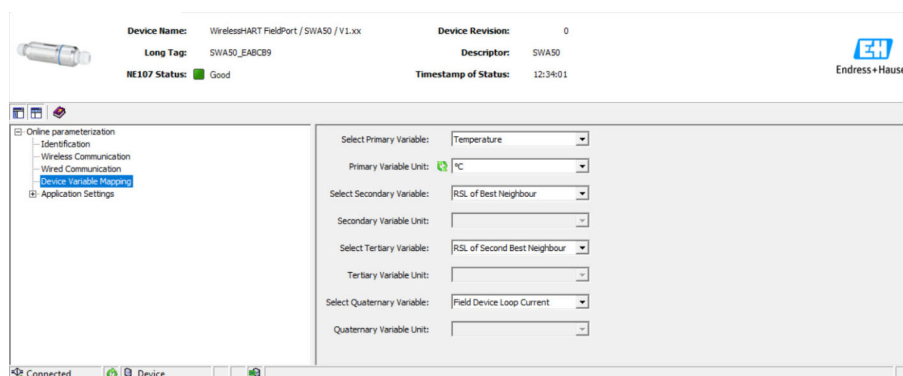
FieldPort は、さまざまな変数の値やステータスを出力できます。このページでは、ネットワークに表示される最大 4 つの変数を設定できます。

以下の変数から選択できます。

- Temperature (温度) : 現在の温度
- RSL of Best Neighbor (最良の隣接機器の RSL)
- RSL of Second Best Neighbor (2 番目に良好な隣接機器の RSL)
- Field Device Loop Current (フィールド機器のループ電流)

ナビゲーション

Online parameterization (オンラインパラメータ設定) > Device Variable Mapping (機器変数マッピング)



「Device Variable Mapping (機器変数マッピング)」ページのパラメータの説明

パラメータ	説明
Select Primary Variable (一次変数の選択)	<p>説明 一次変数を選択します。</p> <p>選択 リストを参照してください。</p> <p>初期設定 Temperature (温度)</p>
Primary Variable Unit (一次変数の単位)	<p>説明 一次変数の単位を選択します。</p> <p>選択 オプションは、選択した変数に応じて異なります。</p> <p>初期設定 °C</p>
Select Secondary Variable (二次変数の選択)	<p>説明 二次変数を選択します。</p> <p>選択 リストを参照してください。</p> <p>初期設定 RSL of Best Neighbor (最良の隣接機器の RSL)</p>
Secondary Variable Unit (二次変数の単位)	<p>説明 二次変数の単位を選択します。</p> <p>選択 オプションは、選択した変数に応じて異なります。</p> <p>初期設定 dBm</p>
Select Tertiary Variable (三次変数の選択)	<p>説明 三次変数を選択します。</p> <p>選択 リストを参照してください。</p> <p>初期設定 RSL of Second Best Neighbor (2 番目に良好な隣接機器の RSL)</p>
Tertiary Variable Unit (三次変数の単位)	<p>説明 三次変数の単位を選択します。</p> <p>選択 オプションは、選択した変数に応じて異なります。</p> <p>初期設定 dBm</p>
Select Quaternary Variable (四次変数の選択)	<p>説明 四次変数を選択します。</p> <p>選択 リストを参照してください。</p> <p>初期設定 Field Device Loop Current (フィールド機器のループ電流)</p>
Quaternary Variable Unit (四次変数の単位)	<p>説明 四次変数の単位を選択します。</p> <p>選択 オプションは、選択した変数に応じて異なります。</p> <p>初期設定 mA</p>

11.6 バーストモード


一般情報


バーストモードでは、マスターから要求がなくてもスレーブ機器がプロセス値などの情報を定期的に変送することができます。

FieldPort は、この情報を FieldPort に接続された HART フィールド機器に要求し、それを WirelessHART ゲートウェイに転送します。また、FieldPort は固有のプロセス値（機器変数）を WirelessHART ゲートウェイに送信することもできます。

標準設定では、接続された HART フィールド機器から WirelessHART ゲートウェイに対して 4 つの機器変数が定期的に送信されます。この処理には、バーストコマンド番号 3 と 48 を使用できます。両方のコマンドに同じ間隔を設定することをお勧めします。FieldPort は HART フィールド機器を呼び出し、機器変数を受信して、それを設定された間隔で送信します。

FieldPort 用に追加のバーストメッセージを設定して、FieldPort 情報を WirelessHART ゲートウェイのホストアプリケーションでも利用できるようにすることをお勧めします。

機器変数は「Device Variable Mapping（機器変数マッピング）」ページで設定します
→  58。

- 
- FieldCare またはその他の設定ツールがモデム (FXA 195 など) を介して FieldPort と通信している場合、バースト情報の伝送は中断されます。
 - 一部の HART フィールド機器でもバースト情報を送信することができます。この場合、バーストモードは FieldPort にのみ有効にすることをお勧めします。FieldPort のバースト設定と HART フィールド機器のバースト設定は同期されません。

「Burst Mode（バーストモード）」ページおよび「Burst Mode 1（バーストモード 1）」～「Burst Mode 5（バーストモード 5）」ページ

「Burst Mode（バーストモード）」ページには、設定されているバーストモードの概要が表示されます。「Burst Mode 1（バーストモード 1）」～「Burst Mode 5（バーストモード 5）」ページで最大 5 種類のバーストモードメッセージを定義できます。

バーストモードはオフラインモードで設定することもできます。FieldPort がネットワークに接続されると直ちにバーストモードが有効になります。

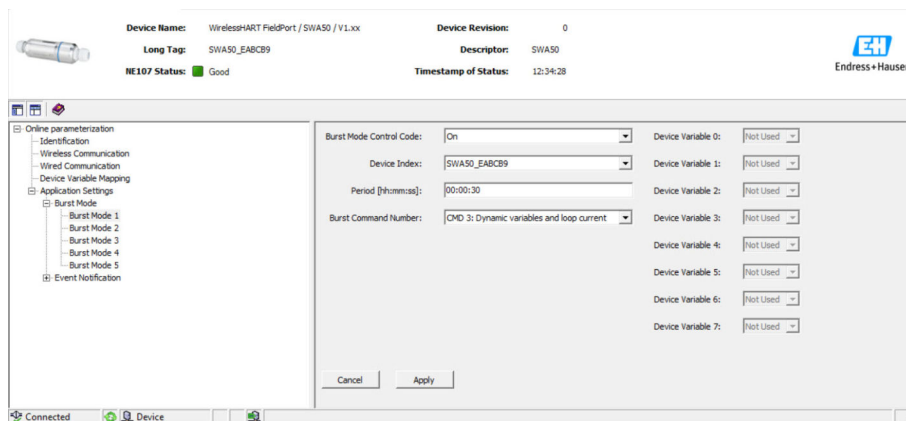
ナビゲーション

- Online parameterization（オンラインパラメータ設定）> Application Settings（アプリケーション設定）> Burst Mode（バーストモード）> Burst Mode 1（バーストモード 1）
- Online parameterization（オンラインパラメータ設定）> Application Settings（アプリケーション設定）> Burst Mode（バーストモード）> Burst Mode 2（バーストモード 2）
- Online parameterization（オンラインパラメータ設定）> Application Settings（アプリケーション設定）> Burst Mode（バーストモード）> Burst Mode 3（バーストモード 3）
- Online parameterization（オンラインパラメータ設定）> Application Settings（アプリケーション設定）> Burst Mode（バーストモード）> Burst Mode 4（バーストモード 4）
- Online parameterization（オンラインパラメータ設定）> Application Settings（アプリケーション設定）> Burst Mode（バーストモード）> Burst Mode 5（バーストモード 5）

FieldPort SWA50 のバーストメッセージ – 初期設定

バーストメッセージ	初期設定
1	5 分ごとに、HART コマンド 3 に準拠したフィールド機器のプロセス値が FieldPort SWA50 から送信されます。
2	5 分ごとに、HART コマンド 48 に準拠したフィールド機器の診断データが FieldPort SWA50 から送信されます。
3	未設定

バーストメッセージ	初期設定
4	5 分ごとに、HART コマンド 3 に準拠した固有のプロセス値が FieldPort SWA50 から送信されます。
5	5 分ごとに、HART コマンド 48 に準拠した固有の診断データが FieldPort SWA50 から送信されます。



バーストモードの設定

1. バーストメッセージのパラメータ設定用のページを開きます（例： **Burst Mode 1**（バーストモード 1） ページ）。
2. **Burst Mode Control Code**（バーストモード制御コード）パラメータで、**On**（オン） オプションを選択します。
 ↳ グレーの入力ボックスが白に変わります。入力が可能になります。
3. **Device Index**（機器インデックス）パラメータで、FieldPort SWA50 または接続されている HART フィールド機器を選択します。
4. **Period**（間隔）パラメータで、FieldPort が機器変数を送信するまでの間隔を入力します。
5. **Burst Command Number**（バーストコマンド番号）パラメータで、バーストコマンドの番号を選択します。
6. **Apply**（適用） ボタンをクリックします。
 ↳ 設定が FieldPort にダウンロードされて保存されます。
7. **OK** を選択して確定します。
 ↳ FieldPort がネットワークに接続されると直ちにバーストモードが有効になります。
 FieldPort がネットワークに接続されていない場合、メッセージが表示されます。**OK** を押してメッセージを確認します。FieldPort がネットワークに接続されると直ちにバーストモードが有効になります。

「Burst Mode 1（バーストモード 1）」～「Burst Mode 5（バーストモード 5）」ページの
パラメータ説明

パラメータ	説明
Burst Mode Control Code (バーストモード制御コード)	<p>説明 バーストモードの有効/無効を切り替えます。</p> <p>選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Off（オフ）：バーストモードは無効になります。入力ボックスはグレー表示になり、データを入力できません。 ■ On（オン）：バーストモードが有効になります。入力ボックスは白になります。入力が可能になります。 <p>初期設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Burst mode 1, 2, 4, 5（バーストモード 1、2、4、5）：On → 𠄎 60 ■ Burst mode 3（バーストモード 3）：Off
Device Index (機器インデックス)	<p>必須条件 Burst mode（バーストモード）：On</p> <p>説明 バーストモードが有効な機器を選択します。</p> <p>選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ SWA50 ■ Connected field device（接続されているフィールド機器） <p>初期設定 SWA50</p>
Period (間隔) [hh:mm:ss]	<p>必須条件 Burst mode（バーストモード）：On</p> <p>説明 FieldPort が機器変数を WirelessHART ゲートウェイに送信するまでの間隔を入力します。</p> <p>ユーザー入力</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 00:00:08 ■ 00:00:16 ■ 00:00:32 ■ 00:01:00 以降は任意の時間を入力可能 <p>初期設定 05:00:00</p>

パラメータ	説明
Burst Command Number (バーストコマンド番号)	<p>必須条件 Burst mode (バーストモード) : On</p> <p>説明 バーストコマンド番号を選択します。バーストコマンドの説明については、→ 図 63 を参照してください。その他の情報については、HART 仕様を参照してください。</p> <p>選択項目/ユーザー入力</p> <ul style="list-style-type: none"> 機器インデックス「SWA50」の場合：ドロップダウンリストから 3、9、または 48 を選択します。 機器インデックス「Connected field device (接続されているフィールド機器)」の場合：1、2、3、9、33、または 48 を入力します。 <p>初期設定 1</p> <p>追加情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 接続されているフィールド機器に対して任意のコマンドを設定できます。詳細については、対応する取扱説明書を参照してください。 不明な場合は、コマンド 3 および 48 を使用してください。
Device Variable Code 0 (機器変数コード 0) ～ Device Variable Code 7 (機器変数コード 7)	<p>必須条件</p> <ul style="list-style-type: none"> Burst mode (バーストモード) : On Burst Command Number (バーストコマンド番号) : 9 または 33 <p>説明 バーストメッセージを使用して送信する機器変数を選択します。</p> <p>選択項目/ユーザー入力</p> <ul style="list-style-type: none"> 機器インデックス「SWA50」の場合：ドロップダウンリストから機器変数コードを選択します。 機器インデックス「Connected field device (接続されているフィールド機器)」の場合：機器変数コードを入力します。 <p>初期設定 250</p> <p>追加情報 接続されているフィールド機器の機器変数については、フィールド機器の関連資料を参照してください。</p>

FieldPort SWA50 のバーストコマンドの説明

バーストコマンド	説明
3	4～20 mA 信号および最大 4 つの事前定義済み機器変数の値、ならびに関連する単位を送信します。機器変数：第 1 変数、第 2 変数、第 3 変数、第 4 変数
9	Device Variable Code 0 (機器変数コード 0) ～Device Variable Code 7 (機器変数コード 7) フィールドが有効です。 最大 8 つの機器変数の値、単位、ステータスを送信します。
48	追加の機器ステータスを送信します。

FieldPort に接続されているフィールド機器のバーストコマンドの説明

バーストコマンド	説明
1	「第 1 変数」の値と単位を送信します。
2	4～20 mA 信号の値とそれに対応する値 (パーセント値) を送信します (例：4 mA および 0 %、12 mA および 50 %)。
3	4～20 mA 信号および最大 4 つの事前定義済み機器変数の値、ならびに関連する単位を送信します。機器変数：第 1 変数、第 2 変数、第 3 変数、第 4 変数
9	Device Variable Code 0 (機器変数コード 0) ～Device Variable Code 7 (機器変数コード 7) フィールドが有効です。 最大 8 つの機器変数の値、単位、ステータスを送信します。

バーストコマンド	説明
33	Device Variable Code 0（機器変数コード 0）～Device Variable Code 3（機器変数コード 3） フィールドが有効です。 最大 4 つの機器変数の値と単位を送信します。
48	追加の機器ステータスを送信します。

11.7 イベント通知

一般情報

イベント通知はバーストモードに類似した特別なアプリケーションです。イベント通知は、バーストモードコマンドによるデータ送信の有無に関係なく、機器設定または機器ステータスが変更された場合に直ちに送信されます。イベント通知には、機器ステータスバイト、拡張機器ステータスバイト、およびコマンド 48 に含まれるステータスを使用できます。イベント通知を発信する特定の数のビットを設定できます。

イベント通知の優先度はバーストモードよりも低くなります。イベント通知には、その通知が最初に発信された時間を示すタイムスタンプが付加されます。最大 2 種類のイベント通知を設定できます。

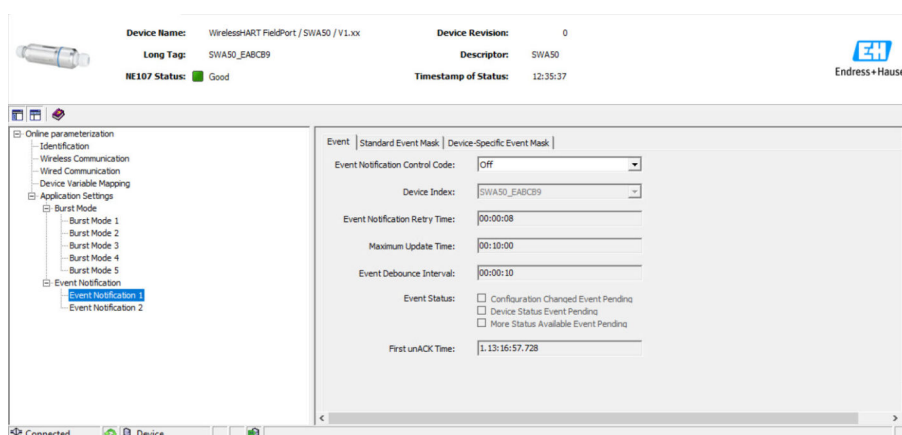
「**Event Notification Control Code（イベント通知制御コード）**」ページおよび「**Event Notification Control Code 1（イベント通知制御コード 1）**」/「**Event Notification Control Code 2（イベント通知制御コード 2）**」ページ

「Event Notification Control Code（イベント通知制御コード）」ページには、設定されているイベント通知の概要が表示されます。「Event Notification Control Code 1（イベント通知制御コード 1）」および「Event Notification Control Code 2（イベント通知制御コード 2）」ページを使用して、2 種類のイベント通知を設定できます。

イベント通知はオフラインモードで設定することもできます。FieldPort がネットワークに接続されると直ちにイベント通知が有効になります。

ナビゲーション

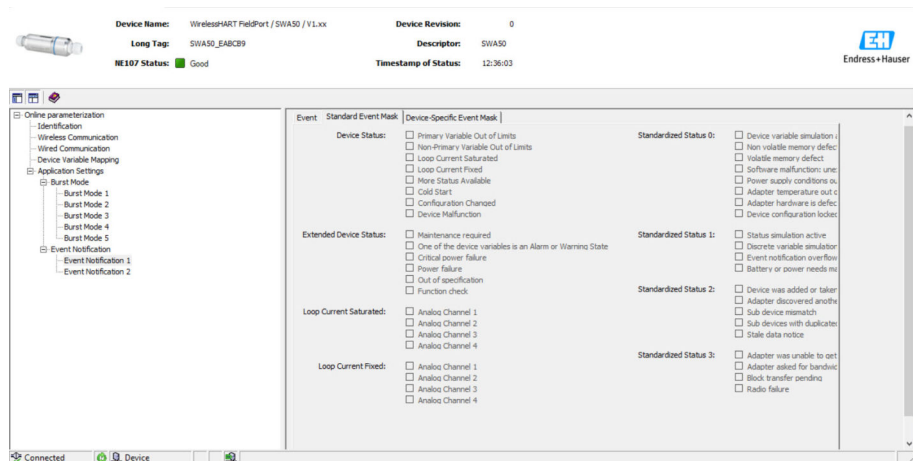
- Online parameterization（オンラインパラメータ設定）> Application Settings（アプリケーション設定）> Event Notification（イベント通知）> Event Notification 1（イベント通知 1）
- Online parameterization（オンラインパラメータ設定）> Application Settings（アプリケーション設定）> Event Notification（イベント通知）> Event Notification 2（イベント通知 2）



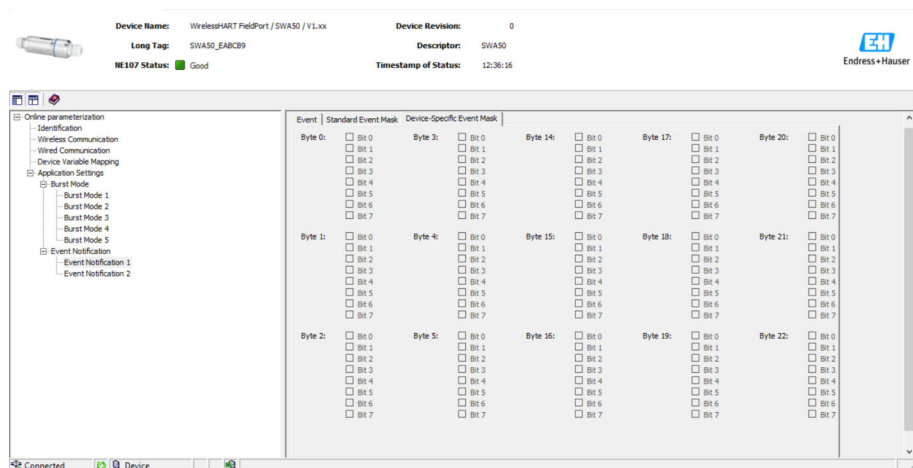
イベント通知の設定

1. イベント通知のパラメータ設定用ページを開きます（**Event Notification Control Code 1（イベント通知制御コード 1）** ページなど）。

2. 「Event (イベント)」タブの「**Event Notification Control Code (イベント通知制御コード)**」パラメータで、**On (オン)** オプションを選択します。
 ↳ 入力フィールドの色がグレーから白に変化し、入力可能になります。
3. **Device Index (機器インデックス)** パラメータで、FieldPort SWA50 または接続されている HART フィールド機器を選択します。
4. 「Event (イベント)」タブの他のパラメータを設定します。
5. 「**Standard Event Mask (標準イベントマスク)**」タブで、必要なイベント通知を有効にします。これを行うには、特定のイベントの前にあるチェックボックスをオンにします。複数の通知を選択できます。



6. 「**Device-Specific Event Mask (機器固有イベントマスク)**」タブで、必要なイベント通知を有効にします。これを行うには、特定のイベントの前にあるチェックボックスをオンにします。複数の通知を選択できます。選択した機器（「**Device Index (機器インデックス)**」パラメータ）の取扱説明書の説明に従ってください。



7. **Apply (適用)** ボタンをクリックします。
 ↳ 設定が FieldPort にダウンロードされて保存されます。
8. **OK** ボタンをクリックします。
 ↳ FieldPort がネットワークに接続されている場合、直ちにイベント監視が開始されます。
 FieldPort がネットワークに接続されていない場合、メッセージが表示されます。**OK** を選択してメッセージを確認します。FieldPort がネットワークに接続されると、直ちにイベントが有効になります。

「Event Notification (イベント通知)」の「Event (イベント)」タブの各パラメータの説明

パラメータ	説明
Event Notification Control Code (イベント通知制御コード)	<p>説明 イベント監視モードの有効/無効を切り替えます。</p> <p>選択項目</p> <ul style="list-style-type: none"> Off (オフ) : イベント監視モードは無効になります。入力フィールドはグレー表示になり、入力できません。 On (オン) : イベント監視モードが有効になり、入力可能になります。 <p>初期設定 Off (オフ)</p> <p>追加情報 「Apply (適用)」ボタンをクリックすると、イベント監視パラメータが FieldPort に書き込まれます。</p>
Device Index (機器インデックス)	<p>必須条件 イベント監視 : オン</p> <p>説明 イベント監視パラメータが有効である機器を選択します。</p> <p>選択項目</p> <ul style="list-style-type: none"> SWA50 Connected field device (接続されているフィールド機器) <p>初期設定 SWA50</p>
Event Notification Retry Time (イベント通知再試行時間)	<p>必須条件 イベント監視 : オン</p> <p>説明 イベント通知の送信を試行してから次に送信を再試行するまでの時間間隔を入力します。送信は、FieldPort が確認応答を受信するまで繰り返されます。</p> <p>ユーザー入力</p> <ul style="list-style-type: none"> 00:00:01 00:00:02 00:00:04 00:00:08 00:00:16 00:00:32 00:01:00 以上 : 任意の時間を入力可 <p>初期設定 00:30:00</p>
Maximum Update Time (最大更新時間)	<p>必須条件 イベント監視 : オン</p> <p>説明 イベント変更が発生しない場合に使用される最大時間を入力します。イベントが発生しない場合、この時間の経過後に FieldPort がイベント通知を送信します。この時間内にイベント通知が発生した場合は、タイマーが再始動します。</p> <p>ユーザー入力</p> <ul style="list-style-type: none"> 00:00:01 00:00:02 00:00:04 00:00:08 00:00:16 00:00:32 00:01:00 以上 : 任意の時間を入力可 <p>初期設定 00:30:00</p>
Event Debounce Interval (イベントデバウンス間隔)	<p>必須条件 イベント監視 : オン</p> <p>説明 イベント通知の送信に必要なイベントの持続時間を入力します。</p>

パラメータ	説明
Event Status (イベントステータス)	<p>必須条件 イベント監視：オン</p> <p>説明 送信後に確認応答を行わないイベント通知を示します。このチェックボックスをオンにすると、イベント通知は送信されますが、確認応答は行われません。</p> <p>選択可能な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ "Configuration changed" event is active (「設定変更」イベント：アクティブ) ▪ "Device status" event is active (「機器ステータス」イベント：アクティブ) ▪ "Additional status information" event is active (「追加のステータス情報」イベント：アクティブ) <p>初期設定 すべてのチェックボックスがオフ</p>
First unACK Time (初回の未確認応答時間)	<p>必須条件 イベント監視：オン</p> <p>説明 「Event Status (イベントステータス)」パラメータで示されたイベント通知がアクティブである時間を示します。</p> <p>初期設定 00:00:00</p>

「Event Notification (イベント通知)」の「Standard Event Mask (標準イベントマスク)」タブの各パラメータの説明

パラメータ	説明
Device Status (機器ステータス)	<p>選択項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ Primary variable outside the limit values (一次変数がリミット値超過) ▪ Variable other than primary variable outside the limit values (一次変数以外の変数がリミット値超過) ▪ Loop current saturated (ループ電流飽和) ▪ Loop current fixed (ループ電流固定) ▪ Additional status information available (追加のステータス情報を取得可能) ▪ Cold start (コールドスタート) ▪ Configuration changed (設定変更) ▪ Device malfunction (機器の故障)
Extended Device Status (拡張機器ステータス)	<p>選択項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ Maintenance required (要メンテナンス) ▪ One of the device variables is in the alarm or warning state (機器変数の1つがアラームまたは警告状態です) ▪ Critical state of the power supply (重大な電源異常) ▪ Error (エラー) ▪ Out of specification (仕様範囲外) ▪ Function check (機能チェック)
Loop Current Saturated (ループ電流飽和)	<p>選択項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ Analog channel 1 (アナログチャンネル 1) ▪ Analog channel 2 (アナログチャンネル 2) ▪ Analog channel 3 (アナログチャンネル 3) ▪ Analog channel 4 (アナログチャンネル 4)
Loop Current Fixed (ループ電流固定)	<p>選択項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ Analog channel 1 (アナログチャンネル 1) ▪ Analog channel 2 (アナログチャンネル 2) ▪ Analog channel 3 (アナログチャンネル 3) ▪ Analog channel 4 (アナログチャンネル 4)


パラメータ	説明
Standardized Status 0 (標準化ステータス 0)	選択項目 <ul style="list-style-type: none"> ■ The device is in the simulation mode (機器がシミュレーションモードである) ■ Error in non-volatile memory (不揮発性メモリのエラー) ■ Error in volatile memory (揮発性メモリのエラー) ■ Software malfunction: Unexpected condition. (ソフトウェアの動作不良：予期しない状況) ■ Power supply is operating outside the defined range (電源が規定範囲外で稼働している) ■ The adapter temperature is outside the permitted range. (アダプタ温度が許容範囲外) ■ The adapter hardware is faulty. (アダプタハードウェアの故障) ■ The device is write-protected (機器が書き込み保護されている)
Standardized Status 1 (標準化ステータス 1)	選択項目 <ul style="list-style-type: none"> ■ Status simulation mode active (ステータスシミュレーションモードがアクティブ) ■ Device variable simulation mode active (機器変数シミュレーションモードがアクティブ) ■ Event notification overflow (イベント通知のオーバーフロー) ■ Battery or power supply must be serviced (バッテリーまたは電源のメンテナンスが必要)
Standardized Status 2 (標準化ステータス 2)	選択項目 <ul style="list-style-type: none"> ■ The device has been added or disconnected from the wired interface. (有線インターフェースに対する機器の追加または取外し) ■ The adapter has detected another master of the same type. (アダプタが同タイプの別マスターを検出) ■ Unconfigured subdevice detected (未設定のサブデバイスの検出) ■ Subdevices with double ID found (ID が重複したサブデバイスの検出) ■ Stale data notification (陳腐化したデータの通知)
Standardized Status 3 (標準化ステータス 3)	選択項目 <ul style="list-style-type: none"> ■ The adapter was unable to receive the necessary bandwidth. (アダプタが必要な帯域幅を受信できない) ■ The adapter has requested the bandwidth and is waiting for a response. (アダプタが帯域幅を要求して応答待機中) ■ Block transfer waiting for execution (ブロック転送の実行待機中) ■ Radio module is defective (無線モジュールの不具合)

「Event Notification (イベント通知)」の「Device-Specific Event Mask (機器固有イベントマスク)」タブの各パラメータの説明

機器固有イベントの監視

- HART フィールド機器：接続されている HART フィールド機器の取扱説明書を参照してください。
- FieldPort SWA50：下表を参照してください。

FieldPort SWA50 の標準イベントの監視

-  トラブルシューティング方法については、「診断」セクション (→ 76) の対応する診断番号を参照してください。

バイト	ビット	説明	診断番号
0	0	これまで接続は試行されていません。	901
	1	アダプタが無線ネットワークに接続されていません。	506
	2	隣接機器に対する代替パスがありません。	507
	3	アダプタにジョインキーがありません。	505
	4	アダプタが無線ネットワークへの接続を確立できませんでした。	503
	5	WirelessHART が起動しました。	904
	6	Bluetooth 接続が有効です。	900
	7	-	-

バイト	ビット	説明	診断番号
1	0	アダプタがフィールド機器と通信できません。	504
	1	HART モデム（ループ電流）のエラー	803
	2～4	–	–
	5	アダプタが設定モードです。	508
	6	アダプタが接続機器を検索中です。	903
	7	–	–
2	0	アダプタハードウェアの故障	316
	1	アダプタが自己テストを実行中です。	202
	2	アダプタ温度が許容範囲外です。	825
	3	–	–
	4	フラッシュメモリの書込サイクル数が臨界しきい値を超過しています。	314
	5	フラッシュメモリの書込サイクル数が最大値を超過しています。	315
	6～7	–	–
3	0～5	–	–
	6	フィールド機器のないバーストまたはイベント通知	500
	7	–	–
4	0	有線機器に追加ステータス情報があります。	502
	1	有線機器が正常に動作していません。	501
	2～7	–	–
5	0	未使用	–
	1	DIP スイッチ 1 : Bluetooth 通信が有効	509
	2	DIP スイッチ 2 : ファームウェアアップデートが有効	510
	3	DIP スイッチ 3 : Bluetooth 経由の設定が有効	511
	4	DIP スイッチ 4 : 予備が有効	512
	5	–	–
	6	無線モジュールが起動しました。	905
	7	エネルギー節約モード (< 60° および < 4.0 mA)	906

12 Diagnosis（診断）

12.1 診断の実行

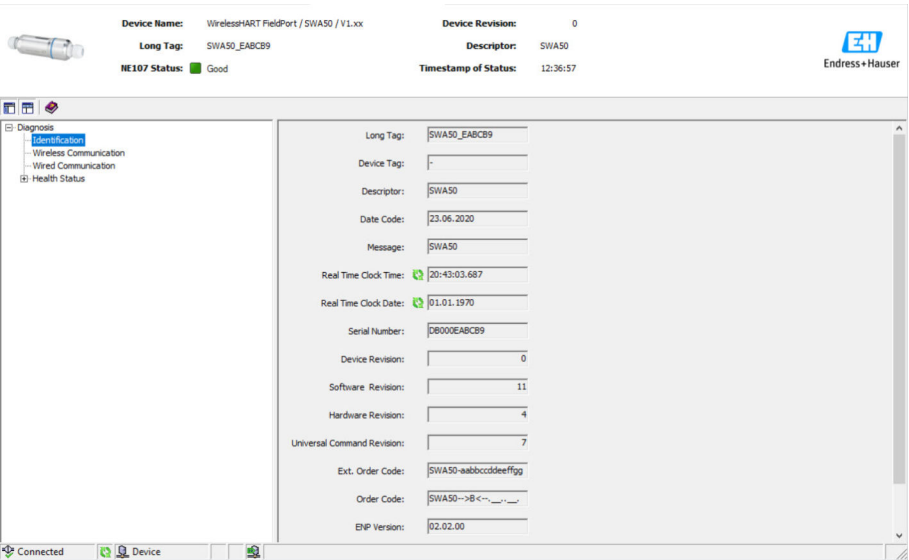
- 1. ネットワークビューで、**SWA50** をクリックします。
- 2. コンテキストメニューを開きます。
- 3. **Diagnosis（診断）** メニューを選択します。
↳ 「Diagnosis（診断）」ウィンドウが開きます。

12.2 Identification（識別）

このページには、FieldPort に関する情報が表示されます。

ナビゲーション

Diagnosis（診断）> Identification（識別）



「Identification（識別）」ページのパラメータの説明

パラメータ	説明
Long Tag（ロングタグ）	FieldPort 用に入力されたロングタグが表示されます。 このパラメータは、ネットワークおよびプラント内の FieldPort を明確に識別するために使用されます。このパラメータは、バーストモードおよびイベント通知の設定に使用されます。
Device Tag（デバイスのタグ）	FieldPort 用に入力されたデバイスのタグが表示されます。
Descriptor（ディスクリプター）	FieldPort 用に入力された説明が表示されます。 このパラメータは、FieldPort の説明（機能や設置場所など）に使用されます。
Date Code（日付コード）	FieldPort 用に入力された日付が表示されます。 この日付は、特定のイベント（前回の設定変更など）の識別に使用されます。
Message（メッセージ）	入力されたメッセージが表示されます。 このメッセージは必要に応じて使用できます。このメッセージは、マスターの要求により HART プロトコル経由で送信されます。
Real Time Clock Time（リアルタイム時刻）	ネットワークのシステム時間が表示されます。
Real Time Clock Date（リアルタイム日付）	ネットワークのシステム日付が表示されます。

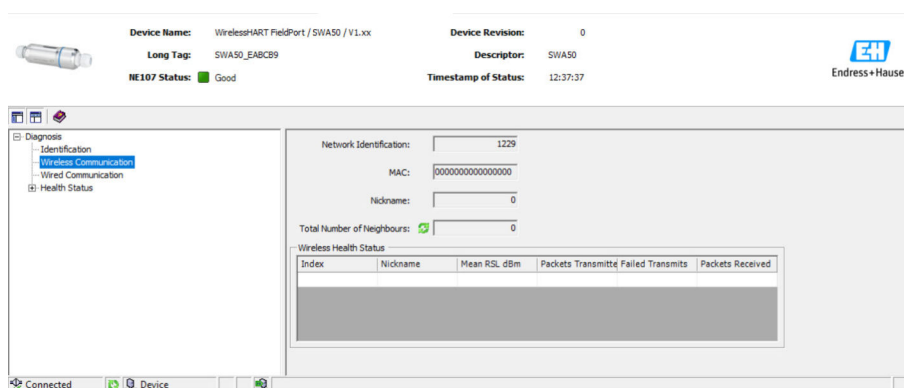
パラメータ	説明
Serial Number (シリアル番号)	FieldPort のシリアル番号が表示されます。
Device revision (機器リビジョン)	FieldPort の機器バージョンが表示されます。
Software Revision (ソフトウェアリビジョン)	FieldPort のソフトウェアバージョンが表示されます。
Hardware Revision (ハードウェアリビジョン)	FieldPort のハードウェアバージョンが表示されます。
Universal Command Revision (ユニバーサルコマンドリビジョン)	FieldPort がサポートする HART プロトコルバージョンが表示されます。
Ext. Order Code (拡張オーダーコード)	FieldPort の拡張 (詳細) オーダーコードが表示されます。
Order Code (オーダーコード)	FieldPort のオーダーコードが表示されます。
ENP Version (ENP バージョン)	FieldPort の電子銘板のバージョンが表示されます。

12.3 Wireless Communication (無線通信)

このページには、FieldPort の操作に関する情報が表示されます。この情報は 5 分ごとに更新されます。

ナビゲーション

Diagnosis (診断) > Wireless Communication (無線通信)



「Wireless Communication (無線通信)」ページのパラメータの説明

パラメータ	説明
Network Identification (ネットワーク識別)	FieldPort が接続するネットワークの識別番号が表示されます。
MAC	FieldPort の MAC アドレスが表示されます。
Nickname (ニックネーム)	ネットワーク内で使用するための FieldPort のニックネームが表示されます。

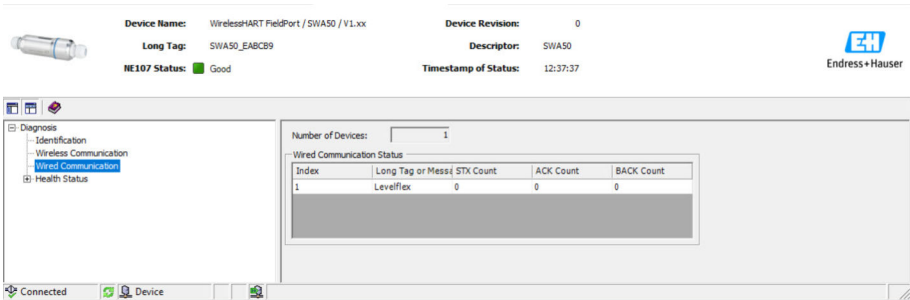
パラメータ	説明
Total Number of Neighbors（隣接機器の合計数）	FieldPort に隣接し、接続が確立されている WirelessHART 機器の数が表示されます。
Wireless Health Status（無線診断ステータス）	ネットワーク通信の重要なパラメータが表示されます。 <ul style="list-style-type: none">■ Index（インデックス）：隣接機器の ID■ Nickname（ニックネーム）：隣接機器のニックネーム■ Mean RSL dBm（平均 RSL dBm）：FieldPort のネットワーク接続後の隣接機器の平均信号強度■ Packets transmitted（送信パケット数）：FieldPort がネットワーク接続後に送信したパケット数■ Failed transmits（送信失敗パケット数）：FieldPort がネットワーク接続後に送信したパケットのうち、再試行後に宛先に到達しなかったパケット数■ Packets received（受信パケット数）：FieldPort がネットワーク接続後に受信したパケット数 これらのパラメータは、FieldPort が WirelessHART ネットワークへの接続を最後に確立してからの値を示します。接続が失われると、値はリセットされます。

12.4 Wired Communication（有線通信）

このページには、FieldPort に接続されている HART フィールド機器に関する情報が表示されます。

ナビゲーション

Diagnosis（診断）> Wired Communication（有線通信）



「Wired Communication（有線通信）」ページのパラメータの説明

パラメータ	説明
Number of Devices（機器数）	以下が表示されます。 <ul style="list-style-type: none">■ 0：HART フィールド機器が FieldPort に接続されていません。■ 1：HART フィールド機器が FieldPort に接続されています。
Wired Communication Status（有線通信ステータス）	ネットワーク通信の重要なパラメータが表示されます。 <ul style="list-style-type: none">■ Index（インデックス）：接続されている HART フィールド機器の ID■ Long tag or message（ロングタグまたはメッセージ）：接続されている HART フィールド機器のロングタグ■ STX Count（STX カウント）：FieldPort が、接続されている HART フィールド機器から受信したフィードバックメッセージの数■ ACK Count（ACK カウント）：FieldPort が HART フィールド機器から受信したフィードバックメッセージの数■ BACK Count（BACK カウント）

12.5 Health Status（診断ステータス）

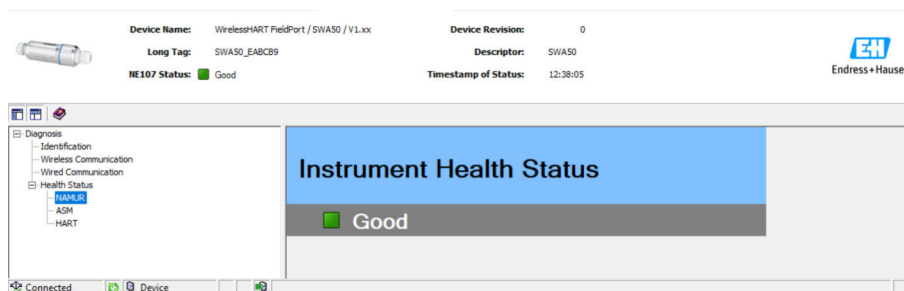
このページには、以下のガイドラインと仕様に基づいた FieldPort の診断ステータスが表示されます。

- NAMUR ガイドライン NE 107
- ASM ガイドライン
- HART 仕様

12.5.1 NAMUR NE 107

ナビゲーション

Diagnosis (診断) > Health Status (診断ステータス) > NAMUR



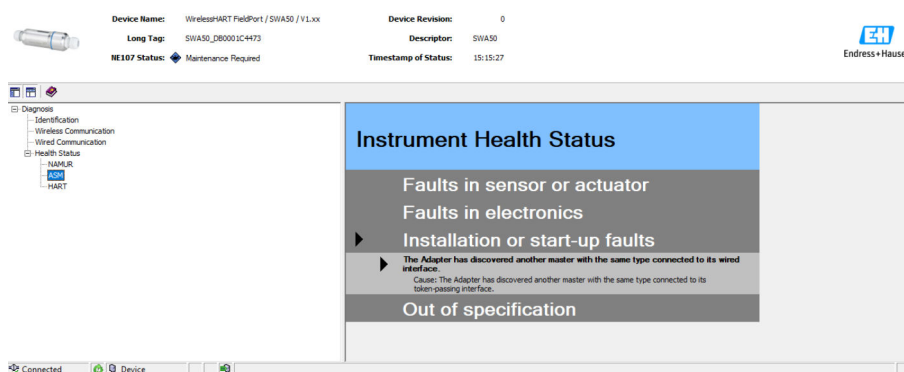
機器診断ステータス

機器診断ステータス	説明
Good (良好)	良好
Failure (故障) (F)	故障
Maintenance required (要メンテナンス) (M)	メンテナンスが必要
Out Of Specification (仕様範囲外) (S)	仕様範囲外
Function check (機能チェック) (C)	機能チェック

12.5.2 ASM

ナビゲーション

Diagnosis (診断) > Health Status (診断ステータス) > ASM



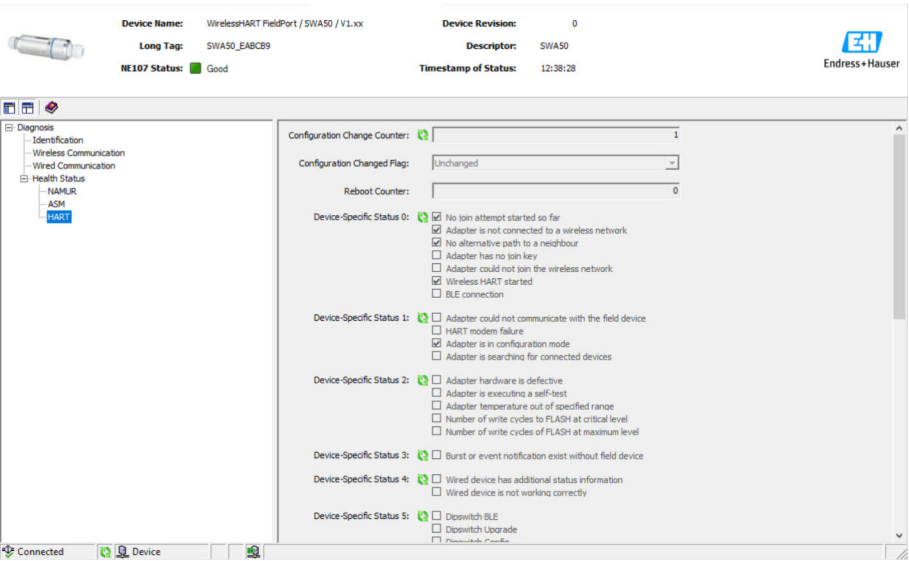
機器診断ステータス


機器診断ステータス	説明
Good (良好)	良好
Faults in the sensor or actuator element (センサまたはアクチュエータの不良)	センサまたはアクチュエータの不良
Faults in the electronics (電子部品の不良)	電子部品の不良
Installation faults, fault during start-up (取付不良、スタートアップ時の不良)	取付不良、スタートアップ時の不良
Faults due to process influence, faults due to non-compliance with specified operating conditions (プロセス起因の不良、特定の動作条件の不適合による不良)	プロセス起因の不良、特定の動作条件の不適合による不良

12.5.3 HART

ナビゲーション

Diagnosis（診断） > Health Status（診断ステータス） > HART



 チェックボックスをオンにすると、その項目の内容が適用されます。

機器診断ステータス

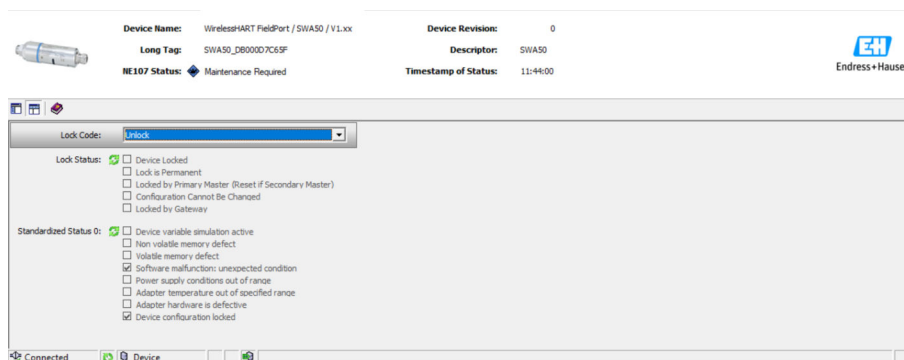
パラメータ	説明
Configuration Change Counter（設定変更カウンタ）	設定変更回数が表示されます。
Configuration Changed Flag（設定変更フラグ）	前回の通信以降の設定変更が表示されます。
Reboot Counter（再起動カウンタ）	FieldPort の再起動回数が表示されます。
Real Clock Time（リアルタイム時刻）	システム時間が表示されます。

13 その他の DTM 機能

13.1 Lock/Unlock (ロック/ロック解除)

このページを使用して、DTM 経由の不正アクセスから FieldPort を保護します。ロックを有効にして DIP スイッチ 3 を「オン」に設定した場合、Bluetooth 経由のパラメータ設定は可能になります。

「Standardized Status 0 (標準化ステータス 0)」セクションの「Device configuration locked (機器設定のロック)」オプションを有効にして、DIP スイッチ 3 を「オフ」に設定した場合、Bluetooth 経由のパラメータ設定は実行できなくなります。



「Lock/Unlock (ロック/ロック解除)」ページのパラメータの説明

パラメータ	説明
Lock Code (ロックコード)	<p>FieldPort に対する DTM のロックタイプを選択します。</p> <p>選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Unlocked (ロック解除) : FieldPort は保護されません。すべてのパラメータを変更できます。 ■ Lock Temporary (一時ロック) : FieldPort がロックされます。FieldPort の再起動後または電源異常 (停電) が発生した場合、FieldPort のロックは解除されます。 ■ Lock Permanent (常時ロック) : FieldPort は常時ロックされます。FieldPort の再起動後または電源異常 (停電) が発生しても、FieldPort のロックは解除されません。 ■ Lock All (すべてロック) : すべてのマスターに対して FieldPort が常時ロックされます。 <p>「Lock Code (ロックコード)」パラメータで選択オプションを変更した場合、新しいオプションが直ちに有効になります。</p>
Lock Status (ロックステータス)	<p>FieldPort に対する DTM の現在のアクセスステータスが表示されます。チェックボックスをオンにすると、その項目の内容が適用されます。</p> <p>表示されるステータス</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Device Locked (機器のロック) ■ Lock is Permanent (常時ロック) ■ Locked by Primary Master (Reset if Secondary Master) (プライマリマスターによるロック (セカンダリマスターの場合はリセット)) : FieldPort はプライマリマスターによってロックされています。 ■ Configuration Cannot Be Changed (設定変更不可) ■ Locked by Gateway (ゲートウェイによるロック)

14 診断およびトラブルシューティング

14.1 診断

診断イベントが発生した場合、Netilion ではステータス信号とともに、NAMUR NE 107 に準拠したイベントレベルに対応したシンボルが表示されます。

- 故障 (F)
- 機能チェック (C)
- 仕様範囲外 (S)
- メンテナンスが必要 (M)

診断番号	ショートテキスト	対策	ステータス信号
電子モジュール			
202	自己テストの実行中です。	自己テストが完了するまでお待ちください。	F
314	メモリの書込サイクル数がリミット値に達しています。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 周期的な設定変更が自動的に FieldPort に送信されていないことを確認します。 ■ FieldPort を交換します。 	M
315	FieldPort のハードウェアの故障	FieldPort を交換します。	F
316	FieldPort のハードウェアの故障	FieldPort を交換します。	F
設定			
500	バースト/イベントテーブル内の不正な入力	–	M
501	HART フィールド機器が正常に動作していません。	HART フィールド機器を確認します。	F
502	HART フィールド機器の追加のステータス情報	–	F
503	WirelessHART 接続に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 無線機器が規定範囲内に配置されていることを確認します。 ■ 正しいジョインキーを入力します。 ■ 正しいネットワーク ID を入力します。 ■ ネットワークが WirelessHART に対応していることを確認します。 	F
504	FieldPort が HART フィールド機器と通信できません。	<ul style="list-style-type: none"> ■ HART フィールド機器を接続します。 ■ HART フィールド機器および配線を確認します。 ■ HART フィールド機器の HART アドレスを確認します。 ■ スタートアップ時間を増やします。 	F
505	FieldPort にジョインキーがありません。	ジョインキーを入力します。	C
506	FieldPort が WirelessHART ネットワークに接続されていません。	<ul style="list-style-type: none"> ■ ジョインキーとネットワーク ID を確認し、FieldPort をネットワークに接続します。 ■ FieldPort が接続済みの場合は、信号バスを確認します。 	C
507	代替の WirelessHART 信号バスがありません。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 適切な場所にリピータを取り付けます。 ■ すべての隣接機器が稼働しているかどうかを確認します。 	M
508	FieldPort が設定モードです。	–	–
509	DIP スイッチ 1 : Bluetooth 通信が有効	–	–
510	DIP スイッチ 2 : ファームウェアアップデートが有効	–	–
511	DIP スイッチ 3 : Bluetooth 経由の設定が有効	–	–

診断番号	ショートテキスト	対策	ステータス信号
512	DIP スイッチ 4 : 予備	–	–
プロセス			
803	電流ループ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 配線を確認します。電流ループの許容範囲は 3.6～22.5 mA です。 ■ HART フィールド機器を交換します。 	F
825	動作温度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 周囲温度を確認する。 ■ プロセス温度を確認します。 	S
900	Bluetooth 接続による機器設定	–	–
901	WirelessHART 経由の接続試行がまだ開始されていません。	ジョインキーとネットワーク ID を入力し、接続試行を開始します。	–
903	FieldPort が接続機器を検索中です。	–	–
904	WirelessHART スタックが起動しました。	–	–
905	無線モジュールが起動しました。	–	–
906	省電力モード	–	–

14.2 トラブルシューティング

エラー	修正方法
HART フィールド機器と FieldPort 間の通信がありません。	FieldPort の HART パラメータの設定を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ SmartBlue アプリおよび FieldXpert : Root menu > System > FieldPort SWA50 > Connectivity > HART Configuration → 図 48 ■ FieldCare: Wired communication (有線通信) → 図 72
FieldPort と SmartBlue アプリ間の Bluetooth 通信がありません。	Bluetooth 通信が有効であるかどうかを確認します → 図 44。
FieldPort と Field Xpert 間の Bluetooth 通信がありません。	Bluetooth 通信が有効であるかどうかを確認します → 図 44。
SmartBlue アプリに他社製 HART フィールド機器のプロセス値が表示されません。	他社製 HART フィールド機器の場合は、Field Xpert を使用します。  機器変数については、技術仕様書 (TI01468S) を参照してください。
FieldPort が WirelessHART ネットワークに接続されません。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 接続の確立には数分かかる場合があります。 ■ FieldPort および WirelessHART ゲートウェイのネットワーク ID とネットワークアクセスキーを確認します。FieldPort および WirelessHART ゲートウェイでは、同じネットワーク ID とネットワークアクセスキーを使用する必要があります。 ■ FieldPort が正しく取り付けられていることを確認します。

15 メンテナンス

15.1 一般的なメンテナンス

機器の外観検査を定期的に行うことをお勧めします。

15.2 ファームウェアアップデート

SmartBlue アプリを使用して FieldPort SWA50 のファームウェアアップデートを行うことができます。

必須条件

- スマートフォンのバッテリーが充電済みであるか、またはスマートフォンが電源に接続されています。
- スマートフォンの Bluetooth 信号品質が良好です。
- FieldPort SWA50 の場合、DIP スイッチ 2 をオンに設定する必要があります → 図 44。
(DIP スイッチ 2 の初期設定：オン)

注記

ファームウェアアップデート中のエラー

不適切なファームウェアインストール

- ▶ ファームウェアアップデートプロセス全体を通して電源電圧を印加する必要があります。
- ▶ ファームウェアアップデートプロセス全体を通して 10 mA 以上のループ電流が必要です。
- ▶ ファームウェアアップデートが終了するまでお待ちください。ファームウェアアップデートには 5~20 分程度かかります。WirelessHART ネットワークに対する FieldPort SWA50 の接続がアクティブである場合、ファームウェアのダウンロード所要時間が長くなります。

- i** ファームウェアアップデート時には、接続された HART フィールド機器から 10 mA 以上の電流を伝送する必要があります。これを行うには、たとえば、HART フィールド機器で電流出力をシミュレートします。電流値は、SmartBlue アプリの「Device information」ページで確認できます。→ 図 45

FieldPort SWA50 に HART フィールド機器が接続されていない場合、または HART フィールド機器にアクセスできない場合、十分な大きさのループ電流が必要となります。→ 図 33

1. 更新パッケージを SmartBlue アプリにコピーします。
2. **Firmware update** ページを開きます。ナビゲーション：Root menu > System > FieldPort SWA50 > Connectivity > Bluetooth configuration
3. 使用可能なパッケージのリストから更新パッケージを選択します。

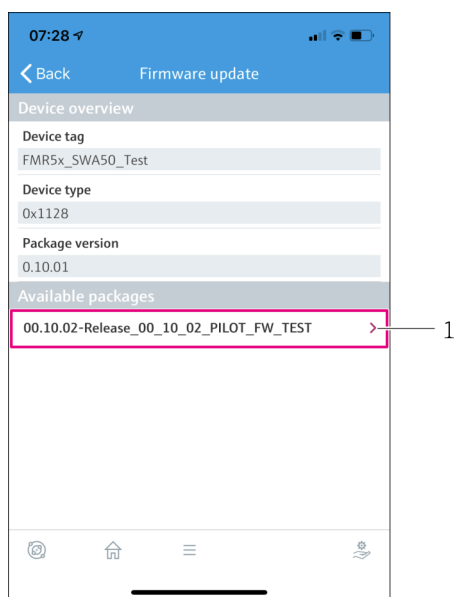
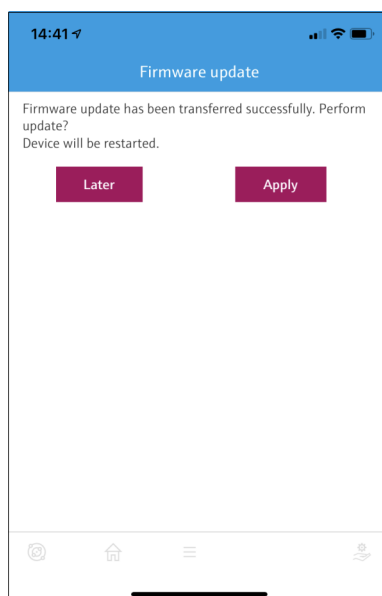



図 26 「Firmware update」 ページ

1 パッケージの例

4. **Start update** ボタンをタップして、ファームウェアアップデートを FieldPort SWA50 にダウンロードします。アップデートをダウンロードできない場合、エラーメッセージ「Internal firmware update error (ファームウェアアップデートの内部エラー)」が表示されます。
5. ファームウェアアップデートのダウンロードが完了するまで待機します。残り時間が表示されます。
 ↳ 以下の画面が表示されます。



6. 再起動およびファームウェアアップデートのインストール時に 10 mA 以上のループ電流が伝送されていることを確認します。
7. **Apply** ボタンまたは **Later** ボタンをタップします。
 ↳ **Apply** ボタン：FieldPort SWA50 が再起動し、ファームウェアアップデートが FieldPort SWA50 にインストールされます。
Later ボタン：次の FieldPort SWA50 の再起動時まで、ファームウェアアップデートはインストールされません。

8. 機器が再起動し、ファームウェアアップデートがインストールされるまで待機します。
 9. 再び FieldPort SWA50 を SmartBlue アプリに接続します。
 10. 「Firmware version」パラメータを使用して、新しいファームウェアがインストールされているかどうかを確認します。→ 50
-  ファームウェアアップデートが完全にダウンロードされていない場合、またはファームウェアアップデートが正しくインストールされていない場合、FieldPort SWA50 は以前のファームウェアで動作します。

16 修理

16.1 一般的注意事項

修理を実施できるのは、Endress+Hauser のスタッフまたは Endress+Hauser が提供する訓練を受け、許可を与えられた作業員のみです。

16.2 廃棄




電子・電気機器廃棄物 (WEEE) に関する指令 2012/19/EU により必要とされる場合、分別されていない一般廃棄物として処理する WEEE を最小限に抑えるため、製品には絵文字シンボルが付いています。このマークが付いている製品は、分別しない一般ゴミとしては廃棄しないでください。代わりに、適切な条件下で廃棄するために Endress+Hauser へご返送ください。

17 アクセサリ

オプションアクセサリ：
取付金具（オーダー番号：71520242）

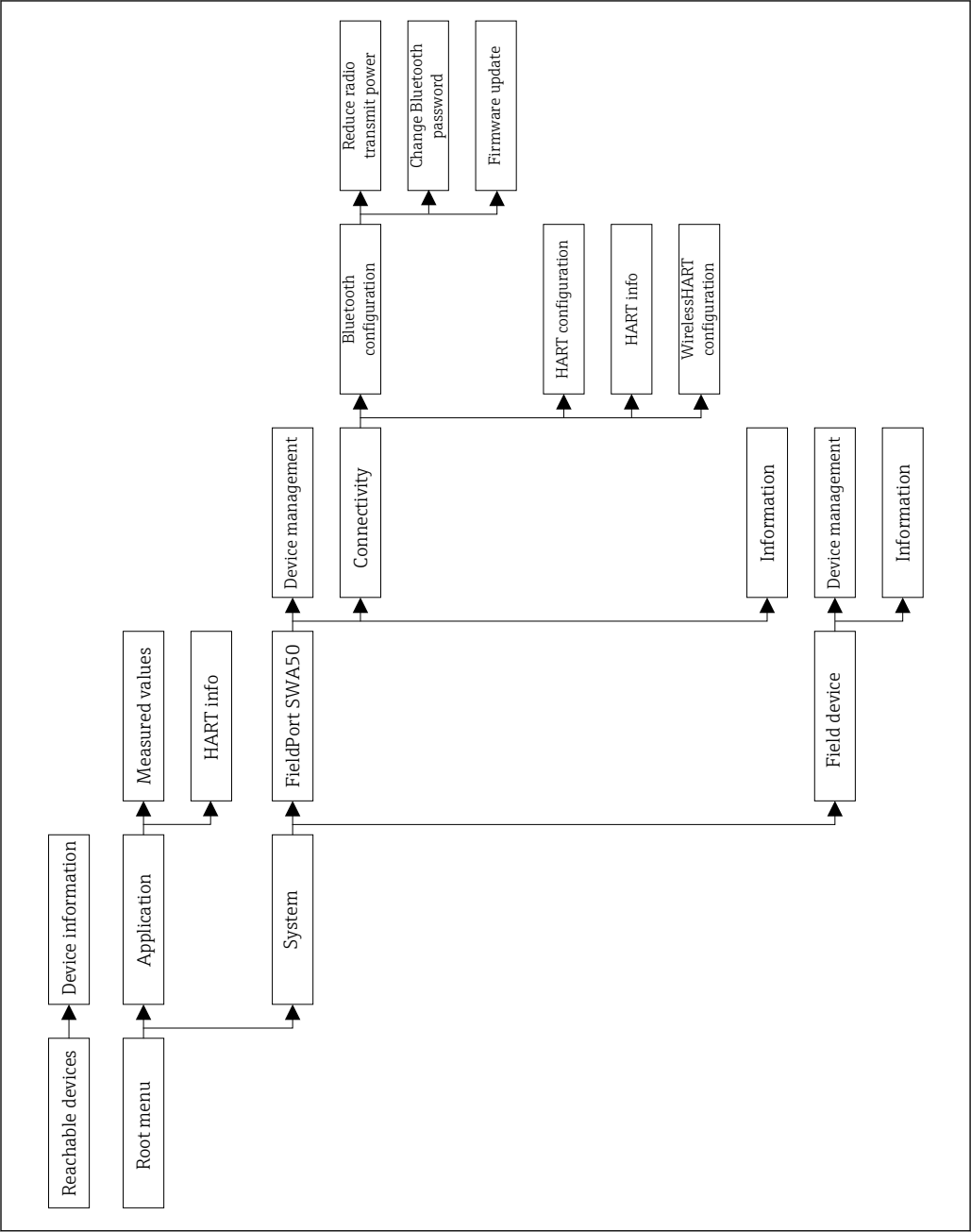
アクセサリの詳細については、弊社営業所もしくは販売代理店
(www.addresses.endress.com) にお問い合わせいただくか、または製品ページをご覧ください。

18 技術データ

 「技術データ」の詳細については、技術仕様書（TI01468S）を参照してください

19 付録

19.1 メニュー概要（ナビゲーション）



A0043771



71564192

www.addresses.endress.com
